

NetVista



保守マニュアル

Type 6790、6791、6792、6793、6795、6823

お願い:

本書をお読みになり、本書がサポートする製品をご使用になる前に、必ず 182ページの『特記事項』をお読みください。

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

本書に対して周期的に変更が行われ、これらの変更は、文書の次版に組み込まれます。IBM は、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

IBM 製品に関する技術情報は、IBM 認定再販売者または IBM 営業担当員までお問い合わせください。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

原 典： IBM Hardware Maintenance Manual Types 2292, 6343, 6349, 6350, 6790, 6791, 6792, 6793, 6794, 6795, 6823, 6825

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2001.11

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2001. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2001

目次

安全に正しくお使いいただくために	v
絵表示について	v
危険/注意ラベルの表示について	v

第1章 本書について 1

重要な安全上の注意	1
---------------------	---

第2章 一般チェックアウト 3

第3章 一般情報 5

本製品について	5
小型デスクトップ・モデル・コンピューター	6
デスクトップ・モデル・コンピューター	6
マイクロタワー・モデル・コンピューター	6
機能の一覧	7
仕様	10
装置仕様 -- 小型デスクトップ・モデル	10
装置仕様 -- デスクトップ・モデル	11
装置仕様 - マイクロタワー・モデル	12
使用可能なオプション	13

第4章 診断 15

装置構成ユーティリティ・プログラム	15
プロダクト・リカバリー・プログラム・メニュー	16
リカバリー CD	17
リカバリー CD からのリカバリー	17
始動順序の変更	17
診断	17
診断プログラムのダウンロード	18
診断プログラムを通じてのナビゲート	18
診断テストの実行	18
テスト選択	19
テスト結果	19
ハード・ディスク Smart テスト	19
高速および全消去 - ハード・ディスク	20
Asset EEPROM のバックアップ	21
テスト・ログの表示	21

第5章 オプションの取り付け 23

外部オプションの取り付け	23
コンピューターの前面にあるコネクタの位置	23
コンピューターの背面にあるコネクタの位置	26
デバイス・ドライバの入手	30
内蔵オプションの取り付け -- 小型デスクト ップ・モデル	30
内蔵オプションの取り付け -- デスクトップ・モ デル	41
内蔵オプションの取り付け -- マイクロタワー・ モデル	51

第6章 FRU の取り外し 65

マイクロプロセッサの交換	65
小型デスクトップの取り外し	65
電源機構	66
スピーカー	66
システム・ボード	67
エア・パッフル	67
デスクトップの取り外し	68
ファン / スピーカー	68
電源機構	69
システム・ボード	69
マイクロタワーの取り外し	70
ファン	70
前面ベゼル	70
ハード・ディスク・ドライブ	71
電源機構	72
スピーカー	72
システム・ボード	73

第7章 異常現象と FRU の関連表 75

ハード・ディスク・ブート・エラー	75
電源機構エラー	76
診断エラー・コード	77
ビープ音の症状	100
ビープ音が鳴らない症状	102
POST エラー・コード	103
その他のエラー・メッセージ	120
判別されない問題	122

第8章 部品リスト 123

小型デスクトップ・モデル	123
デスクトップ・モデル	137
マイクロタワー・モデル	152

第9章 追加の保守情報 165

セキュリティ機能	165
パスワード	165
重要プロダクト・データ	166
管理情報形式 (MIF)	166
Alert on LAN	167
BIOS レベル	167
フラッシュ (BIOS/VPD) 更新手順	168
フラッシュ・リカバリー・ブート・ブロック・ジャ ンパー	168
省電力	170
自動構成および電力インターフェース機構 (ACPI) BIOS	170
Advanced Power Management	170
自動ハードウェア省電力機能	170
自動ハードウェア省電力機能の設定	171
Automatic Power-On 機能	171
ネットワークの設定	173

Flash over LAN (ネットワークを介しての POST/BIOS 更新)	173	安全点検ガイド	177
Wake on LAN	174	静電気の放電に敏感なデバイスの取り扱い . . .	178
第10章 関連した保守情報	175	アースの要件	179
安全上の注意	175	安全上の注記	179
一般的な安全について	175	問題判別のヒント	182
電気に関する安全について	176	特記事項	182
		商標	183

安全に正しくお使いいただくために

この製品を安全に正しくお使いいただくために、このマニュアルには安全表示が記述されています。このマニュアルを保管して、必要に応じて参照してください。

絵表示について

あなたとあなたの周りの人々への危害および財産への損害を未然に防止するために、このマニュアルおよびこの製品の安全表示では、以下の絵を表示しています。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

危険/注意ラベルの表示について

本製品の外部または内部に黄色地に黒文字で表示されているラベルがあるときは、安全上に関しての危険または注意ラベルです。必ず表示の指示に従ってください。このマニュアルに記述されている以外に、危険または注意ラベルによる表示があるときは (たとえば製品上)、必ずそのラベルの表示による指示に従ってください。

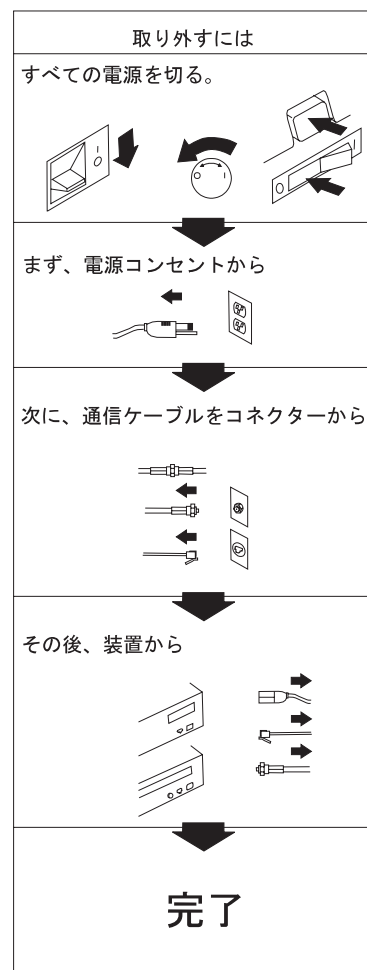
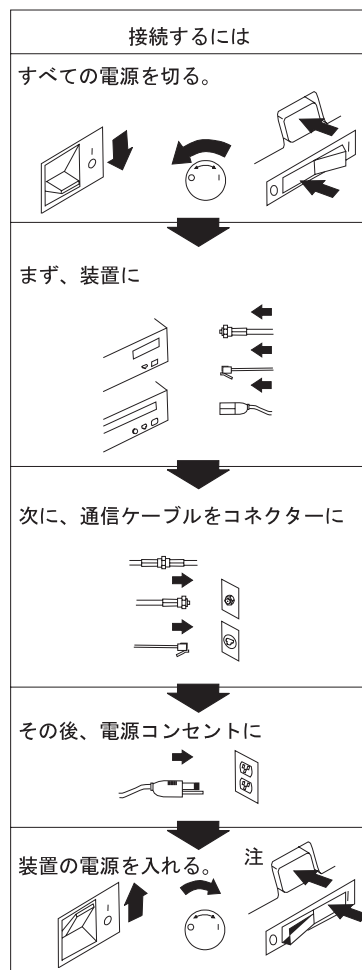
危険

- この機器の中にある電源のカバーは開けないでください。内部には高電圧部分があり危険です。
- この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- レーザー製品 (CD または DVD ドライブ、光ファイバー装置、送信機など) のカバーを開けないでください。「レーザーの安全性について」をお読みください。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。タコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードをほかの機器には使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 電源スイッチやその他の制御部分をぬらさないでください。湿気があるとこれらの部品は壊れることがあり、電気による危険を招くことがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重い物を載せたり、引っ張ったり、束ねたり、無理に曲げたりすると電源コードを破損し、火災、感電のおそれがあります。
- コンピューターの構成に電話ケーブル接続、通信ケーブル接続、およびテレビのアンテナ線接続が含まれている場合、付近に雷が発生しているときは、それらのケーブルに触れないようにしてください。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
- 万一、異物 (金属片、水、液体) が機器の内部に入ったときは、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

⚠ 危険

電源、電話、または通信のケーブルからの電流は人体に危険を及ぼします。感電を防ぐには、次のことにご注意ください。

- 雷雨の発生中に、ケーブルを接続または取り外したり、本製品の設置、保守、または再構成を行わないでください。
- すべての電源を適切に配線され接地された電気コンセントに接続してください。
- 本製品に接続された装置はすべて適切に配線されたコンセントに接続してください。
- できれば、片手で通信ケーブルを接続または取り外してください。
- 火災、水害、または建築物の損壊を受けたおそれがある場合には、装置の電源を絶対に入れないでください。
- 設置および構成手順で特に指示されていない限り、装置のカバーを開く前に、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、モデムを取り外してください。
- 設置、移動、または本製品もしくは接続された装置のカバーを開くときには、次の表に記述された手順でケーブルを接続および取り外してください。



危険

- 3 ピン電源プラグが設置場所の接地端子付きコンセントに合う場合は、付属の接地端子付き電源プラグは使用しないで、3 ピン電源プラグをそのままコンセントに差し込んでください。接地端子付き電源プラグは廃棄してください。3 ピン電源プラグが設置場所のコンセントに合わない場合は、付属の接地端子付き電源プラグをお使い下さい。緑色の線はアース用です。端子の絶縁物を外して専門の電気技術者によって施工されたアース端子に接続してください。ガス管への接続およびコンセントへの差し込みは大変危険ですので絶対にしないでください。アース線をアース端子に接続することにより、安全にご使用いただけます。なお 3 ピン電源プラグを持つコンピュータで使用することを前提にしているオプション・アダプター・カード (例: LAN アダプター・カード) は接地が必要です。
- 付属の接地端子付き電源プラグ以外は使用しないでください。また、付属の接地端子付き電源プラグをほかの機器には使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- **リチウム電池について**

本製品には、システム・ボード上にリチウム電池が使用されています。電池の交換方法や取り扱いを誤ると、発熱、発火、破裂のおそれがあります。電池の交換には、IBM 部品番号 33F8354 の電池またはメーカーの推奨するタイプと同等の電池を使用してください。交換用電池の購入については、お買い求めの販売店または弊社の営業担当までお問い合わせください。電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一、幼児が電池を飲み込んだときは、直ちに医師に相談してください。以下の行為は絶対にしないでください。

- 水にぬらすこと
- 100° C 以上の過熱や焼却
- 分解や充電
- ショート

電池を廃棄する場合、および保存する場合にはテープなどで絶縁してください。他の金属や電池と混ざると発火、破裂の原因となります。電池は地方自治体の条例、または規則に従って廃棄してください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に捨てないでください。

注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください。)
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 本体を持ち上げたり、配置を変えたり、移動したりするときは、思わぬ怪我をしないように注意してください。重すぎるときは、ほかの人の応援を頼んでください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを AC コンセントから抜いておいてください。
- 電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的 (半年に 1 回程度) に取り除いてください。火災の原因になることがあります。
- 「電源電圧選択スイッチ」は、正しい位置にセットされていなければなりません。このスイッチが正しくセットされていないと、コンピューターを損傷することがあります。

第1章 本書について

本書には、IBM® コンピューター Type 6790、6791、6792、6793、6795、6823 の保守情報および参照情報を記載しています。

本書は、次のように、製品の保守に関する個所と、それに関連した保守に関する個所に分かれています。

- 製品の保守に関する個所には、問題のある FRU を特定する手順、異常現象と FRU の関連表、追加保守情報、およびイラスト入り部品カタログが記載されています。
- 関連の保守に関する個所には、安全上の注意、その他の安全上の説明、および問題判別のためのヒントが記載されています。

注:

本書は、IBM パーソナル・コンピューター製品をよく理解している技術担当者向けのものです。効率的に問題追及を行うためには、保守用診断テストと一緒に本書を使用してください。

IBM 製品の保守を行う前には、必ず 175ページの『安全上の注意』をお読みください。

重要な安全上の注意

本書の説明の内容を実行に移す前に、必ず本書の注意と危険の注記をすべてお読みください。

第2章 一般チェックアウト

この一般チェックアウト手順は、Type 6790、6791、6792、6793、6795、および 6823 のコンピューター用です。

重要:

保守中のコンピューターのドライブの ID が変更されていたり、もしくはドライブの始動順序が変更されている可能性があります。コピー、保管、またはフォーマットなどの書き込み操作中は、特に注意してください。誤ったドライブを選択すると、データまたはプログラムが上書きされる場合があります。

テスト・プログラムがハードウェア・オプションに問題を見つけると、診断エラー・メッセージが表示されます。テスト・プログラムは、テストがパス、失敗、または異常終了したかを正しく判別するために、テスト完了時にエラー戻りコードをチェックします。17ページの『診断』を参照してください。

アプリケーション・プログラム、またはオペレーティング・システム、あるいはその両方が問題または矛盾を検出する場合に一般エラー・メッセージが表示されます。こうしたメッセージについて詳しくは、ソフトウェア・パッケージと一緒に提供された資料を参照してください。

注:

- Type 6790、6791、6792、6793、6795、および 6823 コンピューターは、POST でエラーが検出されないときは、デフォルトによって静止状態 (ビープ音が鳴らず、メモリー・カウンとチェックポイント・コードが表示されない) で起動します。
- POST が正常に行われるとビープ音が鳴ってメモリー・カウンとチェックポイント・コードが表示されるようにするには、次のようにします。
 1. 装置構成ユーティリティで「**始動オプション**」を選択します (15ページの『装置構成ユーティリティ・プログラム』を参照してください)。
 2. 「**電源オン自己診断 (Power-On Self-Test)**」を「**拡張 (Enhanced)**」に設定します。
- FRU を交換する前に、システムに最新レベルの BIOS がインストールされていることを確認します。古いレベルの BIOS は、誤ったエラーを出したり、システム・ボードを不必要に交換させたりする可能性があります。最新レベルの BIOS を判別し、入手する方法については、167ページの『BIOS レベル』を参照してください。
- 複数のエラー・コードが表示される場合、表示されている最初のエラー・コードを診断してください。
- コンピューターが POST エラーで停止する場合は、75 ページの『異常現象と FRU の関連表』を参照してください。
- コンピューターが停止したのにエラーが表示されない場合、122ページの『判別されない問題』を参照してください。
- 取り付けたデバイスが診断プログラムで認識されない場合、そのデバイスは故障している可能性があります。

001

1. コンピューターおよびすべての外部デバイスの電源をオフにします。
2. ケーブルおよび電源コードをすべてチェックします。
3. システム・ボードが正しく取り付けられていることを確認します。
4. ディスプレイの輝度調整とコントラストをすべて中間位置に設定します。
5. すべての外部デバイスの電源をオンにします。
6. コンピューターの電源をオンにします。
7. 次の応答をチェックします。
 - 読み取り可能命令またはメイン・メニュー。

正しい応答を受け取りましたか？

NO の場合は、**002** に進みます。

YES の場合は、**003** に進みます。

002

Power Management が使用可能になっている場合は、次のようにします。

1. 装置構成ユーティリティを始動します (15ページの『装置構成ユーティリティ・プログラム』を参照してください)。
2. 装置構成ユーティリティのメニューから「**省電力機能**」を選択します。
3. 「**APM**」を選択します。
4. 「**APM BIOS モード (APM BIOS Mode)**」が「**使用不可 (Disabled)**」に設定されているか確認します。このように設定されていない場合、左矢印 (←) か右矢印 (→) を押して、設定を変更します。
5. 「**自動ハードウェア省電力機能 (Automatic Hardware Power Management)**」を選択します。
6. 「**自動ハードウェア省電力機能 (Automatic Hardware Power Management)**」を「**使用不可 (Disabled)**」に設定します。
7. これでも問題が解決しない場合は、**003** に進みます。

003

診断プログラムを実行します。必要に応じて 17ページの『診断』を参照してください。

- エラーを受け取ったら、診断プログラムが指摘した部分を交換するか、75 ページの『異常現象と FRU の関連表』に進みます。
- テストが停止し続行できない場合、最後にテストしたデバイスを取り替えます。

第3章 一般情報

この IBM® コンピューターには、最新のコンピューター技術が多数使用されています。必要に応じてアップグレードも可能です。

コンピューターの機能を強化する簡単な方法として、ハードウェア・オプションを追加する方法があります。本書には、外部および内蔵オプションの取り付けの説明が記載されています。オプションを追加するときは、次の説明とともに、オプションに付属のマニュアルも使用します。

この章では、ご使用のコンピューターで使用可能なオプションおよび機能の簡単な紹介を記載します。

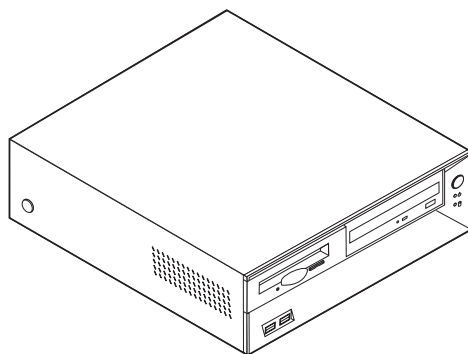
ご使用のコンピューターの使用や、操作、保守に関する一般的な情報については、「Access IBM」を参照してください。「Access IBM」には、問題の解決に必要な情報や、修理サービス、他の技術支援を受ける際の情報なども記載されています。

本製品について

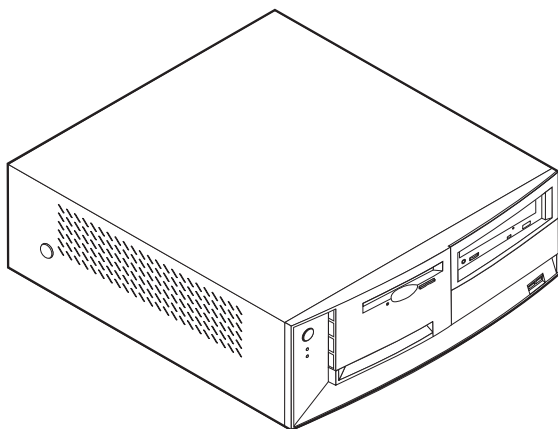
オプションを適切に取り付けるには、ご使用のコンピューターのマシン番号（マシン・タイプ / モデル）を知る必要があります。この番号は、コンピューターの前面にある小さいラベルに表示されています。モデル番号の例は M/T 6790-xxx です。

本書の情報は、いくつかのコンピューターのタイプおよびモデルをサポートします。以降の図で、ご使用のコンピューターを確認します。

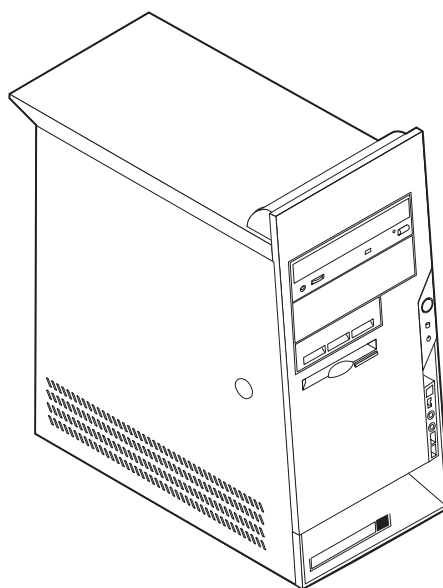
小型デスクトップ・モデル・コンピューター



デスクトップ・モデル・コンピューター



マイクロタワー・モデル・コンピューター



機能の一覧

ここでは、ご使用のコンピュータのさまざまな機能や、初期インストール済みソフトウェア、仕様について概説します。

マイクロプロセッサ

Intel® Pentium™ 4 (256 KB の内蔵 L2 キャッシュ・メモリーおよび Intel NetBurst™ マイクロ・アーキテクチャー使用)

メモリー

- デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) 3 つのサポート (一部のモデルのみ)
- システム・プログラム用 512 KB フラッシュ・メモリー

内蔵ドライブ

- 3.5 インチ 1.44 MB ディスケット・ドライブ
- 内蔵ハード・ディスク
- EIDE CD-ROM。CD/RW、DVD-ROM、DVD RAM、または DVD-ROM/CD/RW コンボ・ドライブ。

ビデオ・サブシステム

AGP ビデオ・アダプター・スロット

オーディオ・サブシステム

16 ビット内蔵 Sound Blaster Pro 互換オーディオ・サブシステム

接続性

- 10/100 Mbps 内蔵 Intel イーサネット・コントローラー (Wake on LAN® 機能をサポート)
- 56k V.90 data/fax PCI モデム (一部のモデル)

システム管理機能 (モデル・タイプによって異なる)

- リモート・プログラム・ロード (RPL) および動的ホスト構成プロトコル (DHCP)
- Wake on LAN
- Wake on Ring (この機能は装置構成ユーティリティー (IBM Setup Utility) において、外付けモデムの場合は、シリアル・ポート A 上の着信 (Serial Port A Ring Detect)、内蔵モデムの場合は、モデムの着信 (Modem Ring Detect) と呼ばれます。)
- リモート管理 (Remote Administration)
- 自動パワーオン始動順序 (Automatic Power-On Startup)
- システム管理 (SM) BIOS および SM ソフトウェア
- 自己診断テスト (POST) 結果の保管機能

入出力機能

- 25 ピン、拡張機能ポート (ECP) / 拡張パラレル・ポート (EPP)
- 9 ピン、シリアル・コネクタ 2 つ
- 4 ピン、USB コネクタ 4 つ

- PS/2[®] マウス・コネクタ
- PS/2 キーボード・コネクタ
- RJ-45 イーサネット・コネクタ
- モニター・コネクタ
- オーディオ・コネクタ 3 つ (ライン入力、ライン出力、マイク入力)
- IEEE 1394 コネクタ (一部のモデル)
- マイクロホンおよびヘッドホン用の前面コネクタ (一部のモデル)
- 光デジタル・オーディオ (S/PDIF) コネクタ (一部のモデル)

拡張

- ドライブ・ベイ
 - 小型デスクトップ・モデル: 3 つ
 - デスクトップ・モデル: 4 つ
 - マイクロタワー・モデル: 5 つ
- 32 ビット PCI アダプター・スロット
 - 小型デスクトップ・モデル: 3 つ (ロー・プロファイル・アダプターだけをサポート)
 - デスクトップ・モデル: 3 つ
 - マイクロタワー・モデル: 3 つ
- AGP 拡張スロット: 1 つ (小型デスクトップはロー・プロファイル・アダプターだけをサポート)
- PC カード・スロット (一部のモデル)

電源

- 手動電圧選択スイッチを備えた 160 W または 185 W 電源機構
- 自動 50/60 Hz 入力周波数切り替え
- 省電力機能のサポート
- 拡張構成および電力インターフェース機構 (ACPI) のサポート

セキュリティ機能 (モデル・タイプによって異なる)

- ユーザー・パスワード (User Password) と管理者パスワード (Administrator Password)
- U 字ボルトおよびロック可能ケーブルのサポート (筐体の構造によって異なる)
- 始動順序 (Startup Sequence) の制御
- ディスケット・ドライブ、キーボード、またはマウスを使用しない始動
- 自動始動モード (Unattended start mode)
- ディスケットおよびハード・ディスク入出力制御
- シリアルおよびパラレル・ポート入出力制御
- デバイスごとのセキュリティ・プロファイル (Security Profile by Device)

初期インストール済みソフトウェア

ご使用のコンピューターには、ソフトウェアが初期インストール済みです。その場合には、オペレーティング・システムや、内蔵の機能をサポートするためのデバイス・ドライバ、その他のサポート・プログラムがインストールされています。

稼働確認済みオペレーティング・システム

- Microsoft® Windows XP
- Microsoft Windows 2000
- Microsoft Windows NT® Workstation Version 4.0 SP6a
- Microsoft Windows 98 Second Edition

仕様

ここでは、ご使用のコンピュータの装置仕様を表示します。

装置仕様 -- 小型デスクトップ・モデル

寸法 高さ: 104 mm 幅: 360 mm 奥行き: 412 mm 重量 出荷時の最小構成: 9.1 kg 最大構成: 10.9 kg 環境 気温: システム・オン時: 10° ~ 35°C システム・オフ時: 10° ~ 43°C 最大高度: 2134 m 注: 最大高度 2134 m は、指定された気温の範囲内にある時の最大高度です。より高い高度では、最高気温はここで指定した気温よりも低くなります。 湿度: システム・オン時: 8% ~ 80% システム・オフ時: 8% ~ 80% 電源 - AC 50/60 Hz - 電源 - 公称 100 V - 容量 (概算) - 出荷時の最小構成 : 80 VA - 最大構成 : 160 VA - 定格 - 高調波ガイドライン適合品 - 入力電力 : 125 W - 容量 : 155 VA	英国熱量単位 (Btu) による 1 時間当たりの 発熱量 (近似値): 最小構成: 257 Btu/hr (75 ワット) 最大構成: 686 Btu/hr (200 ワット) 排気量 3 分当たり約 0.45 立方メートル (最大) 騒音レベル 平均音圧レベル: オペレーターの位置: アイドル時: 38 dBA 動作時: 43 dBA そばにいる人の位置 - 1 メートル: アイドル時: 33 dBA 動作時: 37 dBA 表記上の (上限) 音力レベル: アイドル時: 3.75 ベル 動作時: 4.99 ベル 注: これらのレベルは、米国規格協会 (ANSI) S12.10 および ISO 7779 で指定された手順に従い、制御された音響環境の中で計測されたもので、ISO 9296 に従って報告されています。実際の音圧レベルは、部屋の反響や近くにある他の雑音源などのために、所定の場所によっては表示された平均値を超える場合があります。表示されている音力レベルは上限を示しており、コンピュータの多くはこれより低いレベルで動作します。 注: 本機種は、クラス A またはクラス B デジタル・デバイスに分類されます。この種別の詳しい情報については、「クイック・リファレンス」を参照してください。
---	--

装置仕様 -- デスクトップ・モデル

寸法 高さ: 140 mm 幅: 425 mm 奥行き: 425 mm 重量 出荷時の最小構成: 10.9 kg 最大構成: 12.0 kg 環境 気温: システム・オン時: 10° ～ 35°C システム・オフ時: 10° ～ 43°C 最大高度: 2134 m 注: 最大高度 2134 m は、指定された気温の範囲内にある時の最大高度です。より高い高度では、最高気温はここで指定した気温よりも低くなります。 湿度: システム・オン時: 8% ～ 80% システム・オフ時: 8% ～ 80% 電源 • AC 50/60 Hz • 電源 – 公称 100 V – 容量 (概算) - 出荷時の最小構成 : 80 VA - 最大構成 : 300 VA • 定格 – 高調波ガイドライン適合品 – 入力電力 : 150 W – 容量 : 190 VA	英国熱量単位 (Btu) による 1 時間当たりの発熱量 (近似値): 最小構成: 257 Btu/hr (75 ワット) 最大構成: 789 Btu/hr (230 ワット) 排気量 3 分当たり約 0.68 立方メートル (最大) 騒音レベル 平均音圧レベル: オペレーター的位置: アイドル時: 38 dBA 動作時: 43 dBA そばにいる人の位置 - 1 メートル: アイドル時: 33 dBA 動作時: 37 dBA 表記上の (上限) 音力レベル: アイドル時: 4.8 ベル 動作時: 5.1 ベル 注: これらのレベルは、米国規格協会 (ANSI) S12.10 および ISO 7779 で指定された手順に従い、制御された音響環境の中で計測されたもので、ISO 9296 に従って報告されています。実際の音圧レベルは、部屋の反響や近くにある他の雑音源などのために、所定の場所によっては表示された平均値を超える場合があります。表示されている音力レベルは上限を示しており、コンピューターの多くはこれより低いレベルで動作します。 注: 本機種は、クラス A またはクラス B デジタル・デバイスに分類されます。この種別の詳しい情報については、「クイック・リファレンス」を参照してください。
---	--

装置仕様 - マイクロタワー・モデル

寸法 高さ: 415 mm 幅: 190 mm 奥行き: 399 mm 重量 出荷時の最小構成: 10.2 kg 最大構成: 13.4 kg 環境 気温: システム・オン時: 10° ～ 35°C システム・オフ時: 10° ～ 43°C 最大高度: 2134 m 注: 最大高度 2134 m は、指定された気温の範囲内にある時の最大高度です。より高い高度では、最高気温はここで指定した気温よりも低くなります。 湿度: システム・オン時: 8% ～ 80% システム・オフ時: 8% ～ 80% 電源 - AC 50/60 Hz - 電源 - 公称 100 V - 容量 (概算) - 出荷時の最小構成 : 80 VA - 最大構成 : 300 VA - 定格 - 高調波ガイドライン適合品 - 入力電力 : 150 W - 容量 : 190 VA	英国熱量単位 (Btu) による 1 時間当たりの発熱量 (近似値): 最小構成: 257 Btu/hr (75 ワット) 最大構成: 789 Btu/hr (230 ワット) 排気量 3 分当たり約 0.79 立方メートル (最大) 騒音レベル 平均音圧レベル: オペレーター的位置: アイドル時: 38 dBA 動作時: 43 dBA そばにいる人の位置 - 1 メートル: アイドル時: 33 dBA 動作時: 37 dBA 表記上の (上限) 音力レベル: アイドル時: 4.8 ベル 動作時: 5.1 ベル 注: これらのレベルは、米国規格協会 (ANSI) S12.10 および ISO 7779 で指定された手順に従い、制御された音響環境の中で計測されたもので、ISO 9296 に従って報告されています。実際の音圧レベルは、部屋の反響や近くにある他の雑音源などのために、所定の場所によっては表示された平均値を超える場合があります。表示されている音力レベルは上限を示しており、コンピューターの多くはこれより低いレベルで動作します。 注: 本機種は、クラス A またはクラス B デジタル・デバイスに分類されます。この種別の詳しい情報については、「クイック・リファレンス」を参照してください。
---	---

使用可能なオプション

次のものは、使用可能なオプションの一部です。

- 外部オプション
 - パラレル・ポート・デバイス (プリンターや外部ドライブなど)
 - シリアル・ポート・デバイス (外部モデムやデジタル・カメラなど)
 - オーディオ・デバイス (サウンド・システム用外部スピーカーなど)
 - USB デバイス (プリンターや、ジョイスティック、スキャナーなど)
 - セキュリティー・デバイス (U 字ボルトなど)
 - モニター
 - IEEE 1394 デバイス (一部のモデルでは、IEEE 1394 アダプターが必要)
 - SCSI デバイス (SCSI アダプターが必要)
- 内蔵オプション
 - デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) と呼ばれるシステム・メモリー
 - アダプター
 - PCI アダプター
 - AGP アダプター
 - 小型デスクトップ・モデルがサポートするのは、ロー・プロファイル・アダプターだけです。
 - 次のような内蔵ドライブ:
 - CD または DVD ドライブ
 - CD ドライブ および DVD ドライブ
 - ハード・ディスク
 - ディスケット・ドライブおよびその他のリムーバブル・メディア・ドライブ

使用可能なオプションに関する最新情報については、次の WWW ページを参照してください。

- <http://www.ibm.com/jp/pc/>
- <http://www.ibm.com/pc/support/>

製品についての情報は、IBM 特約店または IBM 営業担当員までお問い合わせください。

第4章 診断

ハードウェア関連の問題の識別と解決のために、次のツールが利用できます。

- 装置構成ユーティリティ・プログラム
- 電源オン自己診断 (POST)
 - POST ビープ・コード
 - エラー・コード・フォーマット
- 診断プログラム
- リカバリー・ユーティリティ
 - フルリカバリー
 - 部分リカバリー
- 修復ユーティリティ

装置構成ユーティリティ・プログラム

重要:

カスタマイズしたセットアップ構成 (デフォルトの設定以外) が、保守中のコンピューターに指定されている場合があります。装置構成ユーティリティ・プログラムを実行すると、これらの設定が変更される場合があります。現行の構成の設定をメモしておいて、保守が完了したときに設定が変わっていないか確認します。

装置構成ユーティリティ・プログラムは、コンピューターの永続メモリー内に保管されています。このプログラムには、次の設定が含まれています。

- システムの要約
- プロダクト・データ
- デバイスと入出力ポート
- 始動オプション
- 日付と時刻
- システム・セキュリティ
- チップ・セット設定 (高度なセットアップ)
- 省電力

装置構成ユーティリティ・プログラムを実行するには、次の手順に従います。

1. コンピューターの電源をオフにして、使用中インディケーターがすべてオフになるまで数秒間待ちます。
2. コンピューターの電源をオンにします。
3. システムの起動時、"Press F1 for Configuration/Setup" と表示されている間に F1 キーを押すと装置構成ユーティリティを始動できます。しかし、使用するディスプレイ装置やシステムの設定によっては、起動時の一連のメッセージが表示されない場合があります。この場合は、電源を入れた後、ビープ音が鳴るか装置構成ユーティリティ画面が表示されるまで、F1 キーを連打します。パスワード

を設定している場合には、パスワードを入力する画面が表示されますので、パスワードを入力して Enter キーを押すと装置構成ユーティリティー画面が表示されます。

4. 画面の指示に従います。
5. 終了したら、「システム構成」を選択して、受け入れられた構成変更があったかどうかを確認します。

プロダクト・リカバリー・プログラム・メニュー

Type 6790、6791、6792、6793、6795、および 6823 マシンでは、リカバリー・プログラムと診断プログラムが個別のハード・ディスク・パーティションに入っています。Enhanced Diagnostics ディスケットは、マシンに付属していません。診断プログラムをダウンロードするには、18ページの『診断プログラムのダウンロード』を参照してください。

システムの起動時、“Press F11 to start the IBM Product Recovery Program” と表示されている間に F11 キーを押して、プロダクト・リカバリー・プログラムを起動します。しかし、使用するディスプレイ装置やシステムの設定によっては、起動時の一連のメッセージが表示されない場合があります。この場合は、電源を入れた後、ビープ音が鳴るかプロダクト・リカバリー・プログラムまたはパスワード画面が表示されるまで、F11 キーを連打してください。

注意

プロダクト・リカバリー・プログラムを使用するときには、データを消失することがないようデータをすべてバックアップするようにしてください。

F11 を押した後で、次のオプションが与えられます。

- **IBM backup and restore**

このユーティリティーは、オペレーティング・システム、アプリケーション、およびデータの最新のバックアップをリストアします。

注: この項目が表示されるのは、「IBM backup and restore」プログラムがインストールされている場合だけです。

- **フルリカバリー**

このユーティリティーは、ハード・ディスクを再フォーマットし、元のすべてのファイルをリストアします。

- **システム・ユーティリティー**

1. **修復 (Windows NT 4.0 および 2000 のみ)**

これは、Windows NT 4.0 緊急用修復ユーティリティーを実行します。

2. **診断の実行**

IBM 診断プログラムを実行します。

3. **診断ディスクットの作成**

ブート可能診断ディスクットを作成します。

4. **システム情報**

コンピューター構成に関する情報を表示し、ユーザーがヘルプセンターに電話する際に必要となるようなシステム情報を収集することができます。

5. リカバリー / 修復ディスクの作成 (ディスクからディスクへのソリューションのみ)

ハード・ディスク上の IBM プロダクト・リカバリー・プログラムへのアクセスをリストアするための始動可能ディスクを作成します。

リカバリー CD

万一、ハード・ディスク・ドライブが故障した場合、リカバリー CD を使用して、ハード・ディスク・ドライブを元の出荷時の事前設定にリストアすることができます。保守しているコンピューター・モデル用の正しいリカバリー CD を入手するには、必ずリカバリー CD の FRU リストを使用してください。

リカバリー CD からのリカバリー

リカバリー CD を CD ドライブに挿入します (CD が 2 枚以上ある場合は、CD 1 を挿入します)。コンピューターの電源を切り 5 秒以上経過してから、コンピューターを再始動します。コンピューターが CD からプロダクト・リカバリー・プログラムを始動しない場合は、始動順序に CD ドライブまたは DVD ドライブが表示されていない可能性があります。CD または DVD ドライブを始動順序の最初のデバイスとして設定します。

始動順序の変更

CD を CD または DVD ドライブに挿入したが、コンピューターが始動時に CD をただちに読み取らない場合は、始動順序の最初のデバイス (First Startup Device) を「CD/DVD-ROM」ドライブに変更します。始動順序を変更するには、次の手順を使用します。

1. コンピューターの電源を切ります。
2. コンピューターの電源を入れ、F1 キーを連打します。
3. ビープ音が鳴るか、装置構成ユーティリティー (IBM Setup Utility) 画面が表示されたら、F1 キーを離します。
4. 装置構成ユーティリティー (IBM Setup Utility) の「**Startup** (始動)」メニューを選択します。
5. 現在の First Startup Device (最初の始動デバイス) として選択されているデバイスを記録し、リカバリー処理を完了したら、この設定値を元に戻す必要があります。
6. First Startup Device (最初の始動デバイス) を「CD/DVD-ROM」ドライブに変更します。
7. 設定値を保管して、プログラムを終了します。
8. コンピューターの電源を切ります。

診断

診断プログラムは、広い範囲にわたる領域をカバーした診断ユーティリティーを駆使して、コンピューターのハードウェア・コンポーネントの動作状況をチェックします。

エラー・コードおよびメッセージの完全なリストについては、75 ページの『異常現象と FRU の関連表』を参照してください。

診断プログラムのダウンロード

診断プログラムをダウンロードするには、次のようにします。

- <http://www.ibm.com/> に進みます。
- 「**Support** (サポート)」を選択します。
- 「Search by Category (カテゴリー別検索)」プルダウン・メニューから「**Desktop computing** (デスクトップ・コンピューター)」を選択します。
- 「Product Family (製品ファミリー)」リストから「**NetVista**」を選択します。
- 左側の「Quick Path (クイック・パス)」ボックスでマシン・タイプを検索します。
- 「Downloadable files by Category (カテゴリー別ダウンロード可能ファイル)」プルダウン・メニューから「**Diagnostics** (診断)」を選択するか、「Downloadable files by date (日付別ダウンロード可能ファイル)」からリンク「**PC Enhanced Diagnostics diskette** (PC 拡張診断ディスクット)」に直接進みます。このリンクは、自己始動ユーティリティのダウンロードおよび説明に飛びます。

診断プログラムを通じたナビゲート

カーソル移動キーを使って、メニュー内でナビゲートします。

- **Enter** キーは、メニュー項目の選択に使います。
- **Esc** キーは、直前のメニューに戻るのに使います。
- オンライン・ヘルプを表示したい場合は、**F1** を選択します。

診断テストの実行

診断テストの実行には次の 4 つの方法があります。

1. カーソル移動キーを使って、「診断プログラム (Diagnostics)」メニューから「**通常テストの実行 (Run Normal Test)**」または「**高速テストの実行 (Run Quick Test)**」を強調表示してから **Enter** を押します。
これで、各テスト・カテゴリーから事前定義されたテスト・グループが自動的に実行されます。「**通常テストの実行 (Run Normal Test)**」では、「**高速テストの実行 (Run Quick Test)**」に比べ、より詳細なテスト・セットが行われ、時間も長くかかります。
2. **F5** を押した場合は、全カテゴリーで選択したテストがすべて自動的に実行されます。『テスト選択』を参照してください。
3. 1 つのテスト・カテゴリー内から **Ctrl-Enter** を押した場合は、該当のカテゴリー内で選択されたテストだけが実行されます。『テスト選択』を参照してください。
4. カーソル移動キーを使って、1 つのテスト・カテゴリー内の 1 つのテストを選択してから、**Enter** を押します。この場合は、そのテストだけが実行されます。

テスト・プロセスを停止するには、任意の時点で **Esc** を押します。

テスト結果 (N/A、PASSED、FAILED、ABORTED) は、テスト説明の横の、テスト・ログ内のフィールドに表示されます。 21ページの『テスト・ログの表示』を参照してください。

テスト選択

1 つまたは複数のテストを選択するには、次の手順に従います。

1. 対応するテスト・カテゴリをオープンします。
2. カーソル移動キーを使って、希望のテストを強調表示します。
3. スペース・バーを押します。

選択したテストには、>> のマークが付きます。スペース・バーをもう一度押すと、テストの選択が解除され、山形マークが消えます。

4. ステップ 2 と 3 を繰り返して、希望のテストをすべて選択します。

テスト結果

診断テスト結果は、次のエラー・コード形式を生成します。

Function	Failure Type	DeviceID	Date	ChkDigits	Text
Code					

- **Function Code:**

PC 内の機能を表します。

- **Failure Type:**

検出されたエラーのタイプを表します。

- **DeviceID:**

ハード・ディスク・ドライブ、リムーバブル・メディア・ドライブ、シリアルまたはパラレル・ポート、プロセッサ、特定の RIMM、または PCI バス上のデバイスに対応するコンポーネントの装置 ID が入ります。

- **Date:**

診断テストが実行された日付が入ります。日付は、CMOS から検索され、YYYYMMDD フォーマットで表示されます。

- **ChkDigits:**

次のことを確認するための 2 桁のチェック・ディジット値が入ります。

- 診断が指定された日付に実行されたか。
- 診断が指定された IBM コンピューターで実行されたか。
- 診断エラー・コードが正しく記録されたか。

- **Text:**

エラーの説明。

注: エラー・コードのリストについては、77ページの『診断エラー・コード』を参照してください。

ハード・ディスク Smart テスト

システム管理ツールがハード・ディスクの SMART アラートを検出したときに、ハード・ディスク Smart テストを使用します。

Smart テストは、次のことを行います。

- IDE デバイスが SMART 命令セットをサポートしているかどうか確認します。
- ENABLE SMART コマンドを出して、SMART 機能をアクティブにします。
- SMART RETURN STATUS コマンドをチェックして、いずれかのしきい値を超えているか確認します。

しきい値を超えていた場合は、エラー・メッセージが表示され、テストは失敗します。 SMART をサポートしていないドライブの場合は、テスト結果は「N/A」になります。

高速および全消去 - ハード・ディスク

診断プログラムには、2 つのハード・ディスク・フォーマット・ユーティリティーが用意されています。

- ハード・ディスク高速消去
- ハード・ディスク全消去

「ハード・ディスク高速消去」は、次のステップを実行する DOS ユーティリティーを提供します。

- ハード・ディスク上のマスター・ブート・レコード (MBR) を破棄する。
- すべてのパーティション上の FAT テーブルのコピーをすべて破棄する (マスターとバックアップの両方)。
- パーティション・テーブルを破棄する。
- 回復不能プロセスである旨の警告メッセージをユーザーに示す。

「ハード・ディスク全消去」は、次のステップを実行する DOS ユーティリティーを使用します。

- 「高速消去」におけるすべてのステップを実行する。
- ランダム・データをハード・ディスクのすべてのセクターに書き込む DOS ユーティリティーを使用する。
- 完了までの予想時間と完了状況の可視表示を行う。
- 回復不能プロセスについての警告メッセージをユーザーに示す。

重要: 高速消去機能または全消去機能を使用する前に、必ず全データのバックアップを作成してください。
--

ハード・ディスク高速消去または全消去ユーティリティーを選択するには、次の手順に従います。

1. ツールバーで「ユーティリティー (UTILITY)」オプションを選択し、**Enter** を押します。
2. 「ハード・ディスクの高速消去 (QUICK ERASE)」オプションか「ハード・ディスクの全消去 (FULL ERASE HARD DISK)」オプションを選択し、指示に従います。

Asset EEPROM のバックアップ

システム・ボードを交換するときは、このユーティリティを使うと、すべての Asset の情報を EEPROM からディスクにバックアップできます。このユーティリティは、システム・ボードの交換後に、ディスクから EEPROM へのデータの復元もします。

このユーティリティを実行するには、次の手順に従います。

- 「ユーティリティ (Utility)」を選択します。
- 「**Asset EEPROM のバックアップ** (Asset EEPROM Backup)」を選択します。
- 画面の指示に従います。

テスト・ログの表示

診断テストによって報告されたエラーは、プログラムによってエラーが出たテストと表示されます。

エラーの詳細を表示したり、テスト結果のリストを表示するには、任意のテスト・カテゴリから次の手順を行います。

- ログ・ファイルを活動化するには、**F3** を押します。
- もう一度 **F3** を押してディスクにファイルを保管するか、**F2** を押してファイルを印刷します。

第5章 オプションの取り付け

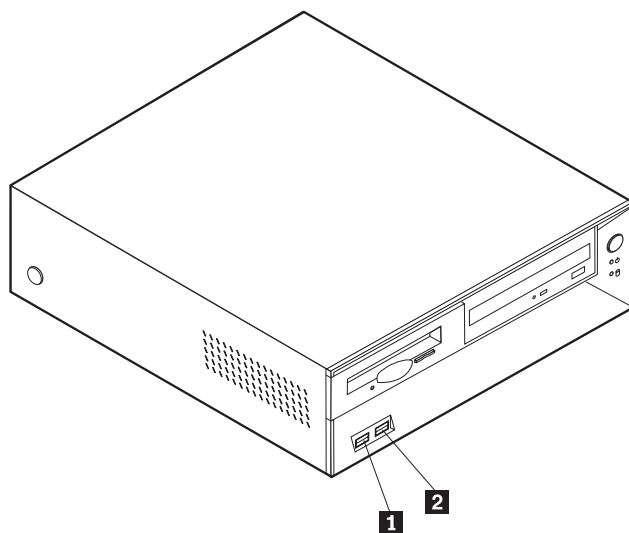
外部オプションの取り付け

この章では、ご使用のコンピューターに外部スピーカーや、プリンター、またはスキャナーなどの外部オプションを接続できる各種の外部コネクタについて示します。一部の外部オプションでは、物理接続を追加するために追加のソフトウェアをインストールする必要があります。外部オプションを追加するときには、この章の情報を使って必要なコネクタを識別し、接続に役立つオプションに付属している説明書を使用して、そのオプションに必要なソフトウェアまたはデバイス・ドライバをインストールします。

重要: オプションの取り付けまたは取り外しを行う前に、175ページの『安全上の注意』をお読みください。これらの注記とガイドラインは、安全に作業をするのに役立ちます。

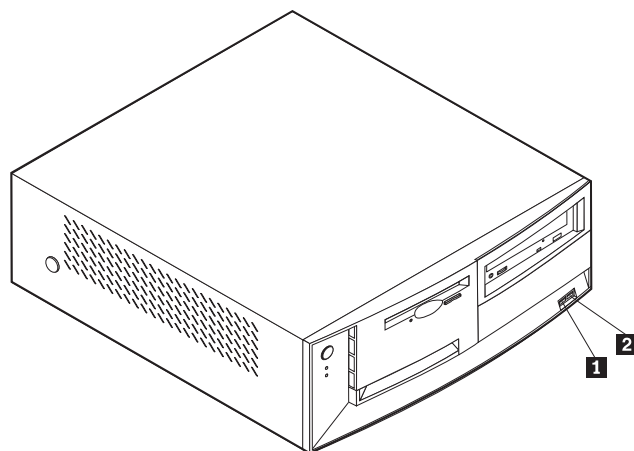
コンピューターの前面にあるコネクタの位置

次の図は、小型デスクトップ・コンピューターの前面にあるコネクタの位置を示しています。



- 1** USB コネクター
- 2** USB コネクター

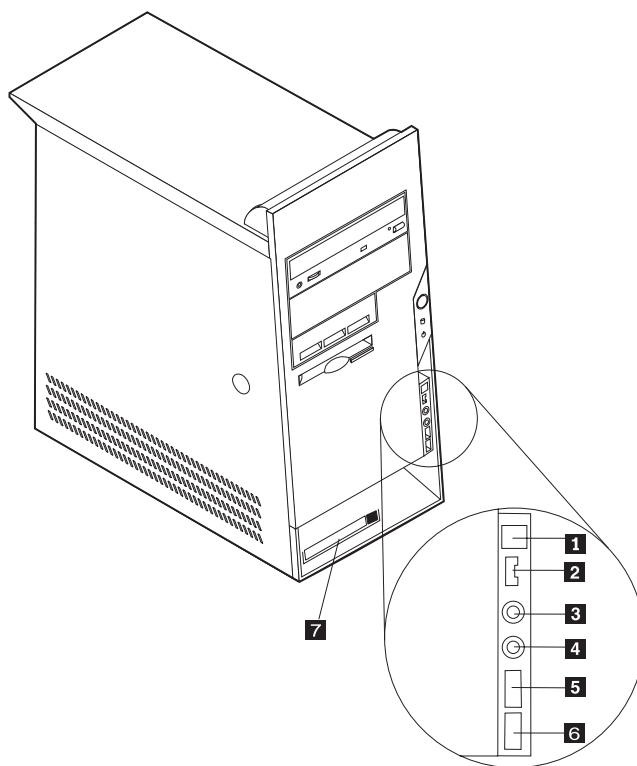
次の図は、デスクトップ・コンピュータの前面にあるコネクタの位置を示しています。



- 1** USB コネクター
- 2** USB コネクター

次の図は、マイクロタワー・コンピューターの前面にあるコネクタの位置を示しています。

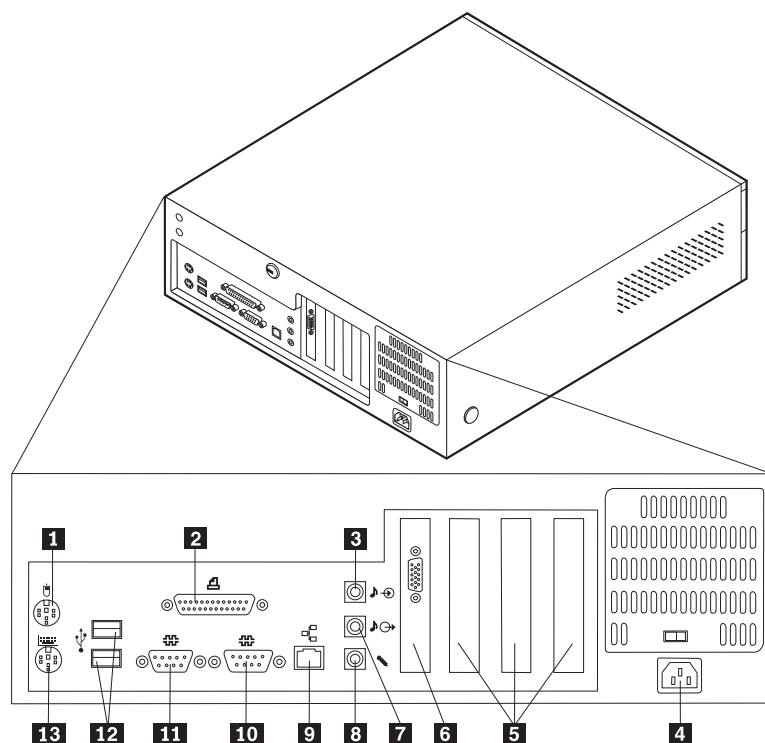
注: 次のコネクタおよびスロットは、一部のモデルには付属していません。



- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 1 S/PDIF コネクター | 5 USB コネクター |
| 2 IEEE 1394 コネクター (4 ピン) | 6 USB コネクター |
| 3 マイクホン・コネクター | 7 PC カード・スロット |
| 4 ヘッドホン・コネクター | |

コンピューターの背面にあるコネクターの位置

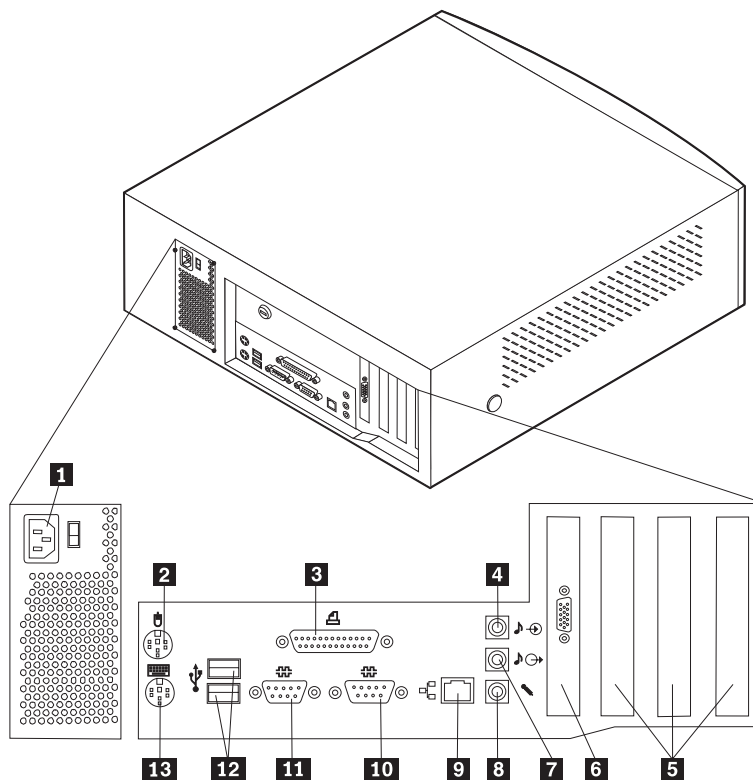
次の図は、小型デスクトップ・モデル・コンピューターの背面にあるコネクターの位置を示しています。コネクターの説明については、29 ページを参照してください。



- 1** マウス・コネクター
- 2** パラレル・コネクター
- 3** オーディオ入力コネクター
- 4** 電源コネクター
- 5** PCI スロット
- 6** AGP モニター・コネクター
- 7** オーディオ出力コネクター

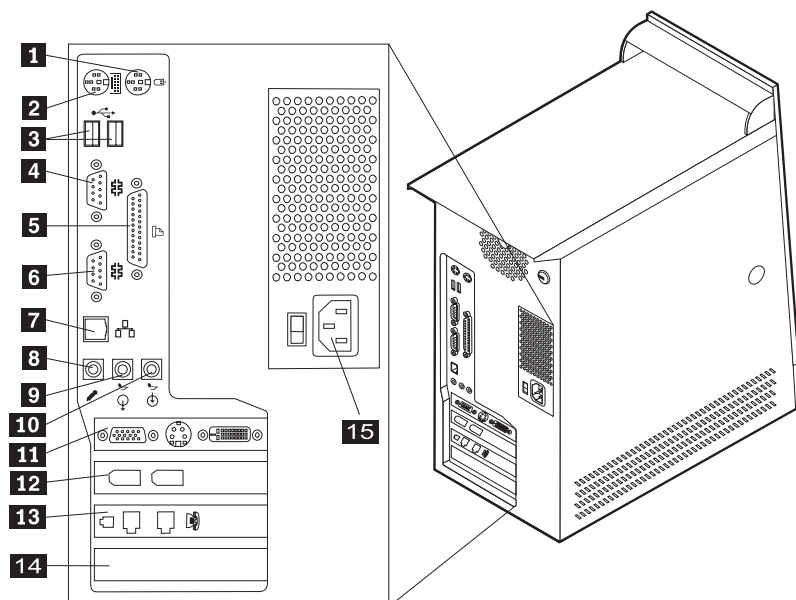
- 8** マイクホン・コネクター
- 9** イーサネット・コネクター
- 10** シリアル・コネクター
- 11** シリアル・コネクター
- 12** USB コネクター
- 13** キーボード・コネクター

次の図は、デスクトップ・モデル・コンピューターの背面にあるコネクターの位置を示しています。コネクターの説明については、29 ページを参照してください。



- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 電源コネクター | 8 マイクホン・コネクター |
| 2 マウス・コネクター | 9 イーサネット・コネクター |
| 3 パラレル・コネクター | 10 シリアル・コネクター |
| 4 オーディオ入力コネクター | 11 シリアル・コネクター |
| 5 PCI スロット | 12 USB コネクター |
| 6 AGP モニター・コネクター | 13 キーボード・コネクター |
| 7 オーディオ出力コネクター | |

次の図は、マイクロタワー・モデル・コンピュータの背面にあるコネクターの位置を示しています。コネクターの説明については、29 ページを参照してください。



- | | |
|-----------------------|---|
| 1 マウス・コネクター | 8 マイクロホン・コネクター |
| 2 キーボード・コネクター | 9 オーディオ出力コネクター |
| 3 USB コネクター | 10 オーディオ入力コネクター |
| 4 シリアル・コネクター | 11 AGP モニター・コネクター /S ビデオ出力 /
DVI コネクター (一部のモデル) |
| 5 パラレル・コネクター | 12 PCI スロット、IEEE 1394 コネクター (6 ピン)
(一部のモデル) |
| 6 シリアル・コネクター | 13 PCI スロット、モデム・コネクター / 電話コネ
クター (一部のモデル) |
| 7 イーサネット・コネクター | 14 PCI スロット |
| | 15 電源 |

注: 実際のコンピュータでは、装備されている PCI アダプターの位置が異なる場合があります。

コネクタ	説明
マウス・コネクタ	標準マウス・コネクタを使用するマウスや、トラックボール、または他のポインティング・デバイスの接続に使用します。
キーボード・コネクタ	標準キーボード・コネクタを使用するキーボードの接続に使用します。
USB コネクタ	汎用シリアル・バス (USB) 接続を必要とする、USB スキャナーまたは USB プリンターなどのデバイスの接続に使用します。5 つ以上の USB デバイスがある場合には、USB ハブを購入すれば、追加の USB デバイスの接続に使用できます。
シリアル・コネクタ	9 ピン・シリアル・コネクタを使用する外部モデムや、シリアル・プリンター、または他のデバイスの接続に使用します。
パラレル・コネクタ	25 ピン・パラレル・コネクタを必要とするパラレル・プリンターや、パラレル・スキャナー、その他のデバイスの接続に使用します。
イーサネット・コネクタ	ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) 用のイーサネット・ケーブルの接続に使用します。 注: VCCI クラス B 制限内のコンピューターを操作するには、カテゴリ 5 のイーサネット・ケーブルを使用します。
S/PDIF コネクタ	一部のモデルに装備されたこのコネクタには、デジタル機器、S/PDIF 互換装置を接続できます。S/PDIF コネクタを使用する場合は、保護カバーを外して、カバーを安全な場所に保管します。
IEEE 1394 コネクタ	一部のモデルに装備された IEEE 1394 コネクタには、4 ピンと 6 ピンの 2 種類があります。デジタル・ビデオ・カメラや外部ドライブ等の IEEE 1394 互換装置に該当するコネクタを使用します。
マイクロホン・コネクタ	音声認識ソフトウェアを使用する場合や、音声やその他のサウンドをハード・ディスクに録音したいときに、マイクロホンをコンピューターに接続して使用します。

オーディオ出力コネクタ	オーディオ信号をコンピュータから外部デバイス (電源内蔵ステレオ・スピーカーや内蔵アンプ付きステレオ・スピーカー、ヘッドホン、マルチメディア・キーボード、またはステレオ・システムのオーディオ・ライン入力コネクタや外部録音装置など) に送るのに使用します。
オーディオ入力コネクタ	ステレオ・システムなどの外部オーディオ・デバイスからオーディオ信号を受け取るのに使用します。外部オーディオ・デバイスを接続するときに、デバイスのオーディオ・ライン出力コネクタと、コンピュータのオーディオ・ライン入力コネクタをケーブルで接続します。
モニター・コネクタ	このコネクタは、ほとんどの SVGA モニターに使用できます。
S ビデオ出力コネクタ	このコネクタは、一部のハイパフォーマンス・ビデオ・アダプターに付属しています。S ビデオ・コネクタのあるテレビを接続するときに使用します。S ビデオ・ケーブルは、別途入手する必要があります。
DVI - コネクタ	デジタル・モニターを接続する場合に使用します。一部のモデルに装備されます。
モデム・コネクタ	モデムを使用して、コンピュータと電話回線を接続するためのコネクタです。
電話コネクタ	電話を使用するためのコネクタです。

デバイス・ドライバーの入手

初期インストールされていないオペレーティング・システムのデバイス・ドライバーは、WWW の <http://www.ibm.com/pc/support/> で入手することができます。インストールの説明は、デバイス・ドライバー・ファイルの README ファイルにあります。

内蔵オプションの取り付け — 小型デスクトップ・モデル

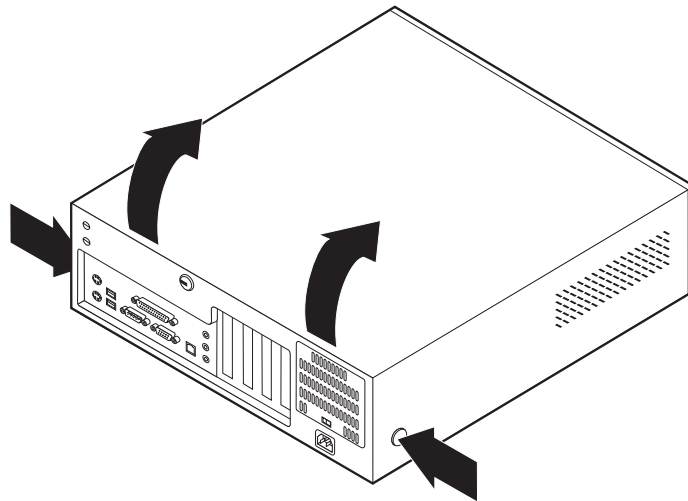
メモリーや、ドライブ、またはアダプターを追加して、ご使用のコンピュータの機能を拡張することができます。オプションを取り付けるときは、次の説明とともに、オプションに付属のマニュアルも使用します。

カバーの取り外し

重要: オプションの取り付けまたは取り外しを行う前に、175ページの『安全上の注意』をお読みください。これらの注記とガイドラインは、安全に作業をするのに役立ちます。

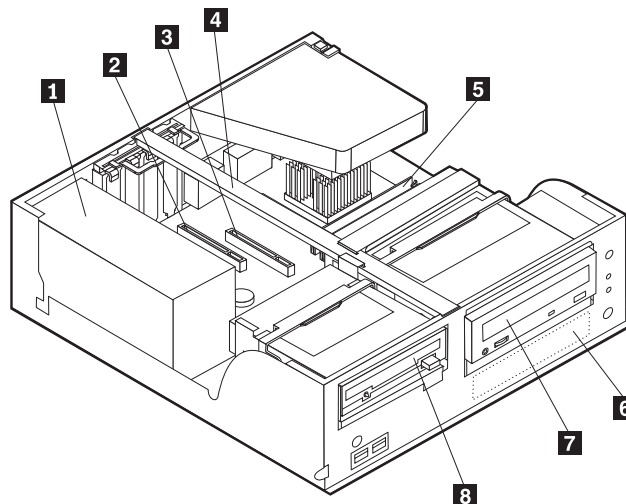
カバーの取り外しは、次の手順で行います。

1. すべてのメディア (ディスクや、CD、テープなど) をドライブから取り出し、オペレーティング・システムを終了して、すべての接続デバイスとコンピューターの電源をオフにします。
2. すべての電源コードをコンセントから取り外します。
3. コンピューターに接続されているすべてのケーブルを取り外します。これには、電源コードや、入出力 (I/O) ケーブル、コンピューターに接続されているその他のすべてのケーブルが含まれます。
4. コンピューター側面にあるボタンを押し、コンピューターの前面に向けてカバーの背面の端を上に戻します。



コンポーネントの位置

次の図で、コンピューター内部の各コンポーネントの位置を確認してください。



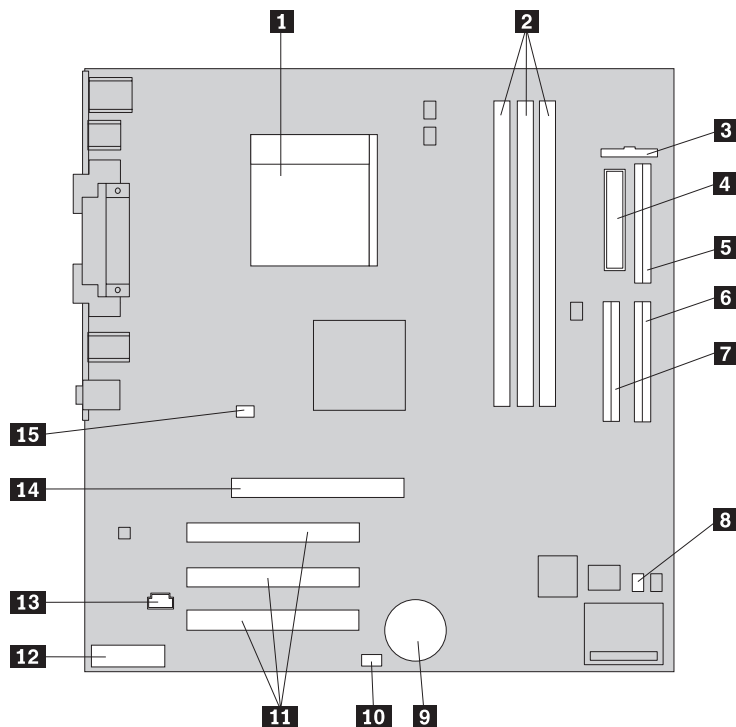
- 1 電源機構
- 2 PCI スロット
- 3 AGP スロット
- 4 サポート・バー

- 5 DIMM
- 6 ハード・ディスク
- 7 CD または DVD ドライブ
- 8 ディスケット・ドライブ

システム・ボードの部品の識別

システム・ボードは、プレーナー またはマザーボード と呼ばれ、コンピューターの中心となる回路ボードです。これは、基本的なコンピューター機能を提供し、さまざまなデバイスをサポートします。

システム・ボード上の部品の位置は、次の図を参照してください。



- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|
| 1 マイクロプロセッサー | 8 クリア CMOS リカバリー・ジャンパー |
| 2 DIMM コネクタ
(左から右に 1、2、3) | 9 電池 |
| 3 前面パネル・コネクタ | 10 SCSI LED コネクタ |
| 4 電源コネクタ | 11 PCI スロット |
| 5 ディスケット・ドライブ・コネクタ | 12 前面パネル・オーディオ・コネクタ |
| 6 1 次 IDE コネクタ | 13 CD オーディオ・コネクタ |
| 7 2 次 IDE コネクタ | 14 AGP スロット |
| | 15 12V 電源コネクタ |

メモリーの取り付け

ご使用のコンピューターには、デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り付けるためのコネクタが 3 つ付いており、最大 1 GB の システム・メモリーを取り付けることができます。

注: ご使用のコンピューターでサポートされているのは、左側から DIMM 1 と DIMM 2 だけです。DIMM 3 は、機械的な制約事項により使用しません。

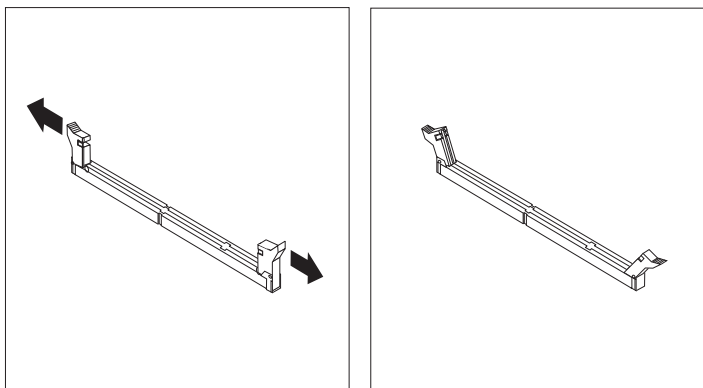
DIMM の取り付け: DIMM を取り付ける際には、次の規則が適用されます。

- 各システム・メモリー・コネクタを DIMM 1 から順に取り付ける。
- 3.3 V、同期、168 ピン、バッファなし、133 MHz パリティなし SDRAM を使用する。

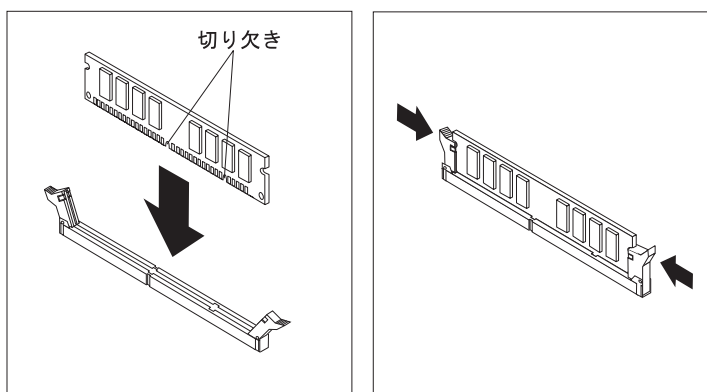
- 64、128、256、または 512 MB DIMM だけを任意の組み合わせで使用する。
- 高さ 38.1 mm の DIMM

DIMM の取り付け手順は次のとおりです。

1. カバーを取り外します。30ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. DIMM コネクターの位置を確認します。32ページの『システム・ボードの部品の識別』を参照してください。
3. 保持クリップを開きます。



4. DIMM の切り欠きを必ずコネクターのタブとそろえます。DIMM をコネクターに保持クリップが閉じるまで下に押し込むか、差し込みます。



次に行うこと

- 別のオプションの作業を行う場合は、該当する個所に進みます。
- 取り付けを完了する場合は、40ページの『カバーの再取り付けとケーブルの接続』に進みます。

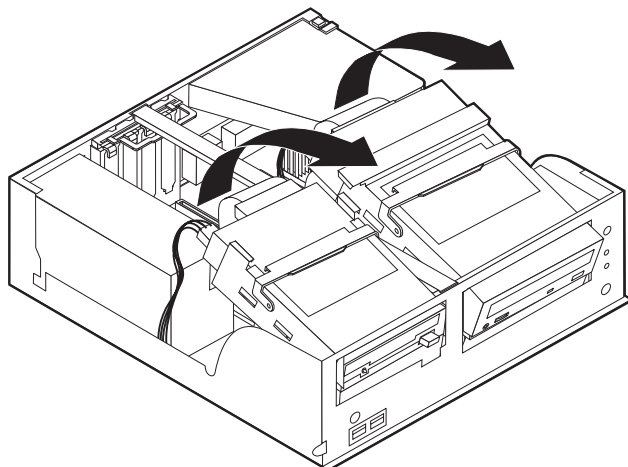
アダプターの取り付け

ここでは、アダプターの取り付けと取り外しに関する情報と手順について説明します。ご使用のコンピューターには、PCI アダプター用の拡張スロットが 3 つと

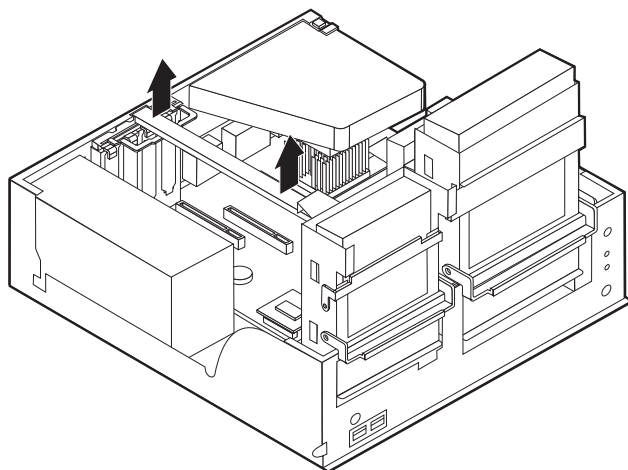
AGP アダプター用のスロットが 1 つ付いています。アダプターには、ロー・プロフィールを使用してください。このコンピューターに使用できるアダプターの長さは最長で 168 mm です。

アダプターを取り付ける手順は、次のとおりです。

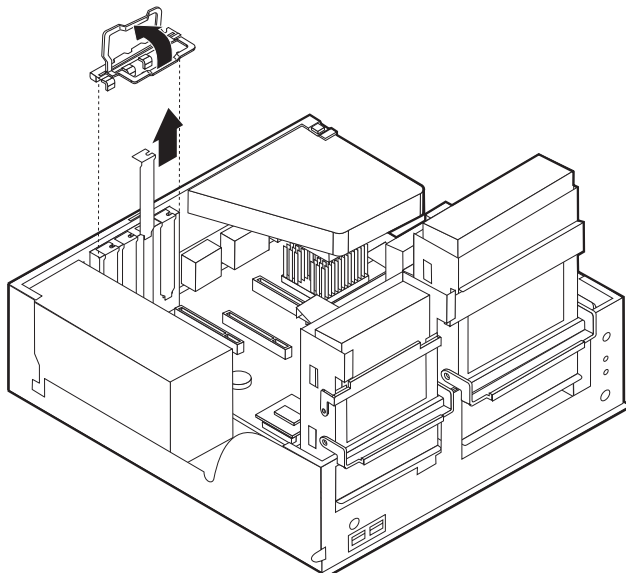
1. カバーを取り外します。30ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. 各ドライブに接続しているケーブルを取り外した後、ドライブ・ベイの 1 つのラッチ・ハンドルをコンピューターの前面に向けて回してから、図のように、ドライブ・ケージが垂直に固定されるまで上に向けて回します。もう 1 つのドライブ・ベイ・ケージについても同様の操作を繰り返します。



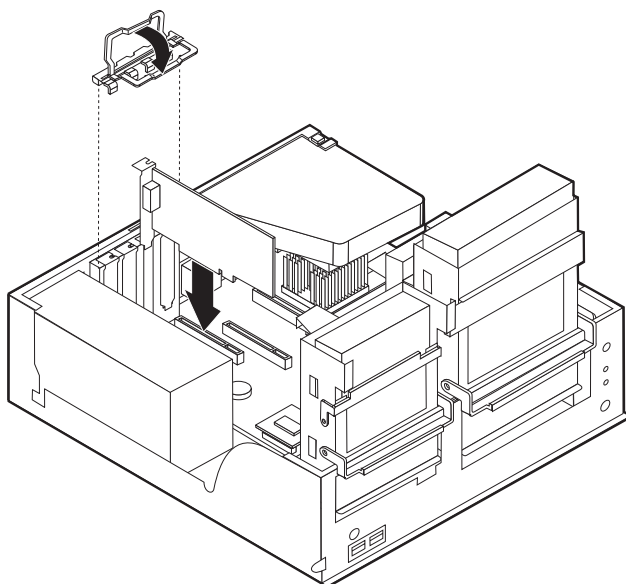
3. サポート・バーをコンピューターの外側に引いて取り外します。



4. 該当する拡張スロットのアダプター・スロット・カバーのラッチとスロット・カバーを取り外します。



5. アダプターを静電気防止パッケージから取り出します。
6. アダプターをシステム・ボード上の該当するスロットに取り付けます。
7. アダプター・スロット・カバーのラッチを取り付けます。



8. サポート・バーを取り付けて、2 つのドライブ・ベイを再取り付けします。

次に行うこと

- 別のオプションの作業を行う場合は、該当する個所に進みます。
- 取り付けを完了する場合は、40ページの『カバーの再取り付けとケーブルの接続』に進みます。

内蔵ドライブの取り付け

ここでは、内蔵ドライブの取り付けと取り外しに関する情報と手順について説明します。

内蔵ドライブは、コンピューターがデータの読み取りおよび保管のために使用するドライブです。記憶容量を増やして、コンピューターが CD-ROM などの他のタイプのメディアを読み取れるようにするために、コンピューターのドライブの増設や、交換ができます。

内蔵ドライブはベイに取り付けます。本書では、ベイをベイ 1、ベイ 2 などと呼びます。

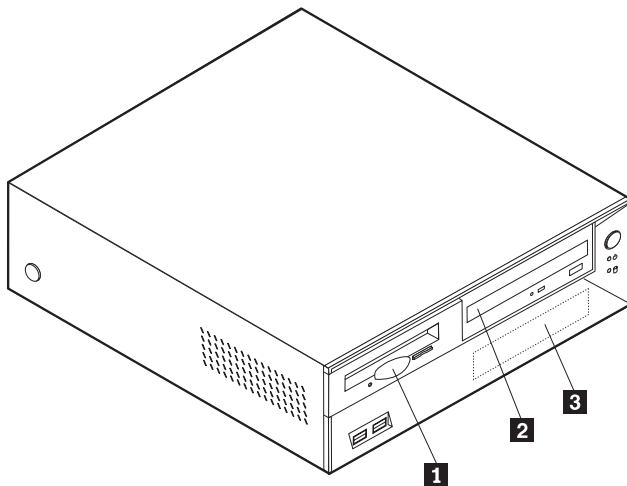
内蔵ドライブを取り付ける場合、ベイに取り付けることができるドライブのタイプとサイズを確認することが重要です。内蔵ドライブ・ケーブルを取り付けたドライブに正しく接続することも重要です。

ドライブの仕様: ご使用のコンピューターには、次のドライブが標準装備されています。

- ベイ 1 に 3.5 インチ・ディスケット・ドライブ
- ベイ 2 に CD または DVD ドライブ
- ベイ 3 に 3.5 インチ・ハード・ディスク・ドライブ

ドライブが取り付けられていないベイの場合は、静電気防止シールドとベイ・パネルが取り付けられています。

次の図は、ドライブ・ベイの位置を示しています。



次の表は、各ベイに取り付けることができるドライブの例と、それぞれの高さの要件を示しています。

1 ベイ 1 - 最大高さ: 25.8 mm	3.5 インチ・ディスケット・ドライブ (一部のモデルでは取り付け済み)
2 ベイ 2 - 最大高さ: 41.3 mm	CD-ROM ドライブ (一部のモデルに標準装備)
3 ベイ 3 - 最大高さ: 25.8 mm	3.5 インチ・ハード・ディスク (取り付け済み)

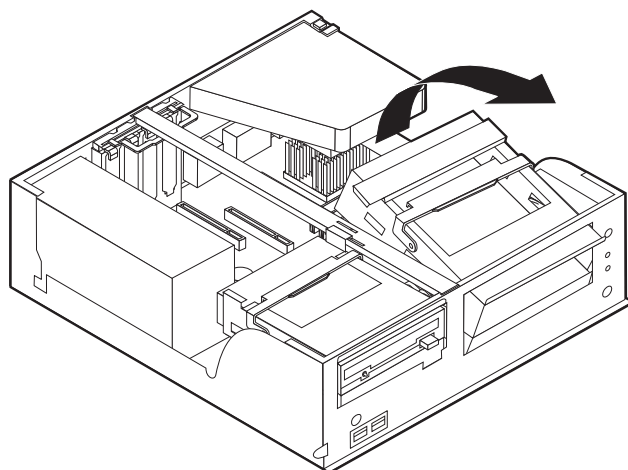
注:

1. 高さが 41.3 mm を超えるドライブは取り付けできません。

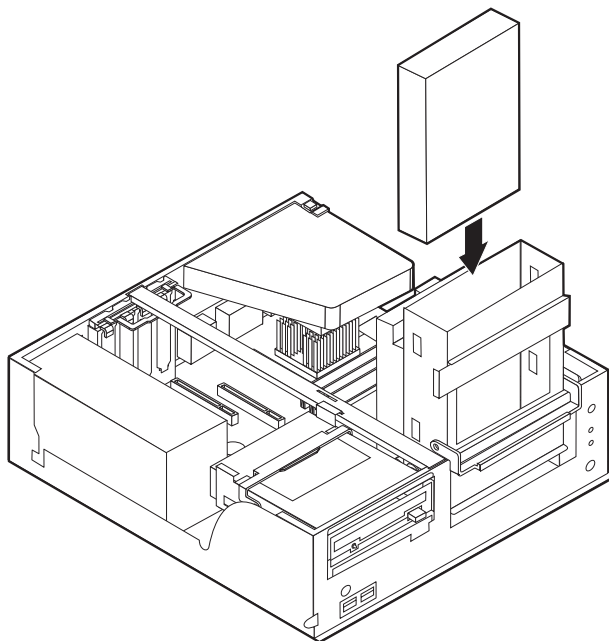
2. リムーバブル・メディア (テープまたは CD) ドライブは、アクセス可能なベイ (ベイ 2) に取り付けてください。

ドライブの取り付け: ベイ 2 に CD または DVD ドライブを取り付けるには、次のステップに従います。

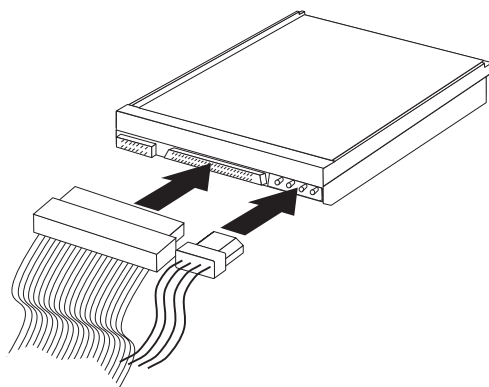
1. カバーを取り外します (30ページの『カバーの取り外し』を参照してください)。
2. 取り付けたドライブがリムーバブル・メディア・ドライブの場合には、前面ベゼルからベイ・パネルを取り外します。
3. マイナス・ドライバーをどちらか 1 つのスロットに差し込んで静かに引き出し、金属製シールドをドライブ・ベイから取り外します。
4. ドライブがマスター・デバイスに正しく設置されていることを確認します。マスター / スレーブのジャンパー接続情報については、CD または DVD ドライブに付属の資料を参照してください。
5. ドライブに接続しているケーブルを取り外した後、ドライブ・ベイのラッチ・ハンドルをコンピューターの前面に向けて回し、図のように、ドライブ・ベイ・ケーシングが垂直に固定されるまで上に向けて回します。



6. ドライブをベイに取り付けます。ねじ穴を合わせて、ねじ 2 本を差し込みます。



7. IDE ドライブには、ケーブル 2 本が必要です。電源機構に接続する 4 ワイヤ電源ケーブルが 1 本とシステム・ボードに接続する信号ケーブルが 1 本です。コンピュータに CD または DVD ドライブを接続するには、次のステップに従います。
- コンピュータまたは新しいドライブに付属の信号ケーブルを見つけます。
 - システム・ボード上の 2 次 IDE コネクタを見つけます。32 ページの『システム・ボードの部品の識別』を参照してください。
 - 信号ケーブルの一方の端をシステム・ボード上の 2 次 IDE コネクタに接続し、もう一方の端を CD または DVD ドライブに接続します。
 - コンピュータには追加ドライブの接続用の別の電源コネクタがあります。電源ケーブルをドライブに接続します。
 - CD オーディオ・ケーブルがあれば、ドライブおよびシステム・ボードに接続します。32 ページの『システム・ボードの部品の識別』を参照してください。



8. ドライブ・ベイ・ケージを元の位置に戻します。

次に行うこと

- 別のオプションの作業を行う場合は、該当する個所に進みます。
- 取り付けを完了する場合は、40ページの『カバーの再取り付けとケーブルの接続』に進みます。

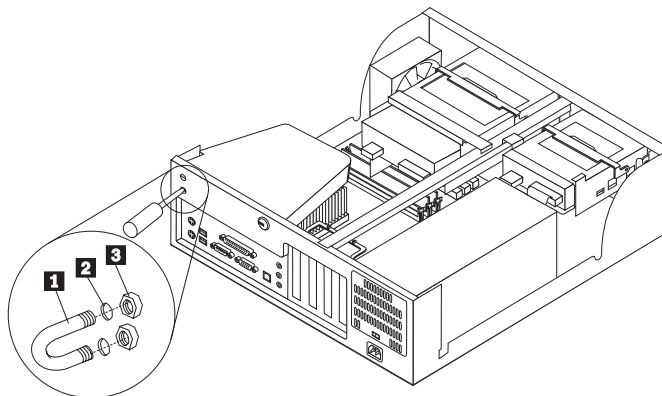
U 字ボルトの取り付け

ハードウェアの盗難を防ぐために、3/16 インチまたは 5 mm の U 字ボルトとケーブルをコンピューターに追加することができます (一部のモデルのみ)。セキュリティー・ケーブルを取り付けた後で、このケーブルが、コンピューターに接続されている他のケーブルを妨害していないことを確認します。

U 字ボルトを取り付ける手順は、次のとおりです。

1. カバーを取り外します (30ページの『カバーの取り外し』を参照してください)。
2. ねじ回しなどのツールを使用して、2 つの金属製プルタブを取り外します。
3. U 字ボルトを後部パネルに通し、ナットをはめて、適切なサイズの (または、調整可能な) レンチで締め付けます。
4. コンピューターのカバーを元に戻します。詳しくは、40ページの『カバーの再取り付けとケーブルの接続』を参照してください。

5. ケーブルを U 字ボルトに通し、建物の構造や基礎の一部などのような取り外すことができない物に巻き付けてから、ケーブルの両端をロックで固定します。



- 1 U 字ボルト
- 2 ボルト穴
- 3 ナット

次に行うこと

別のオプションの作業を行う場合は、該当する個所に進みます。

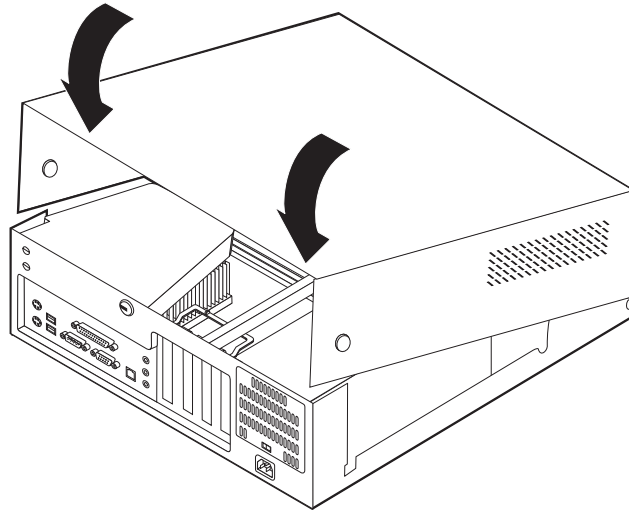
カバーの再取り付けとケーブルの接続

オプションの作業が終了した後、取り外した部品を取り付け、カバーを元に戻し、ケーブル（電源コードおよび電話線を含む）を再接続することが必要です。取り付けたオプションに応じて、装置構成ユーティリティ（IBM Setup Utility）の更新情報の確認が必要になる場合もあります。

カバーを元に戻し、ケーブルをコンピューターに接続するには、次の手順で行います。

1. すべてのコンポーネントが正しく再組み立てされており、コンピューターの内部にツールや緩んだねじが残されていないことを確認します。
2. カバーを再取り付けするのに邪魔になるケーブルをよめます。

3. カバーをシャシーの上に置き、カチッと音がして固定されるまでコンピューターの上から下の方にカバーを回します。



4. 外部ケーブルおよびコードをコンピューターに再接続します。23ページの『外部オプションの取り付け』を参照してください。
5. 構成を更新するには、15ページの『装置構成ユーティリティー・プログラム』を参照してください。

内蔵オプションの取り付け — デスクトップ・モデル

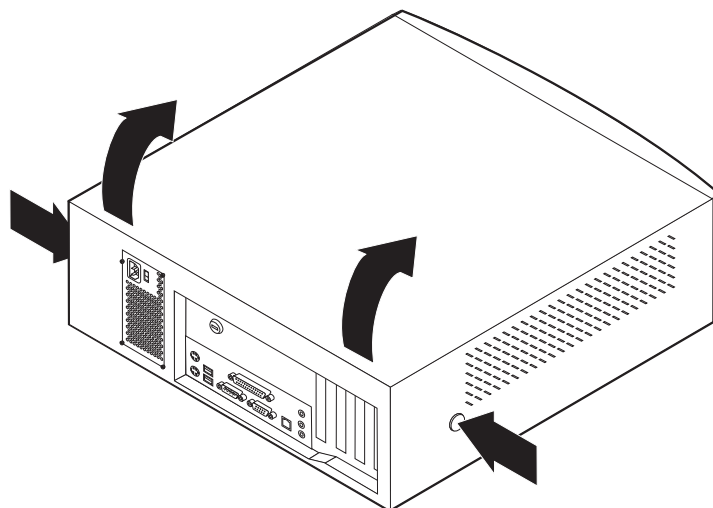
メモリーや、ドライブ、またはアダプターを追加して、ご使用のコンピューターの機能を拡張することができます。オプションを取り付けるときは、次の説明とともに、オプションに付属のマニュアルも使用します。

カバーの取り外し

カバーの取り外しは、次の手順で行います。

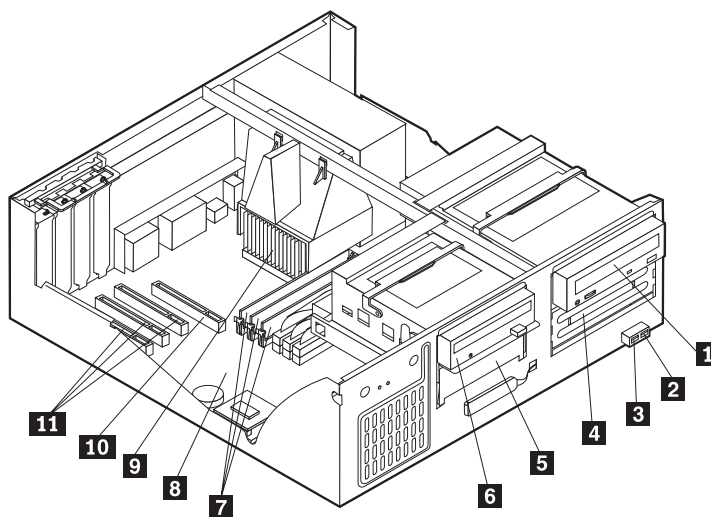
1. すべてのメディア（ディスクットや、CD、テープなど）をドライブから取り出し、オペレーティング・システムを終了して、すべての接続デバイスとコンピューターの電源をオフにします。
2. すべての電源コードをコンセントから取り外します。
3. コンピューターに接続されているすべてのケーブルを取り外します。これには、電源コードや、入出力 (I/O) ケーブル、コンピューターに接続されているその他のすべてのケーブルが含まれます。

4. コンピューター側面にあるボタンを押し、コンピューターの前面に向けてカバーの背面の端を上に戻します。



コンポーネントの位置

次の図で、コンピューター内部の各コンポーネントの位置を確認してください。

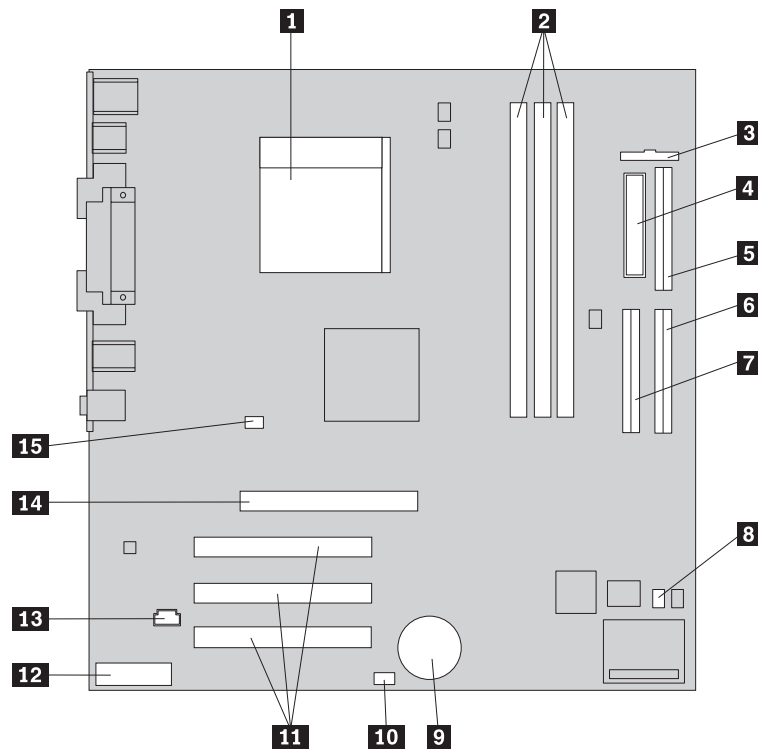


- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1 CD ドライブ | 7 DIMM |
| 2 前面 USB コネクター | 8 システム・ボード |
| 3 前面 USB コネクター | 9 マイクロプロセッサとヒート・シンク |
| 4 オプションのドライブ・ベイ | 10 AGP スロット |
| 5 ハード・ディスク・ドライブ | 11 PCI スロット |
| 6 ディスケット・ドライブ | |

システム・ボードの部品の識別

システム・ボードは、プレーナー またはマザーボード と呼ばれ、コンピューターの中心となる回路ボードです。これは、基本的なコンピューター機能を提供し、さまざまなデバイスをサポートします。

システム・ボード上の部品の位置は、次の図を参照してください。



- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| 1 マイクロプロセッサ | 8 クリア CMOS リカバリー・ジャンパー |
| 2 DIMM コネクター
(左から右に 1、2、3) | 9 電池 |
| 3 前面パネル・コネクター | 10 SCSI LED コネクター |
| 4 電源コネクター | 11 PCI スロット |
| 5 ディスケット・ドライブ・コネクター | 12 前面パネル・オーディオ・コネクター |
| 6 1 次 IDE コネクター | 13 CD オーディオ・コネクター |
| 7 2 次 IDE コネクター | 14 AGP スロット |
| | 15 12V 電源コネクター |

メモリーの取り付け

ご使用のコンピュータには、デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り付けるためのコネクターが 3 つ付いており、最大 1.5 GB のシステム・メモリーを取り付けることができます。

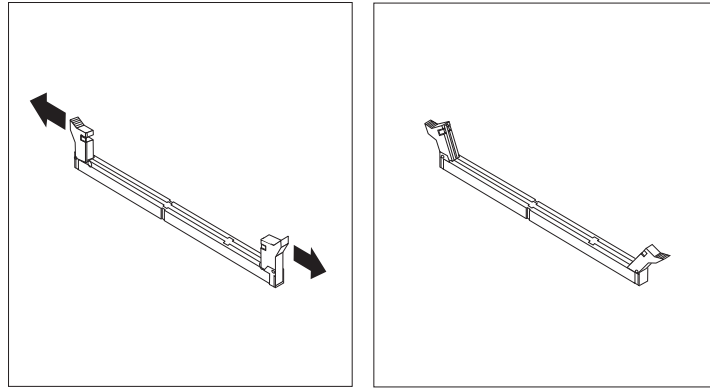
DIMM の取り付け: DIMM を取り付ける際には、次の規則が適用されます。

- 各システム・メモリー・コネクターを DIMM 1 から順に取り付ける。
- 3.3 V、同期、168 ピン、バッファなし、133 MHz パリティなし SDRAM を使用する。
- 64、128、256、または 512 MB DIMM だけを任意の組み合わせで使用する。
- 高さ 38.1 mm の DIMM

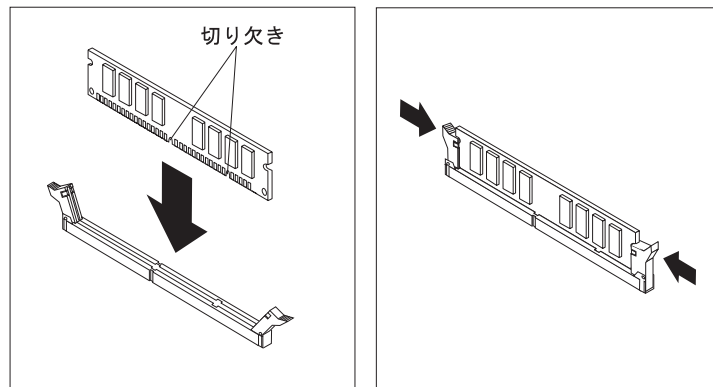
DIMM の取り付け手順は次のとおりです。

1. カバーを取り外します。41ページの『カバーの取り外し』を参照してください。

2. DIMM スロットにアクセスするには、アダプターを取り外す必要がある場合があります。『アダプターの取り付け』を参照してください。
3. DIMM コネクターの位置を確認します。42ページの『システム・ボードの部品の識別』を参照してください。
4. 保持クリップを開きます。



5. DIMM の切り欠きを必ずコネクターのタブとそろえます。DIMM をコネクターに保持クリップが閉じるまで下に押し込むか、差し込みます。



次に行うこと

- 別のオプションの作業を行う場合は、該当する個所に進みます。
- 取り付けを完了する場合は、51ページの『カバーの再取り付けとケーブルの接続』に進みます。

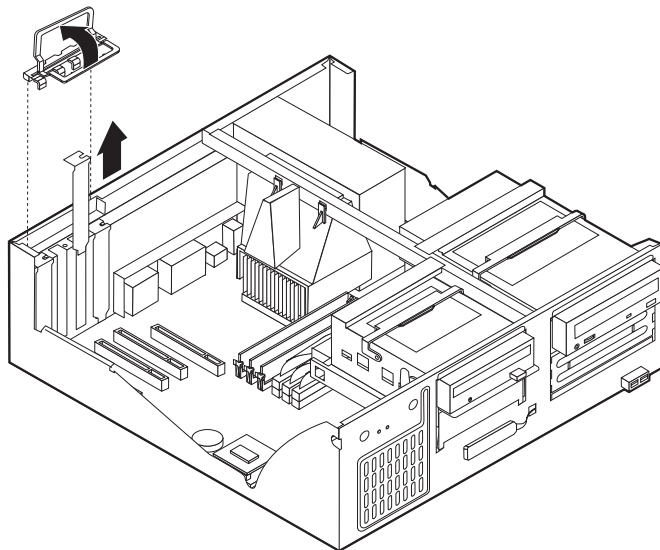
アダプターの取り付け

ここでは、アダプターの取り付けと取り外しに関する情報と手順について説明します。ご使用のコンピュータには、PCI アダプター用の拡張スロットが 3 つと AGP アダプター用のスロットが 1 つ付いています。最大 312 mm の長さのアダプターを取り付けることができます。

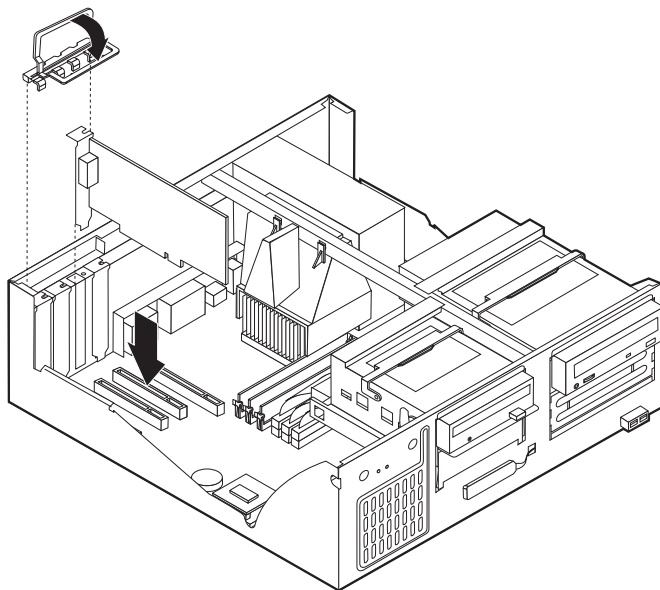
アダプターを取り付ける手順は、次のとおりです。

1. カバーを取り外します。41ページの『カバーの取り外し』を参照してください。

2. 該当する拡張スロットのアダプター・スロット・カバーのラッチとスロット・カバーを取り外します。



3. アダプターを静電気防止パッケージから取り出します。
4. アダプターをシステム・ボード上の該当するスロットに取り付けます。
5. アダプター・スロット・カバーのラッチを取り付けます。



次に行うこと

- 別のオプションの作業を行う場合は、該当する個所に進みます。
- 取り付けを完了する場合は、51ページの『カバーの再取り付けとケーブルの接続』に進みます。

内蔵ドライブの取り付け

ここでは、内蔵ドライブの取り付けと取り外しに関する情報と手順について説明します。

内蔵ドライブは、コンピューターがデータの読み取りおよび保管のために使用するドライブです。記憶容量を増やしたり、コンピューターが他のタイプのメディアを読み取れるようにするために、コンピューターにドライブを増設することができます。ご使用のコンピューターで使用可能なドライブの種類は、次のとおりです。

- ハード・ディスク
- テープ・ドライブ
- CD または DVD ドライブ
- リムーバブル・メディア・ドライブ

内蔵ドライブはベイに取り付けます。本書では、ベイをベイ 1、ベイ 2 などと呼びます。

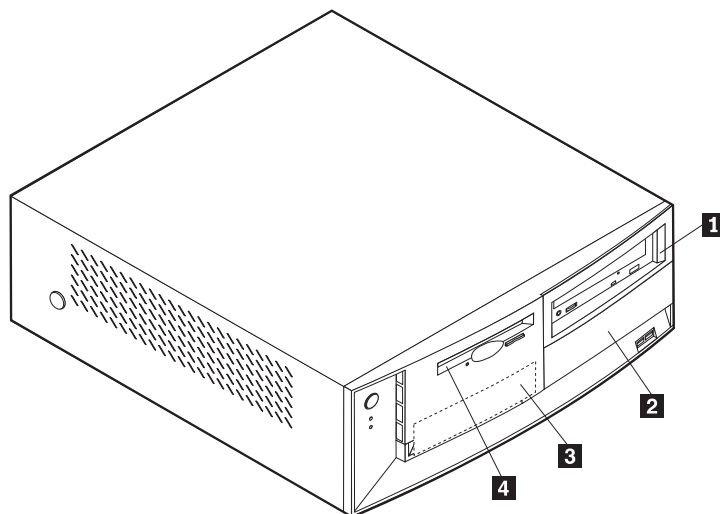
内蔵ドライブを取り付ける場合、ベイに取り付けることができるドライブのタイプとサイズを確認することが重要です。内蔵ドライブ・ケーブルを取り付けたドライブに正しく接続することも重要です。

ドライブの仕様: ご使用のコンピューターには、次のドライブが標準装備されています。

- ベイ 1 に CD ドライブ (一部のモデル)
- ベイ 3 に 3.5 インチ・ハード・ディスク・ドライブ
- ベイ 4 に 3.5 インチ・ディスケット・ドライブ

ベイ 1 と 2 にドライブが取り付けられていないモデルの場合は、静電気防止シールドとベイ・パネルが取り付けられています。

次の図は、ドライブ・ベイの位置を示しています。



次の表は、各ベイに取り付けることができるドライブの例と、それぞれの高さの要件を示しています。

1 ベイ 1 - 最大高さ: 41.3 mm

2 ベイ 2 - 最大高さ: 41.3 mm

3 ベイ 3 - 最大高さ: 25.8 mm

4 ベイ 4 - 最大高さ: 25.8 mm

CD ドライブ (一部のモデルに標準) 5.25 インチ・ハード・ディスク

5.25 インチ・ハード・ディスク

3.5 インチ・ハード・ディスク (取り付け金具が必要)

CD-ROM ドライブ

DVD ドライブ

3.5 インチ・ハード・ディスク (取り付け済み)

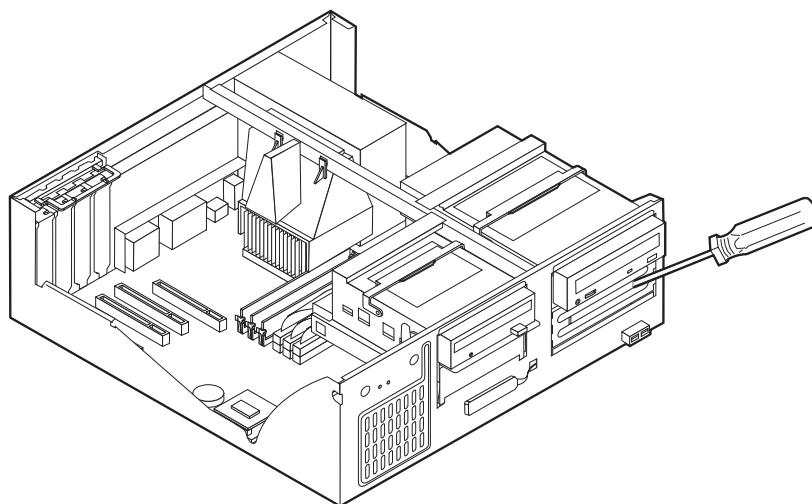
3.5 インチ・ディスケット・ドライブ (取り付け済み)

注:

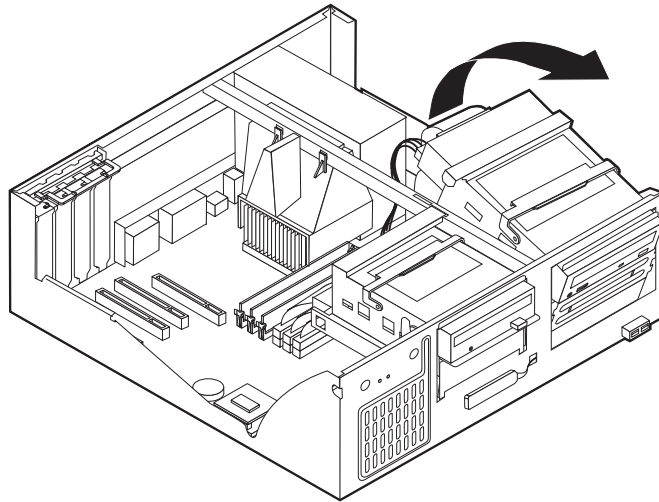
1. 高さが 41.3 mm を超えるドライブは取り付けることができません。
2. リムーバブル・メディア (テープまたは CD) ドライブは、アクセス可能なベイ (ベイ 1 または 2) に取り付けてください。

ドライブの取り付け: 内蔵ドライブを取り付けるには、次の手順に従います。

1. カバーを取り外します。41ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. ご使用のコンピューターに CD または DVD ドライブが付いている場合は、そのドライブから信号ケーブルと電源ケーブルの取り外しが必要な場合があります。
3. 取り付けたドライブがリムーバブル・メディア・ドライブの場合には、前面ベゼルからベイ・パネルを取り外します。
4. マイナス・ドライバーをどちらか 1 つのスロットに差し込んで静かに引き出し、金属製シールドをドライブ・ベイから取り外します。



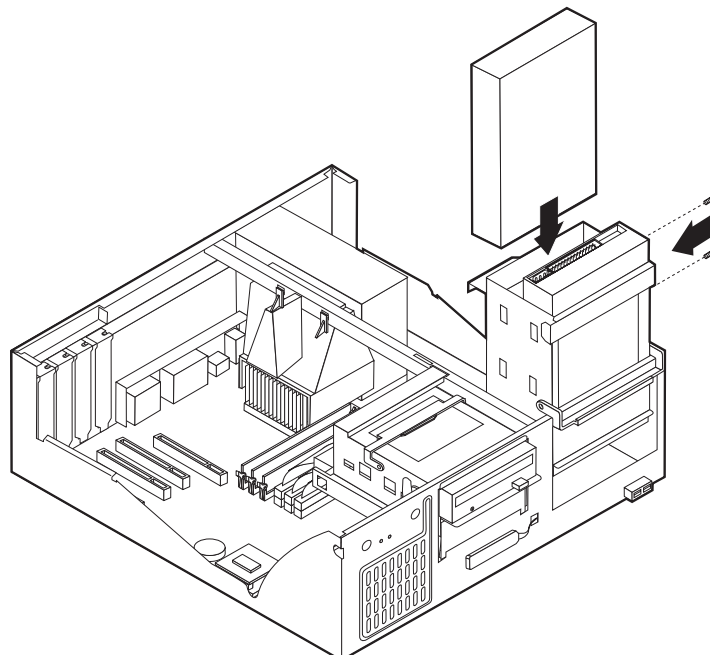
5. ドライブ・ベイのラッチ・ハンドルをコンピューターの前面に向けて回し、図のように、ドライブ・ベイ・ケージが垂直に固定されるまで上に向けて回します。



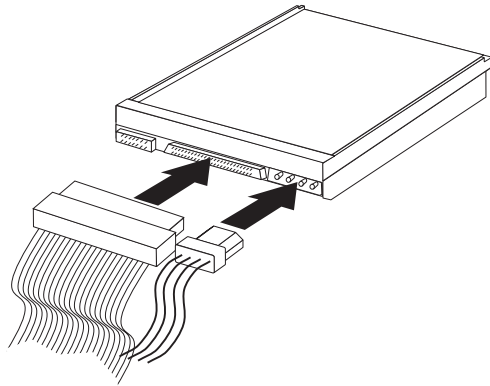
6. 取り付けるドライブが、マスターまたはスレーブのどちらかのデバイスに正しく設定されていることを確認します。
- ハード・ディスクの場合は、スレーブ・デバイスに設定する。
 - 最初の CD または DVD ドライブの場合は、マスター・デバイスに設定する。
 - 追加 CD または DVD ドライブの場合は、スレーブ・デバイスに設定する。

マスター / スレーブのジャンパー接続情報については、ドライブに付属の資料を参照してください。

7. ドライブをベイに取り付けます。ねじ穴を合わせて、ねじ 2 本を差し込みます。



8. ドライブ・ベイ・ケースを元の位置に戻します。
9. IDE ドライブには、ケーブル 2 本が必要です。電源機構に接続する 4 ワイヤ電源ケーブル 1 本とシステム・ボードに接続する信号ケーブルが 1 本です。



IDE ドライブを接続するステップは、接続するドライブのタイプに応じて異なります。ドライブ接続に合った手順については下記を参照してください。

最初の IDE CD または DVD ドライブの接続:

1. コンピューターまたは新しいドライブに付属の 3 コネクター付きの信号ケーブルを見つけます。
2. システム・ボード上の 2 次 IDE コネクターを見つけます。42ページの『システム・ボードの部品の識別』を参照してください。
3. 信号ケーブルの一方の端をドライブに接続し、もう一方の端をシステム・ボード上の 2 次 IDE コネクターに接続します。電子ノイズを削減するには、ケーブルの両端のコネクターだけを使用します。
4. コンピューターには追加ドライブ用の別の電源コネクターがあります。電源コネクターをドライブに接続します。
5. CD オーディオ・ケーブルがあれば、ドライブおよびシステム・ボードに接続します。42ページの『システム・ボードの部品の識別』を参照してください。

追加 IDE CD または DVD ドライブの接続:

1. システム・ボード上の 2 次 IDE コネクターおよび 3 コネクター付きの信号ケーブルを見つけます。42ページの『システム・ボードの部品の識別』を参照してください。
2. 信号ケーブルの別のコネクターを新しい CD または DVD ドライブに接続します。
3. コンピューターには追加ドライブ用の別の電源コネクターがあります。電源コネクターをドライブに接続します。

追加 IDE ハード・ディスクの接続:

1. システム・ボード上の 1 次 IDE コネクターを見つけます。3 コネクター・ケーブルの一方の端をハード・ディスクに接続し、もう一方の端をシステム・ボードに接続します。42ページの『システム・ボードの部品の識別』を参照してください。
2. 信号ケーブルの別のコネクターを新しいハード・ディスクに接続します。

3. コンピューターには追加ドライブ用の別の電源コネクタがあります。電源コネクタをドライブに接続します。

次に行うこと

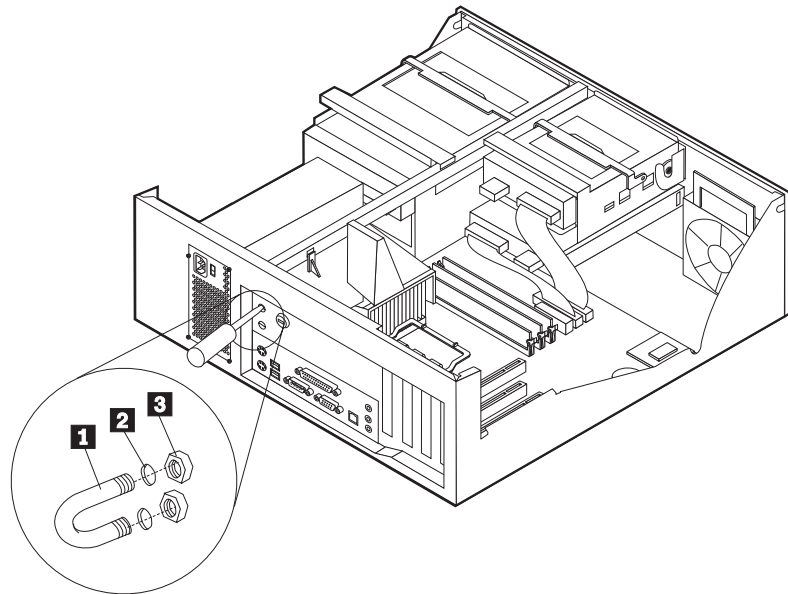
- 別のオプションの作業を行う場合は、該当する個所に進みます。
- 取り付けを完了する場合は、51ページの『カバーの再取り付けとケーブルの接続』に進みます。

U 字ボルトの取り付け

ハードウェアの盗難を防ぐために、3/16 インチまたは 5 mm の U 字ボルトとケーブルをコンピューターに追加することができます (一部のモデルのみ)。セキュリティー・ケーブルを取り付けた後で、このケーブルが、コンピューターに接続されている他のケーブルを妨害していないことを確認します。

U 字ボルトを取り付ける手順は、次のとおりです。

1. カバーを取り外します。41ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. ねじ回しなどのツールを使用して、2 つの金属製プルタブを取り外します。
3. U 字ボルトを後部パネルに通し、ナットをはめて、適切なサイズの (または、調整可能な) レンチで締め付けます。
4. コンピューターのカバーを元に戻します。詳しくは、51ページの『カバーの再取り付けとケーブルの接続』を参照してください。
5. ケーブルを U 字ボルトに通し、建物の構造や基礎の一部などのような取り外すことができない物に巻き付けてから、ケーブルの両端をロックで固定します。



- 1** U 字ボルト
- 2** ボルト穴
- 3** ナット

次に行うこと

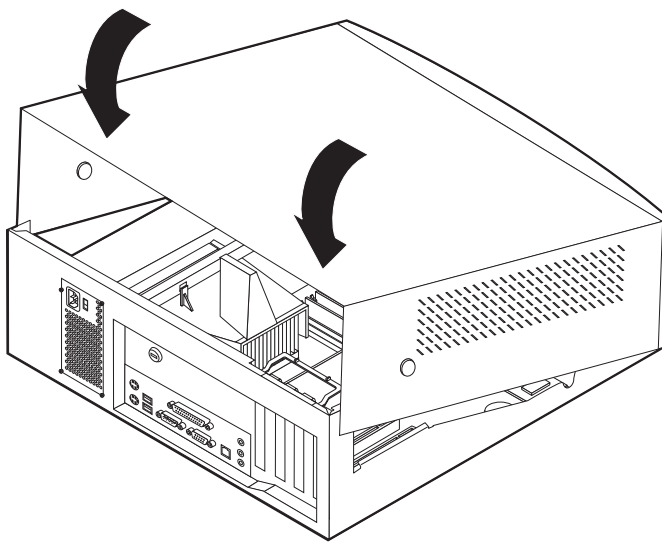
別のオプションの作業を行う場合は、該当する個所に進みます。

カバーの再取り付けとケーブルの接続

オプションの作業が終了した後、取り外した部品を取り付け、カバーを元に戻し、ケーブル（電源コードおよび電話線を含む）をすべて再接続することが必要です。取り付けたオプションに応じて、装置構成ユーティリティ（IBM Setup Utility）の更新情報の確認が必要になる場合もあります。

カバーを元に戻し、ケーブルをコンピューターに接続するには、次の手順で行います。

1. すべてのコンポーネントが正しく再組み立てされており、コンピューターの内部にツールや緩んだねじが残されていないことを確認します。
2. カバーを再取り付けするのに邪魔になるケーブルをよめます。
3. カバーをシャーシの上に置き、カチッと音がして固定されるまでコンピューターの上から下の方にカバーを回します。



4. 外部ケーブルおよびコードをコンピューターに再接続します。23ページの『外部オプションの取り付け』を参照してください。
5. 構成を更新するには、15ページの『装置構成ユーティリティ・プログラム』を参照してください。

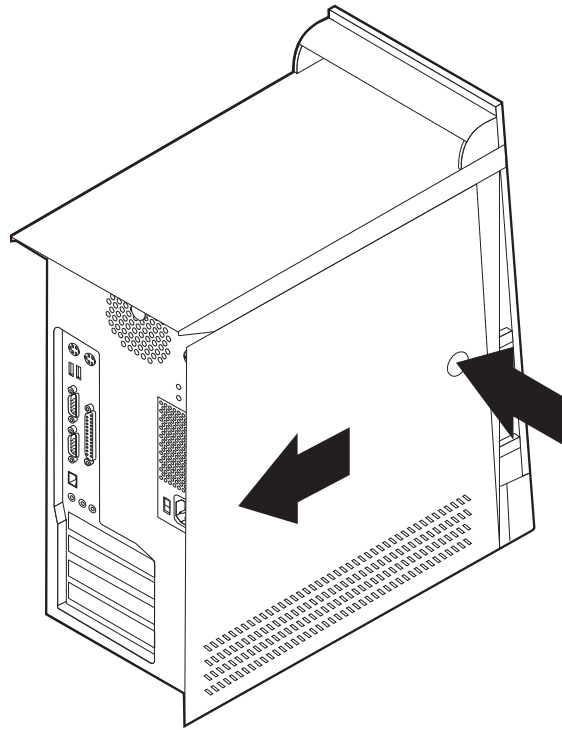
内蔵オプションの取り付け — マイクロタワー・モデル

メモリーや、ドライブ、またはアダプターを追加して、ご使用のコンピューターの機能を拡張することができます。オプションを取り付けるときは、次の説明とともに、オプションに付属のマニュアルも使用します。

カバーの取り外し

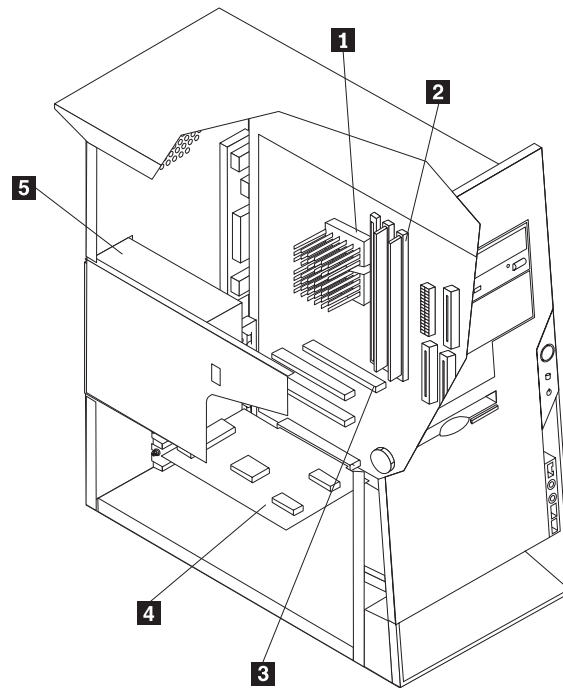
カバーの取り外しは、次の手順で行います。

1. すべてのメディア (ディスクや、CD、テープなど) をドライブから取り出し、オペレーティング・システムを終了して、すべての接続デバイスとコンピューターの電源をオフにします。
2. すべての電源コードをコンセントから取り外します。
3. コンピューターに接続されているすべてのケーブルを取り外します。これには、電源コードや、入出力 (I/O) ケーブル、コンピューターに接続されているその他のすべてのケーブルが含まれます。
4. 左側のカバーにあるカバー取り外しボタンを押して、カバーを取り外します。



コンポーネントの位置

次の図で、コンピューター内部の各コンポーネントの位置を確認してください。



1 マイクロプロセッサとヒート・シンク

2 DIMM

3 AGP スロット

4 PCI アダプター

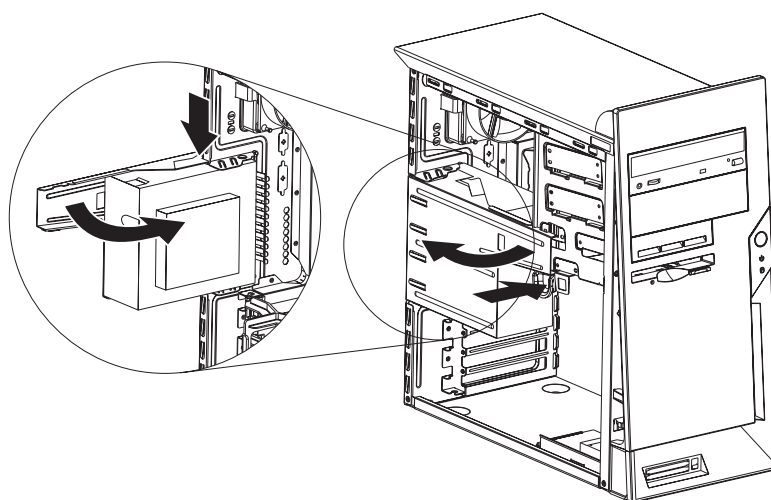
5 電源機構

電源機構の移動

コンピューター内部のいくつかの操作を行うには、システム・ボードの部品にアクセスする際に、見るのが難しかったり、届かなかったりするために、電源機構を移動する必要がある場合があります。システム・ボードへのアクセスを簡単に行うには、次の手順を使用します。

1. 電源機構の位置を確認します。『コンポーネントの位置』を参照してください。
2. プラスチック製のタブを押して電源機構を解除します。

3. 電源機構をコンピューターの外側に出します。

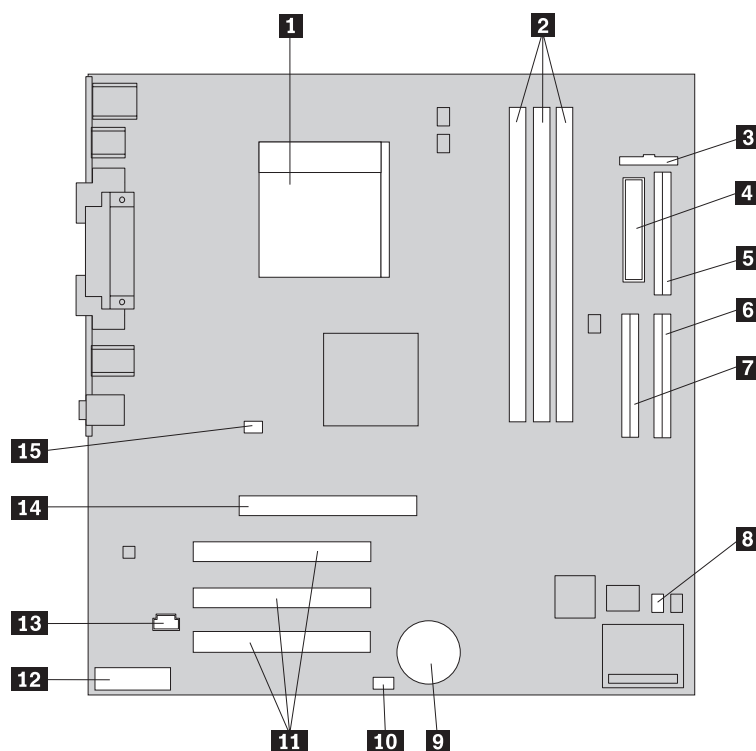


4. 電源機構は、金属製のタブでオープンの位置にロックします。
5. 電源機構を元に戻すには、金属製のタブを押し入れ、これらのステップを逆に行います。

システム・ボードの部品の識別

システム・ボードは、プレーナー またはマザーボード と呼ばれ、コンピューターの中心となる回路ボードです。これは、基本的なコンピューター機能を提供し、さまざまなデバイスをサポートします。

システム・ボード上の部品の位置は、次の図を参照してください。



- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| 1 マイクロプロセッサー | 8 クリア CMOS リカバリー・ジャンパー |
| 2 DIMM コネクター
(左から右に 1、2、3) | 9 電池 |
| 3 前面パネル・コネクター | 10 SCSI LED コネクター |
| 4 電源コネクター | 11 PCI スロット |
| 5 ディスケット・ドライブ・コネクター | 12 前面パネル・オーディオ・コネクター |
| 6 1 次 IDE コネクター | 13 CD オーディオ・コネクター |
| 7 2 次 IDE コネクター | 14 AGP スロット |
| | 15 12V 電源コネクター |

メモリーの取り付け

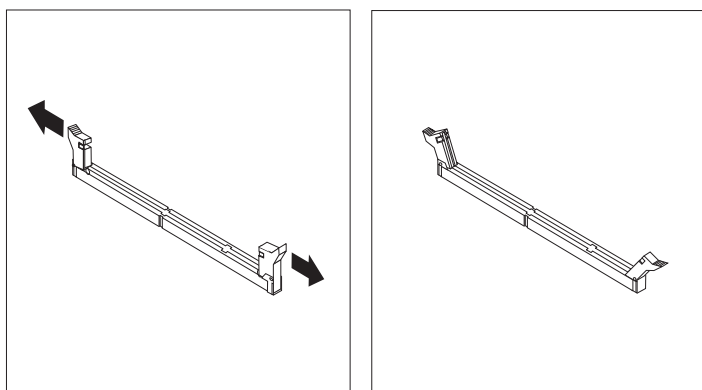
ご使用のコンピュータには、デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り付けるためのコネクターが 3 つ付いており、最大 1.5 GB のシステム・メモリーを取り付けることができます。

DIMM の取り付け: DIMM を取り付ける際には、次の規則が適用されます。

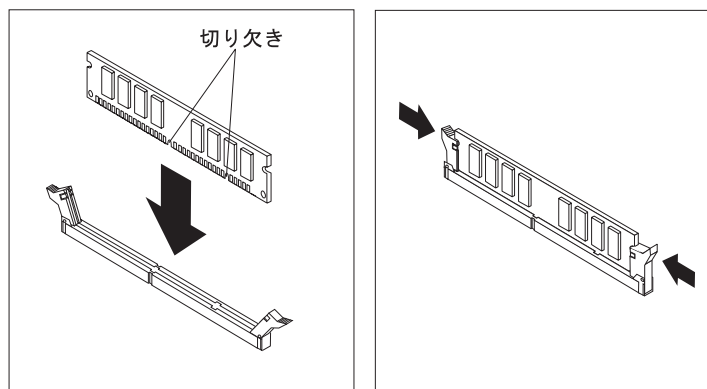
- 各システム・メモリー・コネクターを DIMM 1 から順に取り付ける。
- 3.3 V、同期、168 ピン、バッファーなし、133 MHz パリティなし SDRAM を使用する。
- 64、128、256、または 512 MB DIMM だけを任意の組み合わせで使用する。
- 高さ 38.1 mm の DIMM

DIMM の取り付け手順は次のとおりです。

1. カバーを取り外します。51ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. DIMM スロットにアクセスするには、アダプターを取り外す必要がある場合があります。56ページの『アダプターの取り付け』を参照してください。
3. DIMM コネクターの位置を確認します。54ページの『システム・ボードの部品の識別』を参照してください。
4. 保持クリップを開きます。



5. DIMM の切り欠きを必ずコネクターのタブとそろえます。DIMM をコネクターに保持クリップが閉じるまで下に押し込むか、差し込みます。



次に行うこと

- 取り外したすべてのアダプターを元の位置に戻します。
- 電源機構を元の位置に戻します。
- 別のオプションの作業を行う場合は、該当する個所に進みます。
- 取り付けを完了する場合は、62ページの『カバーの再取り付けとケーブルの接続』に進みます。

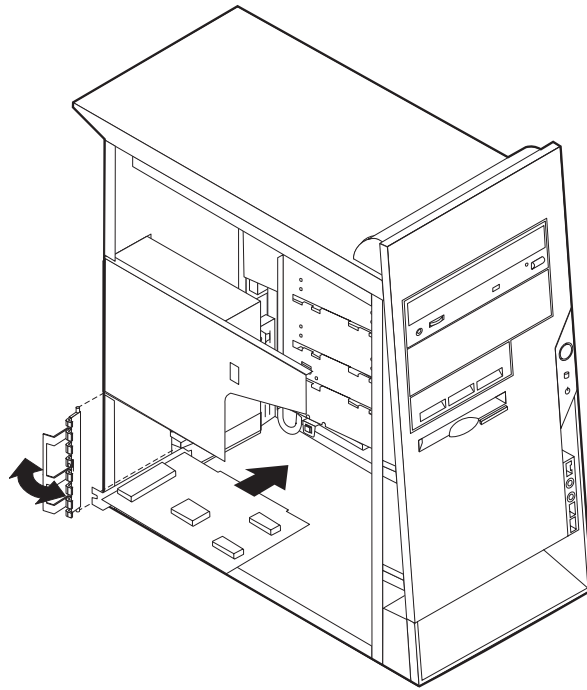
アダプターの取り付け

ここでは、アダプターの取り付けと取り外しに関する情報と手順について説明します。ご使用のコンピューターには、PCI アダプター用の拡張スロットが 3 つと AGP アダプター用のスロットが 1 つ付いています。最大 228 mm の長さのアダプターを取り付けることができます。

アダプターを取り付ける手順は、次のとおりです。

1. カバーを取り外します。51ページの『カバーの取り外し』を参照してください。

2. 該当する拡張スロットのアダプター・スロット・カバーを取り外します。



3. アダプターを静電気防止パッケージから取り出します。
4. アダプターをシステム・ボード上の該当するスロットに取り付けます。
5. アダプター・スロット・カバーのラッチを取り付けます。

次に行うこと

- 別のオプションの作業を行う場合は、該当する個所に進みます。
- 取り付けを完了する場合は、62ページの『カバーの再取り付けとケーブルの接続』に進みます。

内蔵ドライブの取り付け

ここでは、内蔵ドライブの取り付けと取り外しに関する情報と手順について説明します。

内蔵ドライブは、コンピューターがデータの読み取りおよび保管のために使用するドライブです。記憶容量を増やしたり、コンピューターが他のタイプのメディアを読み取れるようにするために、コンピューターにドライブを増設することができます。ご使用のコンピューターで使用可能なドライブの種類は、次のとおりです。

- ハード・ディスク
- CD または DVD ドライブ
- リムーバブル・メディア・ドライブ

内蔵ドライブはベイに取り付けます。本書では、ベイをベイ 1、ベイ 2 などと呼びます。

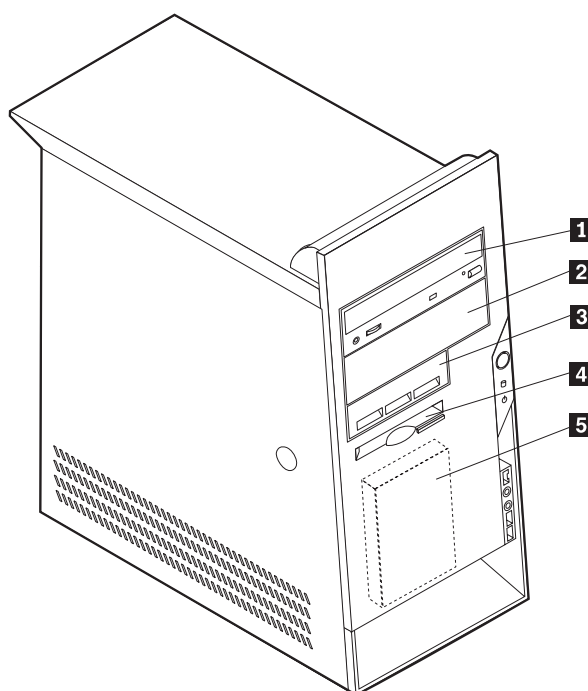
内蔵ドライブを取り付ける場合、ベイに取り付けることができるドライブのタイプとサイズを確認することが重要です。内蔵ドライブ・ケーブルを取り付けたドライブに正しく接続することも重要です。

ドライブの仕様: ご使用のコンピューターには、次のドライブが標準装備されています。

- ベイ 1 に CD または DVD ドライブ (一部のモデル)
- ベイ 3 に 3.5 インチ・ディスケット・ディスク・ドライブ
- ベイ 4 に 3.5 インチ・ハード・ディスク

ベイ 1 と 2 にドライブが取り付けられていないモデルの場合は、静電気防止シールドとベイ・パネルが取り付けられています。

次の図は、ドライブ・ベイの位置を示しています。



次の表は、ベイに取り付けることができるドライブの例と、それぞれの高さの要件を示しています。

1	ベイ 1 - 最大高さ: 41.3 mm	CD-ROM ドライブ (一部のモデルに標準装備)
2	ベイ 2 - 最大高さ: 41.3 mm	5.25 インチ・ハード・ディスク
		5.25 インチ・ハード・ディスク
		3.5 インチ・ハード・ディスク (取り付け金具が必要)
		CD-ROM ドライブ
		DVD ドライブ
3	ベイ 3 - 最大高さ: 25.8 mm	3.5 インチ・ディスケット・ドライブ
4	ベイ 4 - 最大高さ: 25.8 mm	3.5 インチ・ディスケット・ドライブ (取り付け済み)
5	ベイ 5 - 最大高さ: 25.8 mm	ハード・ディスク (取り付け済み)

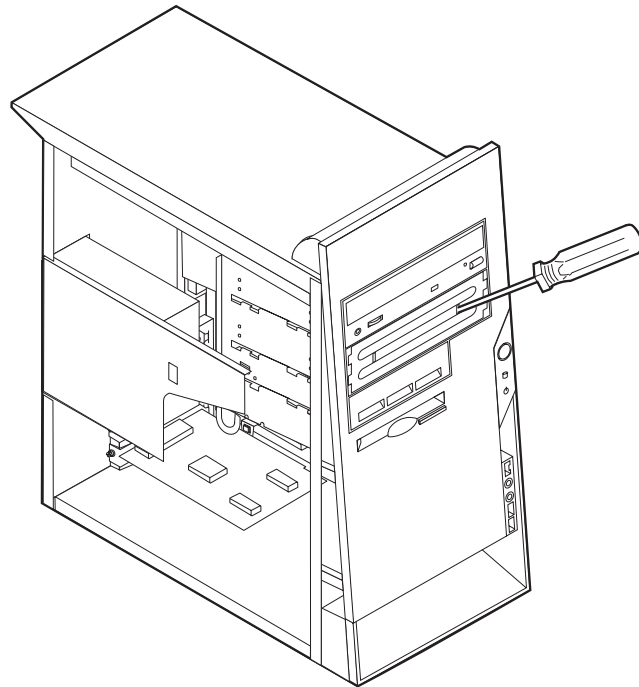
注:

1. 高さが 41.3 mm を超えるドライブは取り付けできません。

2. リムーバブル・メディア (テープまたは CD) ドライブは、アクセス可能なベイ (ベイ 1 または 2) に取り付けてください。

ドライブの取り付け: 内蔵ドライブを取り付けるには、次の手順に従います。

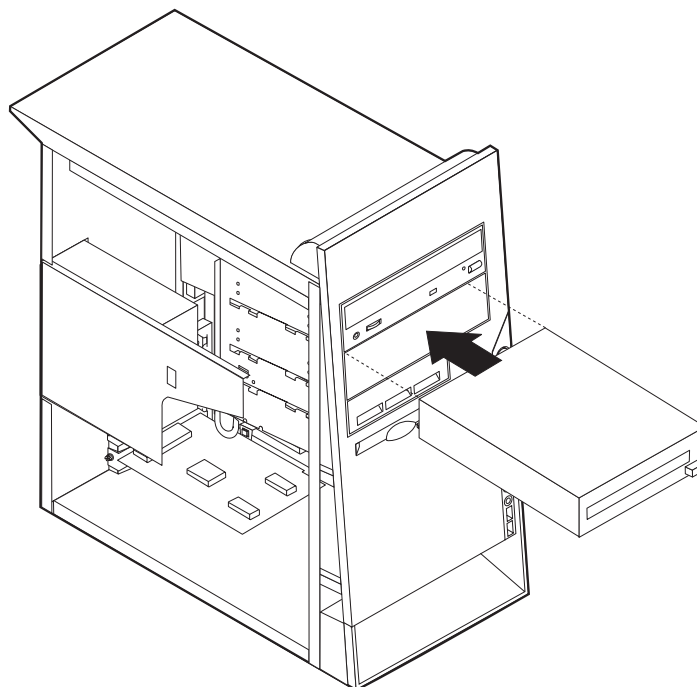
1. カバーを取り外します。51ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. ご使用のコンピューターに CD または DVD ドライブが付いている場合は、そのドライブから信号ケーブルと電源ケーブルの取り外しが必要な場合があります。
3. マイナス・ドライバーを端に差し込んで静かに引き出し、ベイ・パネルをドライブ・ベイから取り外します。
4. マイナス・ドライバーをどちらか 1 つのスロットに差し込んで静かに引き出し、金属製シールドをドライブ・ベイから取り外します。



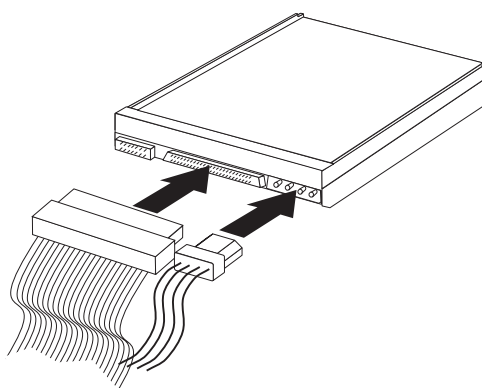
5. 取り付けるドライブが、マスターまたはスレーブのどちらかのデバイスに正しく設定されていることを確認します。
 - 最初の CD または DVD ドライブの場合は、マスター・デバイスに設定する。
 - 追加 CD または DVD ドライブの場合は、スレーブ・デバイスに設定する。
 - ハード・ディスクの場合は、スレーブ・デバイスに設定する。

マスター / スレーブのジャンパー接続情報については、ドライブに付属の資料を参照してください。

6. ドライブをベイに取り付けます。ねじ穴を合わせて、ドライブをベイに固定するねじ 2 本を差し込みます。



7. IDE ドライブには、ケーブル 2 本が必要です。電源機構に接続する 4 ワイヤー電源ケーブル 1 本とシステム・ボードに接続する信号ケーブルが 1 本です。CD ドライブ用に、オーディオ・ケーブルが必要なこともあります。



IDE ドライブを接続するステップは、接続するドライブのタイプに応じて異なります。ドライブ接続に合った手順については下記を参照してください。

最初の IDE CD または DVD ドライブの接続

1. コンピューターまたは新しいドライブに付属の 3 コネクター付きの信号ケーブルを見つけます。
2. システム・ボード上の 2 次 IDE コネクターを見つけます。54ページの『システム・ボードの部品の識別』を参照してください。

3. 信号ケーブルの一方の端をドライブに接続し、もう一方の端をシステム・ボード上の 2 次 IDE コネクタに接続します。電子ノイズを削減するには、ケーブルの両端のコネクタだけを使用します。
4. コンピューターには追加ドライブ用の別の電源コネクタがあります。電源コネクタをドライブに接続します。
5. CD オーディオ・ケーブルがあれば、ドライブおよびシステム・ボードに接続します。54ページの『システム・ボードの部品の識別』を参照してください。

追加 IDE CD または DVD ドライブの接続

1. システム・ボード上の 2 次 IDE コネクタおよび 3 コネクタ付きの信号ケーブルを見つけてください。54ページの『システム・ボードの部品の識別』を参照してください。
2. 信号ケーブルの別のコネクタを新しい CD または DVD ドライブに接続します。
3. コンピューターには追加ドライブ用の別の電源コネクタがあります。電源コネクタをドライブに接続します。

追加 IDE ハード・ディスクの接続

1. システム・ボード上の 1 次 IDE コネクタを見つけてください。3 コネクタ・ケーブルの一方の端をハード・ディスクに接続し、もう一方の端をシステム・ボードに接続します。54ページの『システム・ボードの部品の識別』を参照してください。
2. 信号ケーブルの別のコネクタを新しいハード・ディスクに接続します。
3. コンピューターには追加ドライブ用の別の電源コネクタがあります。電源コネクタをドライブに接続します。

次に行うこと

- 別のオプションの作業を行う場合は、該当する個所に進みます。
- 取り付けを完了する場合は、62ページの『カバーの再取り付けとケーブルの接続』に進みます。

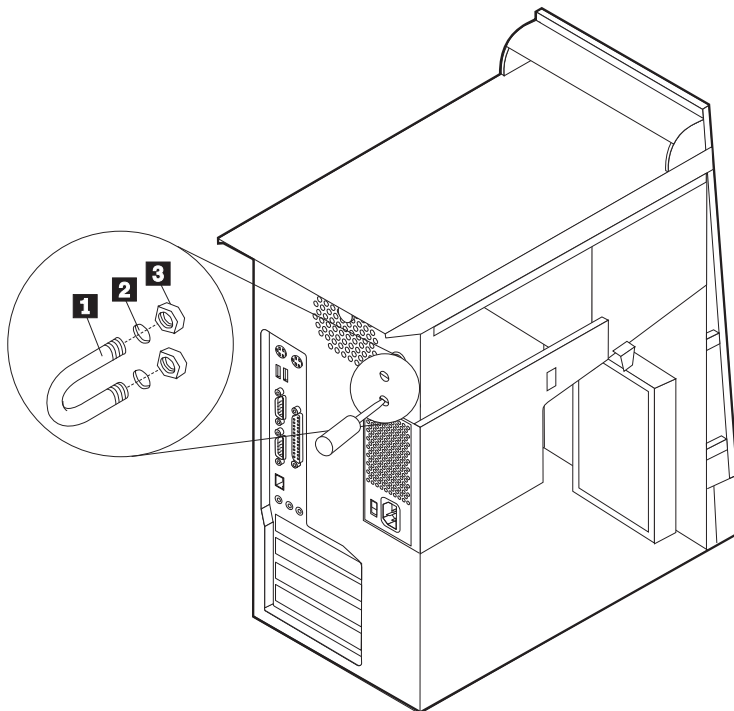
U 字ボルトの取り付け

ハードウェアの盗難を防ぐために、3/16 インチまたは 5 mm の U 字ボルトとケーブルをコンピューターに追加することができます (一部のモデルのみ)。セキュリティー・ケーブルを取り付けた後で、このケーブルが、コンピューターに接続されている他のケーブルを妨害していないことを確認します。

U 字ボルトを取り付ける手順は、次のとおりです。

1. カバーを取り外します (51ページの『カバーの取り外し』を参照してください)。
2. ねじ回しなどのツールを使用して、2 つの金属製プルタブを取り外します。
3. U 字ボルトを後部パネルに通し、ナットをはめて、適切なサイズの (または、調整可能な) レンチで締め付けます。
4. コンピューターのカバーを元に戻します。詳しくは、62ページの『カバーの再取り付けとケーブルの接続』を参照してください。

5. ケーブルを U 字ボルトに通し、建物の構造や基礎の一部などのような取り外すことができない物に巻き付けてから、ケーブルの両端をロックで固定します。



- 1 U 字ボルト
- 2 ボルト穴
- 3 ナット

次に行うこと

別のオプションの作業を行う場合は、該当する個所に進みます。

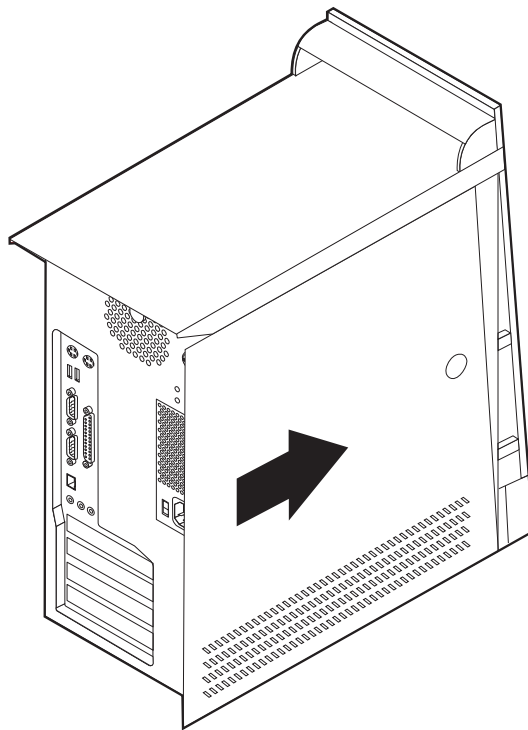
カバーの再取り付けとケーブルの接続

オプションの作業が終了した後、取り外した部品を取り付け、カバーを元に戻し、ケーブル (電源コードおよび電話線を含む) をすべて再接続する必要があります。取り付けたオプションに応じて、装置構成ユーティリティー (IBM Setup Utility) の更新情報の確認が必要になる場合もあります。

カバーを元に戻し、ケーブルをコンピューターに接続するには、次の手順で行います。

1. すべてのコンポーネントが正しく再組み立てされており、コンピューターの内部にツールや緩んだねじが残されていないことを確認します。
2. カバーを再取り付けするのに邪魔になるケーブルをよめます。
3. カバーをシャーシの上に置き、カバー下端のレール・ガイドをレールの位置に合わせます。カバーをレールに沿って移動し、カチッと音がするまで押すとカバー

が閉じた位置になります。



4. 外部ケーブルおよびコードをコンピューターに再接続します。23ページの『外部オプションの取り付け』を参照してください。
5. 構成を更新するには、15ページの『装置構成ユーティリティー・プログラム』を参照してください。

重要

最初に電源コードが接続された場合には、コンピューターは数秒間電源がオンになったように見えてから、オフになります。これは、通常の順序で、コンピューターの初期化を可能にします。

第6章 FRU の取り外し

これらの取り外しを行うのは、専門のサービス技術員だけにしてください。

重要: オプションの取り付けまたは取り外しを行う前に、175ページの『安全上の注意』をお読みください。これらの注記とガイドラインは、安全に作業をするのに役立ちます。

マイクロプロセッサの交換

いずれのマシン・タイプでもマイクロプロセッサを交換するには、次の手順で行います。

1. サーバーおよび周辺デバイスの電源をオフにし、外部ケーブルおよび電源コードをすべて切り離してから、カバーを取り外します。小型デスクトップの場合は、30ページの『カバーの取り外し』を、デスクトップの場合は、41ページの『カバーの取り外し』を、マイクロタワーの場合は、51ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. システム・ボードを取り外します。小型デスクトップの場合は、73ページの『システム・ボード』を、デスクトップの場合は、69ページの『システム・ボード』を、マイクロタワーの場合は、67ページの『システム・ボード』を参照してください。
3. ファン・シンクを所定の位置に保持する 2 つのキャプチャーねじを緩め、ねじを倒してファン・シンクの切り欠きから外します。
4. プロセッサからファン・シンクを取り外すには、ファン・シンクをねじって、熱伝導グリースのシールを破り、取り外します。

注: 熱伝導グリース・シールを破ることができない場合は、システムを始動して、プロセッサを温め、熱伝導グリースを緩めてください。

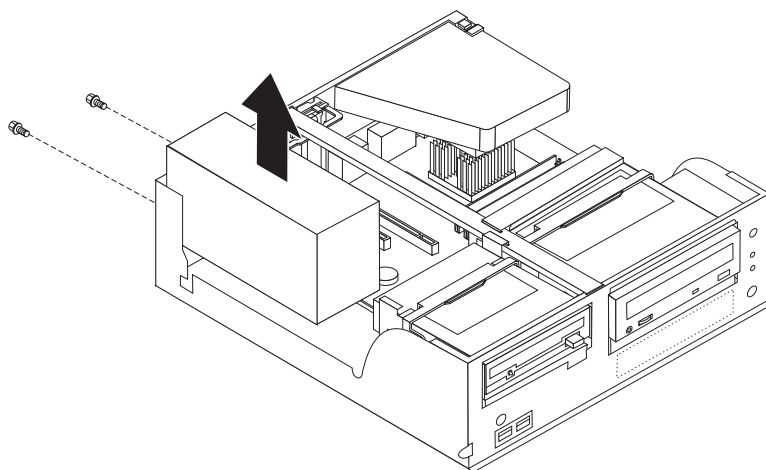
5. プロセッサ・ソケット・レバー・アームを引き出し、上方に最大の垂直位置になるまで持ち上げ、プロセッサを解放します。
6. プロセッサをシステム・ボードから持ち上げて外します。

注: 新しいプロセッサを取り付けるときは、必ずファン・シンクを再取り付けして、適切な冷却が得られるようにしてください。

小型デスクトップの取り外し

取り外しを行う前に、電源コードのプラグをすべて抜き、すべてのアダプターを取り外します。

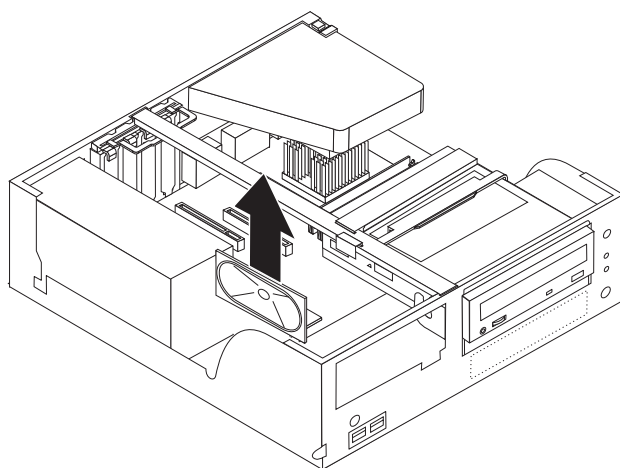
電源機構



電源機構を取り外すには、次のようにします。

1. サーバーおよび周辺デバイスの電源をオフにし、外部ケーブルおよび電源コードをすべて切り離してから、カバーを取り外します。30ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. 電源機構に接続されているワイヤーをすべて切り離します。
3. 電源機構を所定の位置に保持しているねじ 2 本を取り外します。
4. 電源機構を持ち上げて、外に出します。

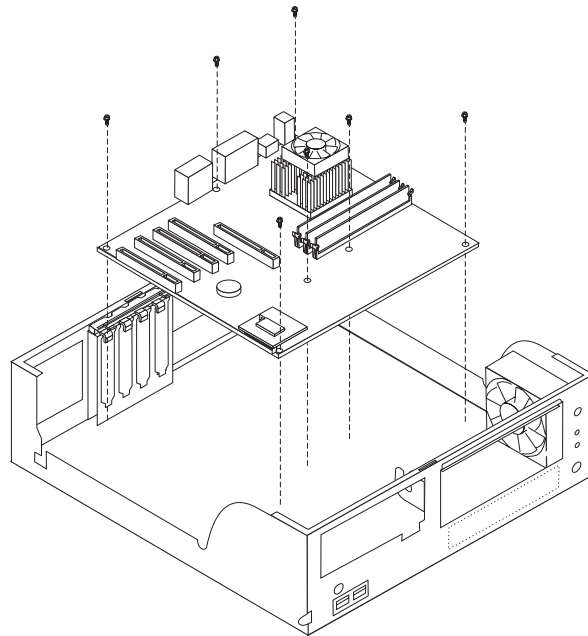
スピーカー



スピーカーを取り外すには、次のようにします。

1. サーバーおよび周辺デバイスの電源をオフにし、外部ケーブルおよび電源コードをすべて切り離してから、カバーを取り外します。30ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. スピーカーのワイヤーを切り離します。
3. スピーカーを上のスライドさせて、ブラケットから取り外します。

システム・ボード



システム・ボードを取り外すには、次のようにします。

1. サーバーおよび周辺デバイスの電源をオフにし、外部ケーブルおよび電源コードをすべて切り離してから、カバーを取り外します。30ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. エア・バッフルを取り外します。
3. システム・ボードに接続されたすべてのワイヤーを切り離します。
4. システム・ボードの上方でドライブ・シャシーを回転させ、直立位置にロックします。
5. サポート・アームを引き出して、取り外します。
6. システム・ボードをシャシーに取り付けるねじ 7 本を取り外します。
7. システム・ボードを持ち上げて、外に出します。

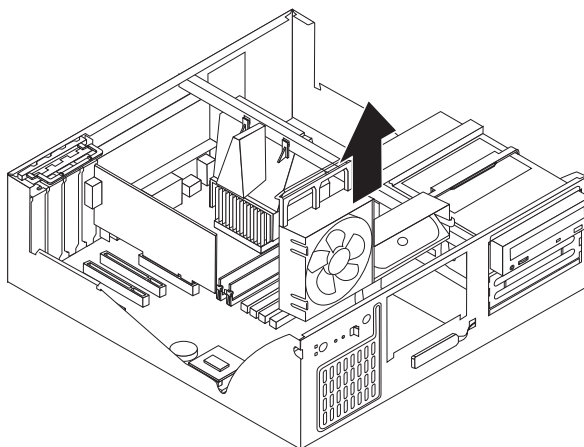
エア・バッフル

エア・バッフルを取り外すには、次のようにします。

1. サーバーおよび周辺デバイスの電源をオフにし、外部ケーブルおよび電源コードをすべて切り離してから、カバーを取り外します。30ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. 両手でエア・バッフルを押しつぶし、シャシーからタブを解放します。
3. エア・バッフルを持ち上げて、外に出します。

デスクトップの取り外し

ファン / スピーカー



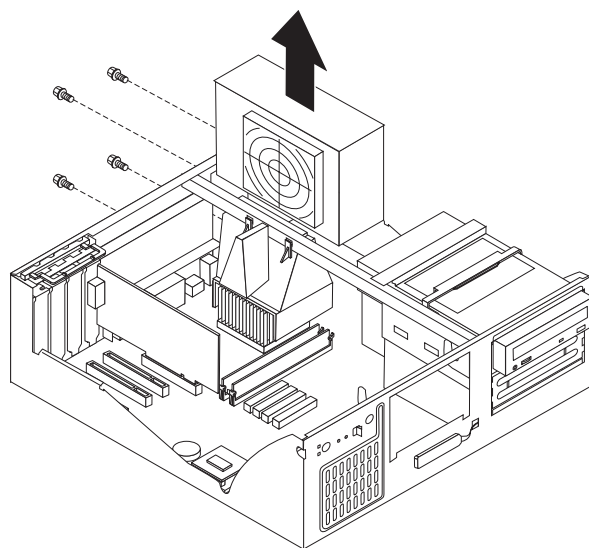
ファンを取り外すには、次のようにします。

1. サーバーおよび周辺デバイスの電源をオフにし、外部ケーブルおよび電源コードをすべて切り離してから、カバーを取り外します。41ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. ファンのワイヤーとスピーカーのワイヤーを切り離します。
3. シャシの前面でタブを押し込み、ファン / スピーカーのブラケットを解放します。
4. シャシからファンを引き出します。

スピーカーを取り外すには、次のようにします。

1. サーバーおよび周辺デバイスの電源をオフにし、外部ケーブルおよび電源コードをすべて切り離してから、カバーを取り外します。41ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. スピーカーのワイヤーを切り離します。
3. 上の図に示すように、ファン / スピーカー・ブラケットを取り外します。
4. スピーカーをスライドさせて、ブラケットから取り外します。

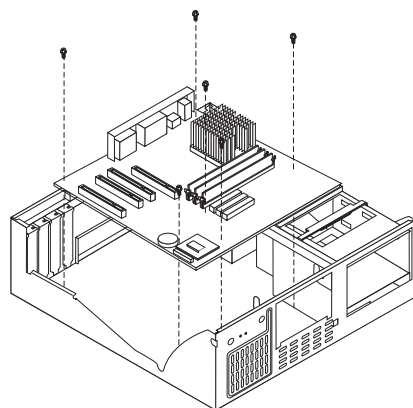
電源機構



電源機構を取り外すには、次のようにします。

1. サーバーおよび周辺デバイスの電源をオフにし、外部ケーブルおよび電源コードをすべて切り離してから、カバーを取り外します。41ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. 電源機構のワイヤーを切り離します。
3. シャシの背面で電源機構を所定の位置に保持しているねじ 4 本を取り外します。
4. 電源機構を持ち上げて、外に出します。

システム・ボード



システム・ボードを取り外すには、次のようにします。

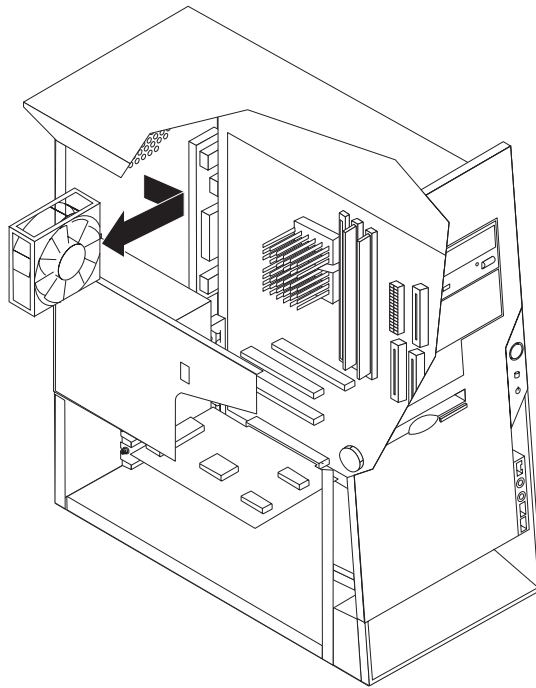
1. サーバーおよび周辺デバイスの電源をオフにし、外部ケーブルおよび電源コードをすべて切り離してから、カバーを取り外します。41ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. システム・ボードの上方でドライブ・シャシーを上に戻し、直立位置にロックします。
3. サポート・アームを引き出して、取り外します。

4. システム・ボードに接続されたすべてのワイヤーを切り離します。
5. システム・ボードをシャーシに取り付けるねじ 6 本を取り外します。
6. システム・ボードを持ち上げて外に出します。

マイクロタワーの取り外し

マイクロタワーの取り外しには、システムを横に倒し、側面を下にした方が楽です。

ファン



ファンを取り外すには、次のようにします。

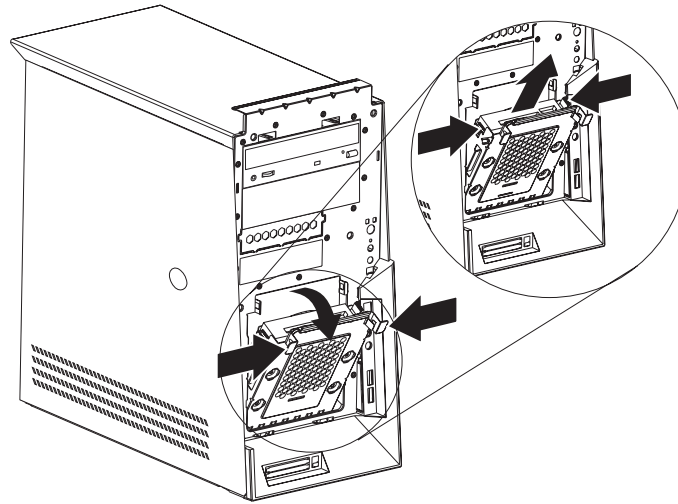
1. サーバーおよび周辺デバイスの電源をオフにし、外部ケーブルおよび電源コードをすべて切り離してから、カバーを取り外します。51ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. 53ページの『電源機構の移動』を参照してください。
3. ファンをシャーシの背面に保持しているタブを押し込みます。
4. ファンを持ち上げて、シャーシから外に出します。

前面ベゼル

前面ベゼルを取り外すには、次のようにします。

1. サーバーおよび周辺デバイスの電源をオフにし、外部ケーブルおよび電源コードをすべて切り離します。
2. ベゼル解放アームを押し込み (青色のアームがシャーシの背面から突き出しています)、シャーシからベゼルを外します。
3. ベゼルのコンピューターの前面から引き離します。

ハード・ディスク・ドライブ

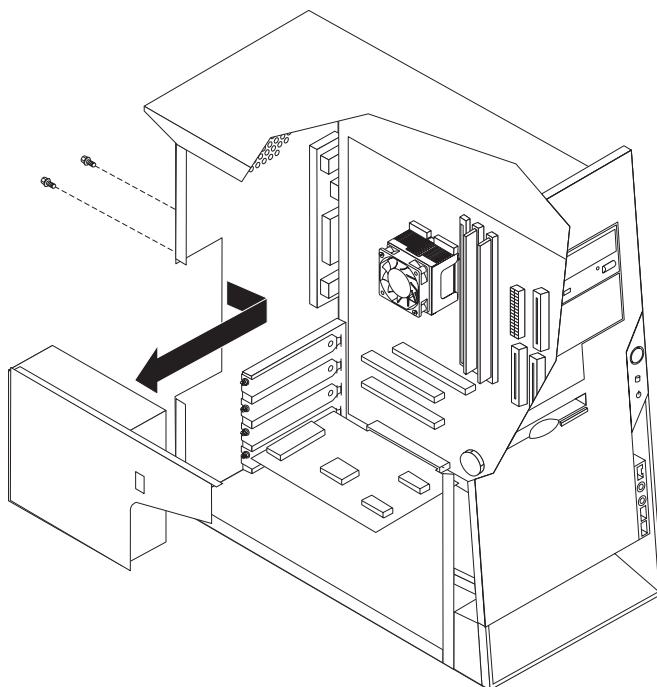


ハード・ディスク・ドライブを取り外すには、次のようにします。

1. サーバーおよび周辺デバイスの電源をオフにし、外部ケーブルおよび電源コードをすべて切り離してから、カバーを取り外します。51ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. ハード・ディスク・ドライブのワイヤーをすべて切り離します。
3. 2つのタブを押し込み、ハード・ディスク・ドライブを回して、外に出します。
4. レール・ガイドを押し込み、ハード・ディスク・ドライブをスライドさせて、外に出します。

注: ハード・ディスク・ドライブを交換するときは、新しいハード・ディスク・ドライブを取り付けた後にインストールする正しいリカバリー CD を入手するようにしてください。

電源機構



電源機構を取り外すには、次のようにします。

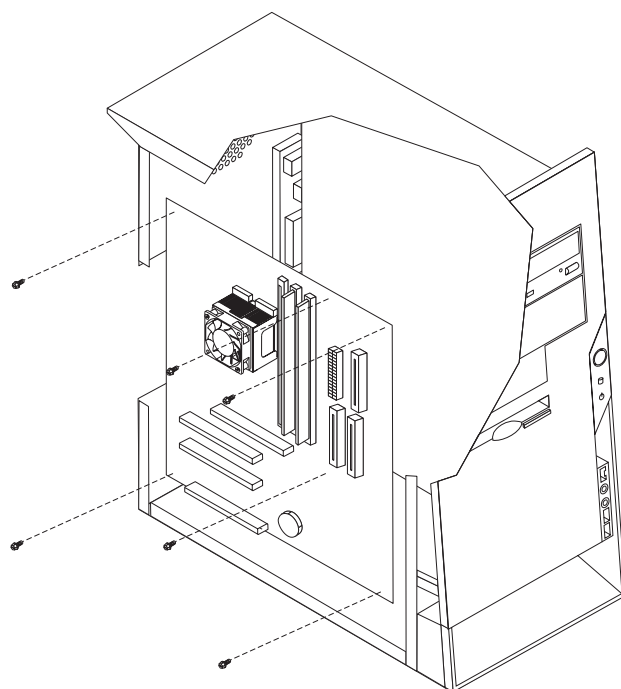
1. サーバーおよび周辺デバイスの電源をオフにし、外部ケーブルおよび電源コードをすべて切り離してから、カバーを取り外します。51ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. 電源機構のワイヤーを切り離します。
3. 電源機構をシャシーの背面に保持しているねじ 2 本を取り外します。
4. 電源機構を持ち上げて、外に出します。

スピーカー

スピーカーを取り外すには、次のようにします。

1. サーバーおよび周辺デバイスの電源をオフにし、外部ケーブルおよび電源コードをすべて切り離してから、カバーを取り外します。51ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. 電源機構を回転して外します。53ページの『電源機構の移動』を参照してください。
3. スピーカーのワイヤーを切り離します。
4. スピーカーをスライドさせて、ブラケットから取り外します。

システム・ボード



システム・ボードを取り外すには、次のようにします。

1. サーバーおよび周辺デバイスの電源をオフにし、外部ケーブルおよび電源コードをすべて切り離してから、カバーを取り外します。51ページの『カバーの取り外し』を参照してください。
2. 53ページの『電源機構の移動』を参照してください。
3. システム・ボードに接続されたすべてのワイヤーを切り離します。
4. システム・ボードをシャーシに取り付けるねじ 6 本を取り外します。
5. システム・ボードを持ち上げて、外に出します。

第7章 異常現象と FRU の関連表

異常現象と FRU の関連表は、エラー症状および考えられる原因をリストしています。最も起こりそうな原因が最初にリストされています。必ず 3 ページの『一般チェックアウト』から始めてください。この表は、コンピューターを保守する際にどの FRU を用意するか判断するのに役立ちます。この表を使っても問題を解決できない場合は、122ページの『判別されない問題』に進みます。

注:

- エラー・メッセージと間違った音声応答の両方が得られた場合は、エラー・メッセージを最初に診断してください。
- 診断テストを実行できないか、テストの実行時に診断エラー・コードが表示されるが、POST エラー・メッセージを受け取っていた場合は、POST エラー・メッセージを最初に診断してください。
- エラー・メッセージを受け取らなかった場合は、この表の最初の部分でエラー症状の説明を探してください。
- ハード・ディスクを交換する前には、ハード・ディスクのジャンパー設定をチェックしてください。

ハード・ディスク・ブート・エラー

ハード・ディスク・ブート・エラー (エラー・コード 1962 および I999030X) には、次の原因が考えられます。

エラー	FRU/ 処置
始動ドライブが、構成でブート・シーケンスに含まれていない。	構成をチェックし、始動ドライブがブート・シーケンスに含まれているか確認します。
ブート・ドライブにオペレーティング・システムがインストールされていない。	ブート・ドライブにオペレーティング・システムをインストールします。
始動ドライブのブート・セクターが破壊された。	ドライブをフォーマットする必要があります。次を行います。 - 故障したハード・ディスクにアクセスして回復 (バックアップ) を試行します。 - オペレーティング・システム・プログラムを使用して、ハード・ディスクをフォーマットします。
ドライブに欠陥がある。	ハード・ディスクを交換します。

電源機構エラー

電源オン・インディケータがオンになっていない場合や電源機構のファンが作動していない場合、またはコンピューターの電源がオフにならない場合は、次の手順に従います。

チェック / 確認	FRU/ 処置
次の取り付けが正しく行われているかチェックします。 - 電源コード - オン / オフ・スイッチ・コネクタ - オン / オフ・スイッチ電源機構コネクタ - システム・ボード電源機構コネクタ - マイクロプロセッサ接続	再取り付けします。
電源スイッチの動作をチェックします。	電源コード
電源スイッチの動作をチェックします。	電源スイッチ

診断エラー・コード

診断テストを使用する場合は、次の診断エラー・コードを参照してください。診断プログラムについては、15 ページの『診断』で特定のタイプを参照してください。

次の表では、X は任意の数値を表します。

診断エラー・コード	FRU/ 処置
000-000-XXX BIOS テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
000-002-XXX BIOS タイムアウト	1. システムをフラッシュします。 2. システム・ボード
000-024-XXX BIOS アドレッシング・テストの失敗	1. システムをフラッシュします。 2. システム・ボード
000-025-XXX BIOS チェックサム値エラー	1. システムをフラッシュします。 2. ブート・ブロック 3. システム・ボード
000-026-XXX FLASH データ・エラー	1. システムをフラッシュします。 2. ブート・ブロック 3. システム・ボード
000-027-XXX BIOS 構成 / セットアップ・エラー	1. セットアップを実行します。 2. システムをフラッシュします。 3. ブート・ブロック 4. システム・ボード
000-034-XXX BIOS バッファ割振り障害	1. システムをリブートします。 2. システムをフラッシュします。 3. メモリー・テストを実行します。 4. システム・ボード
000-035-XXX BIOS リセット状態検出	1. システムをフラッシュします。 2. システム・ボード
000-036-XXX BIOS レジスター・エラー	1. システムをフラッシュします。 2. ブート・ブロック 3. システム・ボード
000-038-XXX BIOS 拡張障害	1. システムをフラッシュします。 2. アダプター・カード 3. システム・ボード
000-039-XXX BIOS DMI データ・エラー	1. システムをフラッシュします。 2. システム・ボード
000-195-XXX ユーザーによる BIOS テストの打ち切り	1. 情報 2. 必要に応じてテストを再始動します。

診断エラー・コード	FRU/ 処置
000-196-XXX BIOS テスト休止。エラーしきい値超過。	1. F3 を押して、ログ・ファイルを検討します。 2. テストを再始動して、ログ・ファイルをリセットします。
000-197-XXX BIOS テスト警告	1. 呼び出されているコンポーネントが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. テストを再実行します。 3. 警告文で呼び出されるコンポーネント 4. テスト中のコンポーネント
000-198-XXX BIOS テスト打ち切り	1. コンポーネントが呼び出された場合、それが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 『判別されない問題』の個所に進みます。
000-199-XXX BIOS テストの失敗。原因不明	1. 『判別されない問題』の個所に進みます。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 機能テスト中のコンポーネントを交換します。
000-250-XXX BIOS APM 障害	1. システムをフラッシュします。 2. システム・ボード
000-270-XXX BIOS ACPI 障害	1. システムをフラッシュします。 2. システム・ボード
001-000-XXX システム・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
001-00X-XXX システム・エラー	1. システム・ボード
001-01X-XXX システム・エラー	1. システム・ボード
001-024-XXX システム・アドレッシング・テストの失敗	1. システム・ボード
001-025-XXX システム・チェックサム値エラー	1. システムをフラッシュします。 2. システム・ボード
001-026-XXX システム FLASH データ・エラー	1. システムをフラッシュします。 2. システム・ボード
001-027-XXX システム構成 / セットアップ・エラー	1. セットアップを実行します。 2. システムをフラッシュします。 3. システム・ボード

診断エラー・コード	FRU/ 処置
001-032-XXX システム・デバイス・コントローラー障害	1. システム・ボード
001-034-XXX システム装置バッファ割り振り障害	1. システムをリブートします。 2. システムをフラッシュします。 3. メモリー・テストを実行します。 4. システム・ボード
001-035-XXX システム・デバイス・リセット状態検出	1. システム・ボード
001-036-XXX システム・レジスター・エラー	1. システム・ボード
001-038-XXX システム拡張障害	1. アダプター・カード 2. システム・ボード
001-039-XXX システム DMI データ構造エラー	1. システムをフラッシュします。 2. システム・ボード
001-040-XXX システム IRQ 障害	1. システムの電源をオフ / オンにし、再テストします。 2. システム・ボード
001-041-XXX システム DMA 障害	1. システムの電源をオフ / オンにし、再テストします。 2. システム・ボード
001-195-XXX ユーザーによるシステム・テストの打ち切り	1. 情報 2. 必要に応じてテストを再始動します。
001-196-XXX システム・テスト休止。エラーしきい値超過。	1. F3 を押して、ログ・ファイルを検討します。 2. テストを再始動して、ログ・ファイルをリセットします。
001-197-XXX システム・テスト警告	1. 呼び出されているコンポーネントが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. テストを再実行します。 3. 警告文で呼び出されるコンポーネント 4. テスト中のコンポーネント
001-198-XXX システム・テスト打ち切り	1. コンポーネントが呼び出された場合、それが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 『判別されない問題』の個所に進みます。

診断エラー・コード	FRU/ 処置
001-199-XXX システム・テストの失敗。原因不明	1. 『判別されない問題』の個所に進みます。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 機能テスト中のコンポーネントを交換します。
001-250-XXX システム ECC エラー	1. システム・ボード
001-254-XXX 001-255-XXX 001-256-XXX 001-257-XXX システム DMA エラー	1. システム・ボード
001-260-XXX 001-264-XXX システム IRQ エラー	1. システム・ボード
001-268-XXX システム IRQ1 障害	1. IRQ1 のデバイス 2. システム・ボード
001-269-XXX システム IRQ2 障害	1. IRQ2 のデバイス 2. システム・ボード
001-270-XXX システム IRQ3 障害	1. IRQ3 のデバイス 2. システム・ボード
001-271-XXX システム IRQ4 障害	1. IRQ4 のデバイス 2. システム・ボード
001-272-XXX システム IRQ5 障害	1. IRQ5 のデバイス 2. システム・ボード
001-273-XXX システム IRQ6 (ディスク・ドライブ) 障害	1. ディスケット・ケーブル 2. ディスケット・ドライブ 3. システム・ボード
001-274-XXX システム IRQ7 障害	1. IRQ7 のデバイス 2. システム・ボード
001-275-XXX システム IRQ8 障害	1. IRQ8 のデバイス 2. システム・ボード
001-276-XXX システム IRQ9 障害	1. IRQ9 のデバイス 2. システム・ボード
001-277-XXX システム IRQ10 障害	1. IRQ10 のデバイス 2. システム・ボード
001-278-XXX システム IRQ11 障害	1. IRQ11 のデバイス 2. システム・ボード

診断エラー・コード	FRU/ 処置
001-279-XXX システム IRQ12 障害	1. IRQ12 のデバイス 2. システム・ボード
001-280-XXX システム IRQ13 障害	1. IRQ13 のデバイス 2. システム・ボード
001-281-XXX システム IRQ14 (ハード・ディスク・ドライブ) 障害	1. ハード・ディスク・ドライブ・ケーブル 2. ハード・ディスク・ドライブ 3. システム・ボード
001-282-XXX システム IRQ15 障害	1. IRQ15 のデバイス 2. システム・ボード
001-286-XXX 001-287-XXX 001-288-XXX システム・タイマー障害	1. システム・ボード
001-292-XXX システム CMOS RAM エラー	1. セットアップの実行と再テストをします。 2. システム・ボード
001-293-XXX システム CMOS バッテリー	1. バッテリー 2. システム・ボード
001-298-XXX システム RTC 日付 / 時刻更新障害	1. システムをフラッシュします。 2. システム・ボード
001-299-XXX システム RTC 周期的割り込み障害	1. システム・ボード
001-300-XXX システム RTC アラーム障害	1. システム・ボード
001-301-XXX システム RTC 世紀バイト・エラー	1. システムをフラッシュします。 2. システム・ボード
005-000-XXX ビデオ・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
005-00X-XXX ビデオ・エラー	1. ビデオ・カード (取り付けられている場合) 2. システム・ボード
005-010-XXX 005-011-XXX 005-012-XXX 005-013-XXX ビデオ信号障害	1. ビデオ・カード (取り付けられている場合) 2. システム・ボード
005-016-XXX ビデオ単純パターン・ テストの失敗	1. ビデオ RAM 2. ビデオ・カード (取り付けられている場合) 3. システム・ボード

診断エラー・コード	FRU/ 処置
005-024-XXX ビデオ・アドレッシング・テストの失敗	1. ビデオ・カード (取り付けられている場合) 2. システム・ボード
005-025-XXX ビデオ・チェックサム値エラー	1. ビデオ・カード (取り付けられている場合) 2. システム・ボード
005-027-XXX ビデオ構成 / セットアップ・エラー	1. セットアップを実行します。 2. ビデオ・ドライバー更新 3. ビデオ・カード (取り付けられている場合) 4. システム・ボード
005-031-XXX ビデオ・デバイス・ケーブル障害	1. ビデオ・ケーブル 2. モニター 3. ビデオ・カード (取り付けられている場合) 4. システム・ボード
005-032-XXX ビデオ・デバイス・コントローラー障害	1. ビデオ・カード (取り付けられている場合) 2. システム・ボード
005-036-XXX ビデオ・レジスター・エラー	1. ビデオ・カード (取り付けられている場合) 2. システム・ボード
005-038-XXX システム BIOS 拡張障害	1. ビデオ・カード (取り付けられている場合) 2. システム・ボード
005-040-XXX ビデオ IRQ 障害	1. ビデオ・カード (取り付けられている場合) 2. システム・ボード
005-195-XXX ユーザーによるビデオ・テストの打ち切り	1. 情報 2. 必要に応じてテストを再始動します。
005-196-XXX ビデオ・テスト休止。エラーしきい値超過。	1. F3 を押して、ログ・ファイルを検討します。 2. テストを再始動して、ログ・ファイルをリセットします。
005-197-XXX ビデオ・テスト警告	1. 呼び出されているコンポーネントが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. テストを再実行します。 3. 警告文で呼び出されるコンポーネント 4. テスト中のコンポーネント

診断エラー・コード	FRU/ 処置
005-198-XXX ビデオ・テスト打ち切り	1. コンポーネントが呼び出された場合、それが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 『判別されない問題』の個所に進みます。
005-199-XXX ビデオ・テストの失敗。原因不明	1. 『判別されない問題』の個所に進みます。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 機能テスト中のコンポーネントを交換します。
005-2XX-XXX 005-3XX-XXX ビデオ・サブシステム・エラー	1. ビデオ・カード (取り付けられている場合) 2. システム・ボード
006-000-XXX ディスク・インターフェース・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
006-0XX-XXX ディスク・インターフェース・エラー	1. ディスク・ドライブ・ケーブル 2. ディスク・ドライブ 3. システム・ボード
006-195-XXX ユーザーによるディスク・インターフェース・テストの打ち切り	1. 情報 2. 必要に応じてテストを再始動します。
006-196-XXX ディスク・インターフェース・テスト休止。エラーしきい値超過。	1. F3 を押して、ログ・ファイルを検討します。 2. テストを再始動して、ログ・ファイルをリセットします。
006-197-XXX ディスク・インターフェース・テスト警告	1. コンポーネントが呼び出された場合、それが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. テストを再実行します。 3. 警告文で呼び出されるコンポーネント 4. テスト中のコンポーネント
006-198-XXX ディスク・インターフェース・テスト打ち切り	1. コンポーネントが呼び出された場合、それが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 『判別されない問題』の個所に進みます。

診断エラー・コード	FRU/ 処置
006-199-XXX ディスケット・インターフェース・テストの失敗。原因不明	1. 『判別されない問題』の個所に進みます。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 機能テスト中のコンポーネントを交換します。
006-25X-XXX ディスケット・インターフェース・エラー	1. ディスケット・ドライブ・ケーブル 2. ディスケット・ドライブ 3. システム・ボード
011-000-XXX シリアル・ポート・インターフェース・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
011-001-XXX シリアル・ポートあり	1. 外部シリアル・デバイスがある場合は、取り外します。 2. セットアップを実行し、ポートを使用可能にします。 3. システム・ボード
011-002-XXX 011-003-XXX シリアル・ポート・タイムアウト / パリティエラー・エラー	1. システム・ボード
011-013-XXX 011-014-XXX シリアル・ポート制御信号 / ループバック・テスト障害	1. システム・ボード
011-015-XXX シリアル・ポート外部ループバック障害	1. 折り返しプラグ 2. システム・ボード
011-027-XXX シリアル・ポート構成 / セットアップ・エラー	1. セットアップを実行し、ポートを使用可能にします。 2. システムをフラッシュします。 3. システム・ボード
011-03X-XXX 011-04X-XXX シリアル・ポート障害	1. システム・ボード
011-195-XXX ユーザーによるシリアル・ポート・テストの打ち切り	1. 情報 2. 必要に応じてテストを再始動します。
011-196-XXX シリアル・ポート・テスト休止。エラーしきい値超過。	1. F3 を押して、ログ・ファイルを検討します。 2. テストを再始動して、ログ・ファイルをリセットします。

診断エラー・コード	FRU/ 処置
011-197-XXX シリアル・ポート・テスト警告	1. 呼び出されているコンポーネントが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. テストを再実行します。 3. 警告文で呼び出されるコンポーネント 4. テスト中のコンポーネント
011-198-XXX シリアル・ポート・テスト打ち切り	1. コンポーネントが呼び出された場合、それが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 『判別されない問題』の個所に進みます。
011-199-XXX シリアル・ポート・テストの失敗。原因不明	1. 『判別されない問題』の個所に進みます。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 機能テスト中のコンポーネントを交換します。
011-2XX-XXX シリアル・ポート信号障害	1. 外部シリアル・デバイス 2. システム・ボード
014-000-XXX パラレル・ポート・インターフェース・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
014-001-XXX パラレル・ポートあり	1. 外部パラレル・デバイスがある場合は、取り外します。 2. セットアップを実行し、ポートを使用可能にします。 3. システム・ボード
014-002-XXX 014-003-XXX パラレル・ポート・タイムアウト / パリティエラー	1. システム・ボード
014-013-XXX 014-014-XXX パラレル・ポート制御信号 / ループバック・テスト障害	1. システム・ボード
014-015-XXX パラレル・ポート外部ループバック障害	1. 折り返しプラグ 2. システム・ボード
014-027-XXX パラレル・ポート構成 / セットアップ・エラー	1. セットアップを実行し、ポートを使用可能にします。 2. システムをフラッシュします。 3. システム・ボード

診断エラー・コード	FRU/ 処置
014-03X-XXX 014-04X-XXX パラレル・ポート障害	1. システム・ボード
014-195-XXX ユーザーによるパラレル・ポート・テストの打ち切り	1. 情報 2. 必要に応じてテストを再始動します。
014-196-XXX パラレル・ポート・テスト休止。エラーしきい値超過。	1. F3 を押して、ログ・ファイルを検討します。 2. テストを再始動して、ログ・ファイルをリセットします。
014-197-XXX パラレル・ポート・テスト警告	1. 呼び出されているコンポーネントが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. テストを再実行します。 3. 警告文で呼び出されるコンポーネント 4. テスト中のコンポーネント
014-198-XXX パラレル・ポート・テスト打ち切り	1. コンポーネントが呼び出された場合、それが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 『判別されない問題』の個所に進みます。
014-199-XXX パラレル・ポート・テストの失敗。原因不明	1. 『判別されない問題』の個所に進みます。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 機能テスト中のコンポーネントを交換します。
014-2XX-XXX 014-3XX-XXX パラレル・ポート障害	1. 外部パラレル・デバイス 2. システム・ボード
015-000-XXX USB ポート・インターフェース・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
015-001-XXX USB ポートあり	1. USB デバイス (複数の場合もあります) を取り外し、再テストします。 2. システム・ボード
015-002-XXX USB ポート・タイムアウト	1. USB デバイス (複数の場合もあります) を取り外し、再テストします。 2. システム・ボード

診断エラー・コード	FRU/ 処置
015-015-XXX USB ポート外部ループバック障害	1. USB デバイス (複数の場合もあります) を取り外し、再テストします。 2. システム・ボード
015-027-XXX USB ポート構成 / セットアップ・エラー	1. システムをフラッシュします。 2. システム・ボード
015-032-XXX USB ポート・デバイス・コントローラー障害	1. システム・ボード
015-034-XXX USB ポート・バッファ 割り振り失敗	1. システムをリブートします。 2. システムをフラッシュします。 3. メモリー・テストを実行します。 4. システム・ボード
015-035-XXX USB ポート・リセット状態検出	1. USB デバイス (複数の場合もあります) を取り外し、再テストします。 2. システム・ボード
015-036-XXX USB ポート・レジスター・エラー	1. システム・ボード
015-040-XXX USB ポート IRQ 障害	1. セットアップを実行し、競合をチェックします。 2. システムをフラッシュします。 3. システム・ボード
015-195-XXX ユーザーによる USB ポート・テストの打ち切り	1. 情報 2. 必要に応じてテストを再始動します。
015-196-XXX USB ポート・テスト休止。エラーしきい値超過。	1. F3 を押して、ログ・ファイルを検討します。 2. テストを再始動して、ログ・ファイルのリセットします。
015-197-XXX USB ポート・テスト警告	1. 呼び出されているコンポーネントが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. テストを再実行します。 3. 警告文で呼び出されるコンポーネント 4. テスト中のコンポーネント
015-198-XXX USB ポート・テスト打ち切り	1. コンポーネントが呼び出された場合、それが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 『判別されない問題』の個所に進みます。

診断エラー・コード	FRU/ 処置
015-199-XXX USB ポート・テストの失敗。原因不明	1. 『判別されない問題』の個所に進みます。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 機能テスト中のコンポーネントを交換します。
018-000-XXX PCI カード・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
018-0XX-XXX PCI カード障害	1. ライザー・カード (取り付けられている場合) 2. システム・ボード
018-195-XXX ユーザーによる PCI カード・テストの打ち切り	1. PCI カード 2. 情報 3. 必要に応じてテストを再始動します。
018-196-XXX PCI カード・テスト休止。エラーしきい値超過。	1. F3 を押して、ログ・ファイルを検討します。 2. テストを再始動して、ログ・ファイルをリセットします。
018-197-XXX PCI カード・テスト警告	1. 呼び出されているコンポーネントが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. テストを再実行します。 3. 警告文で呼び出されるコンポーネント 4. テスト中のコンポーネント
018-198-XXX PCI カード・テスト打ち切り	1. 呼び出されているコンポーネントが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 『判別されない問題』の個所に進みます。
018-199-XXX PCI カード・テストの失敗。原因不明	1. 『判別されない問題』の個所に進みます。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 機能テスト中のコンポーネントを交換します。
018-250-XXX PCI カード・サービス・エラー	1. PCI カード 2. ライザー・カード (取り付けられている場合) 3. システム・ボード

診断エラー・コード	FRU/ 処置
020-000-XXX PCI インターフェース・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
020-0XX-XXX PCI インターフェース・エラー	1. PCI カード 2. ライザー・カード (取り付けられている場合) 3. システム・ボード
020-195-XXX ユーザーによる PCI テストの打ち切り	1. 情報 2. 必要に応じてテストを再始動します。
020-196-XXX PCI テスト休止。エラーしきい値超過。	1. F3 を押して、ログ・ファイルを検討します。 2. テストを再始動して、ログ・ファイルをリセットします。
020-197-XXX PCI テスト警告	1. 呼び出されているコンポーネントが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. テストを再実行します。 3. 警告文で呼び出されるコンポーネント 4. テスト中のコンポーネント
020-198-XXX PCI テスト打ち切り	1. コンポーネントが呼び出された場合、それが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 『判別されない問題』の個所に進みます。
020-199-XXX PCI テストの失敗。原因不明	1. 『判別されない問題』の個所に進みます。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 機能テスト中のコンポーネントを交換します。
020-262-XXX PCI システム・エラー	1. PCI カード 2. ライザー・カード (取り付けられている場合) 3. システム・ボード
025-000-XXX IDE インターフェース・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
025-00X-XXX 025-01X-XXX IDE インターフェース障害	1. IDE 信号ケーブル 2. 電源機構をチェックします。 3. IDE デバイス 4. システム・ボード

診断エラー・コード	FRU/ 処置
025-027-XXX IDE インターフェース構成 / セットアップ・エラー	1. IDE 信号ケーブル 2. システムをフラッシュします。 3. IDE デバイス 4. システム・ボード
025-02X-XXX 025-03X-XXX 025-04X-XXX IDE インターフェース障害	1. IDE 信号ケーブル 2. 電源機構をチェックします。 3. IDE デバイス 4. システム・ボード
025-195-XXX ユーザーによる IDE インターフェース・テストの打ち切り	1. 情報 2. 必要に応じてテストを再始動します。
025-196-XXX IDE インターフェース・テスト休止。エラーしきい値超過。	1. F3 を押して、ログ・ファイルを検討します。 2. テストを再始動して、ログ・ファイルをリセットします。
025-197-XXX IDE インターフェース・テスト警告	1. 呼び出されているコンポーネントが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. テストを再実行します。 3. 警告文で呼び出されるコンポーネント 4. テスト中のコンポーネント
025-198-XXX IDE インターフェース・テスト打ち切り	1. コンポーネントが呼び出された場合、それが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 『判別されない問題』の個所に進みます。
025-199-XXX IDE インターフェース・テストの失敗。原因不明	1. 『判別されない問題』の個所に進みます。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 機能テスト中のコンポーネントを交換します。
030-000-XXX SCSI インターフェース・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
030-00X-XXX 030-01X-XXX SCSI インターフェース障害	1. SCSI 信号ケーブル 2. 電源機構をチェックします。 3. SCSI デバイス 4. SCSI アダプター・カード (取り付けられている場合) 5. システム・ボード

診断エラー・コード	FRU/ 処置
030-027-XXX SCSI インターフェース構成 / セットアップ・エラー	1. SCSI 信号ケーブル 2. システムをフラッシュします。 3. SCSI デバイス 4. SCSI アダプター・カード (取り付けられている場合) 5. システム・ボード
030-03X-XXX 030-04X-XXX SCSI インターフェース・エラー	1. SCSI 信号ケーブル 2. 電源機構をチェックします。 3. SCSI デバイス 4. SCSI アダプター・カード (取り付けられている場合) 5. 取り付けられているシステム・ボード
030-195-XXX ユーザーによる SCSI インターフェース・テストの打ち切り	1. 情報 2. 必要に応じてテストを再始動します。
030-196-XXX SCSI インターフェース・テスト休止。エラーしきい値超過。	1. F3 を押して、ログ・ファイルを検討します。 2. テストを再始動して、ログ・ファイルをリセットします。
030-197-XXX SCSI インターフェース・テスト警告	1. 呼び出されているコンポーネントが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. テストを再実行します。 3. 警告文で呼び出されるコンポーネント 4. テスト中のコンポーネント
030-198-XXX SCSI インターフェース・テスト打ち切り	1. コンポーネントが呼び出された場合、それが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 『判別されない問題』の個所に進みます。
030-199-XXX SCSI インターフェース・テストの失敗。原因不明	1. 『判別されない問題』の個所に進みます。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 機能テスト中のコンポーネントを交換します。
035-000-XXX RAID インターフェース・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。

診断エラー・コード	FRU/ 処置
035-0XX-XXX RAID インターフェース障害	1. RAID 信号ケーブル 2. RAID デバイス 3. RAID アダプター・カード (取り付けられている場合) 4. システム・ボード
035-195-XXX ユーザーによる RAID インターフェース・テストの打ち切り	1. 情報 2. 必要に応じてテストを再始動します。
035-196-XXX RAID インターフェース・テスト休止。エラーしきい値超過。	1. F3 を押して、ログ・ファイルを検討します。 2. テストを再始動して、ログ・ファイルをリセットします。
035-197-XXX RAID インターフェース・テスト警告	1. 呼び出されているコンポーネントが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. テストを再実行します。 3. 警告文で呼び出されるコンポーネント 4. テスト中のコンポーネント
035-198-XXX RAID インターフェース・テスト打ち切り	1. コンポーネントが呼び出された場合、それが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 『判別されない問題』の個所に進みます。
035-199-XXX RAID インターフェース・テストの失敗。原因不明	1. 『判別されない問題』の個所に進みます。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 機能テスト中のコンポーネントを交換します。
071-000-XXX オーディオ・ポート・インターフェース・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
071-00X-XXX 071-01X-XXX 071-02X-XXX オーディオ・ポート・エラー	1. セットアップを実行します。 2. システムをフラッシュします。 3. システム・ボード
071-03X-XXX オーディオ・ポート障害	1. スピーカー 2. マイクロホン 3. オーディオ・カード (取り付けられている場合) 4. システム・ボード

診断エラー・コード	FRU/ 処置
071-04X-XXX オーディオ・ポート障害	1. セットアップを実行します。 2. オーディオ・カード (取り付けられている場合) 3. システム・ボード
071-195-XXX ユーザーによるオーディオ・ポート・テストの打ち切り	1. 情報 2. 必要に応じてテストを再始動します。
071-196-XXX オーディオ・ポート・テスト休止。エラーしきい値超過。	1. F3 を押して、ログ・ファイルを検討します。 2. テストを再始動して、ログ・ファイルをリセットします。
071-197-XXX オーディオ・ポート・テスト警告	1. 呼び出されているコンポーネントが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. テストを再実行します。 3. 警告文で呼び出されるコンポーネント 4. テスト中のコンポーネント
071-198-XXX オーディオ・ポート・テスト打ち切り	1. コンポーネントが呼び出された場合、それが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 『判別されない問題』の個所に進みます。
071-199-XXX オーディオ・ポート・テストの失敗。原因不明	1. 『判別されない問題』の個所に進みます。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 機能テスト中のコンポーネントを交換します。
071-25X-XXX オーディオ・ポート障害	1. スピーカー 2. オーディオ・カード (取り付けられている場合) 3. システム・ボード
080-000-XXX ゲーム・ポート・インターフェース・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
080-XXX-XXX ゲーム・ポート・インターフェース・エラー	1. ゲーム・ポート・デバイスを取り外し、システムを再テストします。
080-195-XXX ユーザーによるゲーム・ポート・インターフェース・テストの打ち切り	1. 情報 2. 必要に応じてテストを再始動します。

診断エラー・コード	FRU/ 処置
080-196-XXX ゲーム・ポート・インターフェース・テスト 休止。エラーしきい値超過。	1. F3 を押して、ログ・ファイルを検討します。 2. テストを再始動して、ログ・ファイルをリセットします。
080-197-XXX ゲーム・ポート・インターフェース・テスト 警告	1. 呼び出されているコンポーネントが接続 または使用可能にされているか (あるいは その両方か) 確認します。 2. テストを再実行します。 3. 警告文で呼び出されるコンポーネント 4. テスト中のコンポーネント
080-198-XXX ゲーム・ポート・インターフェース・テスト 打ち切り	1. コンポーネントが呼び出された場合、そ れが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. システムをフラッシュし、再テストしま す。 3. 『判別されない問題』の個所に進みま す。
080-199-XXX ゲーム・ポート・インターフェース・テスト の失敗。原因不明	1. 『判別されない問題』の個所に進みま す。 2. システムをフラッシュし、再テストしま す。 3. 機能テスト中のコンポーネントを交換し ます。
086-000-XXX マウス・ポート・インターフェース・テスト 正常終了	1. 処置は必要ありません。
086-001-XXX マウス・ポート・インターフェースあり	1. マウス 2. システム・ボード
086-032-XXX マウス・ポート・インターフェース・デバイ ス・コントローラー障害	1. マウス 2. システム・ボード
086-035-XXX マウス・ポート・インターフェース・リセッ ト	1. マウス 2. システム・ボード
086-040-XXX マウス・ポート・インターフェース IRQ 障 害	1. セットアップを実行します。 2. マウス 3. システム・ボード
086-195-XXX ユーザーによるマウス・ポート・インターフ ェース・テストの打ち切り	1. 情報 2. 必要に応じてテストを再始動します。

診断エラー・コード	FRU/ 処置
086-196-XXX マウス・ポート・インターフェース・テスト 休止。エラーしきい値超過。	1. F3 を押して、ログ・ファイルを検討します。 2. テストを再始動して、ログ・ファイルのリセットします。
086-197-XXX マウス・ポート・インターフェース・テスト 警告	1. 呼び出されているコンポーネントが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. テストを再実行します。 3. 警告文で呼び出されるコンポーネント 4. テスト中のコンポーネント
086-198-XXX マウス・ポート・インターフェース・テスト 打ち切り	1. コンポーネントが呼び出された場合、それが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 『判別されない問題』の個所に進みます。
086-199-XXX マウス・ポート・インターフェース・テスト の失敗。原因不明	1. 『判別されない問題』の個所に進みます。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 機能テスト中のコンポーネントを交換します。
089-000-XXX マイクロプロセッサ・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
089-XXX-XXX マイクロプロセッサ障害	1. マイクロプロセッサ 2. システム・ボード
089-195-XXX ユーザーによるマイクロプロセッサ・テストの打ち切り	1. 情報 2. 必要に応じてテストを再始動します。
089-196-XXX マイクロプロセッサ・テスト休止。エラーしきい値超過。	1. F3 を押して、ログ・ファイルを検討します。 2. テストを再始動して、ログ・ファイルのリセットします。
089-197-XXX マイクロプロセッサ・テスト警告	1. 呼び出されているコンポーネントが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. テストを再実行します。 3. 警告文で呼び出されるコンポーネント 4. テスト中のコンポーネント

診断エラー・コード	FRU/ 処置
089-198-XXX マイクロプロセッサ・テスト打ち切り	1. システムをフラッシュし、再テストします。 2. 『判別されない問題』の個所に進みます。
089-199-XXX マイクロプロセッサ・テストの失敗。原因不明	1. コンポーネントが呼び出された場合、それが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. 『判別されない問題』の個所に進みます。 3. システムをフラッシュし、再テストします。 4. 機能テスト中のコンポーネントを交換します。
170-000-XXX 電圧センサー・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
170-0XX-XXX 電圧センサー障害	1. システムをフラッシュします。 2. システム・ボード
170-195-XXX ユーザーによる電圧センサー・テストの打ち切り	1. 情報 2. 必要に応じてテストを再始動します。
170-196-XXX 電圧センサー・テスト休止。エラーしきい値超過。	1. F3 を押して、ログ・ファイルを検討します。 2. テストを再始動して、ログ・ファイルをリセットします。
170-197-XXX 電圧センサー・テスト警告	1. 呼び出されているコンポーネントが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. テストを再実行します。 3. 警告文で呼び出されるコンポーネント 4. テスト中のコンポーネント
170-198-XXX 電圧センサー・テスト打ち切り	1. コンポーネントが呼び出された場合、それが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 『判別されない問題』の個所に進みます。
170-199-XXX 電圧センサー・テストの失敗。原因不明。	1. 『判別されない問題』の個所に進みます。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 機能テスト中のコンポーネントを交換します。

診断エラー・コード	FRU/ 処置
170-250-XXX 170-251-XXX 電圧センサー電圧限界エラー	1. 電源機構 2. システム・ボード
170-254-XXX 電圧センサー電圧調節器モジュール・エラー	1. 電圧調節器モジュール (VRM) 2. マイクロプロセッサ 3. システム・ボード
175-000-XXX 熱センサー・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
175-0XX-XXX 熱センサー・テスト障害	1. システムをフラッシュします。 2. システム・ボード
175-195-XXX ユーザーによる熱センサー・テストの打ち切り	1. 情報 2. 必要に応じてテストを再始動します。
175-196-XXX 熱センサー・テスト休止。エラーしきい値超過。	1. F3 を押して、ログ・ファイルを検討します。 2. テストを再始動して、ログ・ファイルをリセットします。
175-197-XXX 熱センサー・テスト警告	1. 呼び出されているコンポーネントが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. テストを再実行します。 3. 警告文で呼び出されるコンポーネント 4. テスト中のコンポーネント
175-198-XXX 熱センサー・テスト打ち切り	1. コンポーネントが呼び出された場合、それが接続または使用可能にされているか (あるいはその両方か) 確認します。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 『判別されない問題』の個所に進みます。
175-199-XXX 熱センサー・テストの失敗。原因不明。	1. 『判別されない問題』の個所に進みます。 2. システムをフラッシュし、再テストします。 3. 機能テスト中のコンポーネントを交換します。
175-250-XXX 175-251-XXX 熱センサー限界エラー	1. ファンをチェックします。 2. 電源機構をチェックします。 3. マイクロプロセッサ 4. システム・ボード
185-000-XXX 資産セキュリティ・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。

診断エラー・コード	FRU/ 処置
185-XXX-XXX 資産セキュリティ障害	1. システムをフラッシュします。 2. システム・ボード
185-278-XXX 資産セキュリティ・シャシー侵入	1. 資産セキュリティが使用可能か確認します。 2. C2 カバー・スイッチ 3. システム・ボード
201-000-XXX システム・メモリー・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
201-XXX-XXX システム・メモリー・エラー	1. テストにより特定されたメモリー・モジュールを交換します。 2. システム・ボード
202-000-XXX システム・キャッシュ・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
202-XXX-XXX システム・キャッシュ・エラー	1. キャッシュ (取り外し可能な場合) 2. システム・ボード 3. マイクロプロセッサ
206-000-XXX ディスク・ドライブ・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
206-XXX-XXX ディスク・ドライブ・エラー	1. ディスク・ドライブ・ケーブル 2. 電源機構の電圧をチェックします。 3. ディスク・ドライブ 4. システム・ボード
215-000-XXX CD-ROM ドライブ・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
215-XXX-XXX CD-ROM ドライブ・エラー	1. CD-ROM ドライブ・ケーブル 2. 電源機構の電圧をチェックします。 3. CD-ROM ドライブ 4. システム・ボード
217-000-XXX ハード・ディスク・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
217-25X-XXX 217-26X-XXX ハード・ディスク (IDE) エラー	1. ハード・ディスク・ケーブル 2. 電源機構の電圧をチェックします。 3. ハード・ディスク (IDE) 4. システム・ボード
217-28X-XXX 217-29X-XXX ハード・ディスク (SCSI) エラー	1. ハード・ディスク・ケーブル 2. 電源機構の電圧をチェックします。 3. ハード・ディスク (SCSI) 4. SCSI アダプター・カード 5. システム・ボード

診断エラー・コード	FRU/ 処置
220-000-XXX 大容量カートリッジ・ドライブ・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
220-XXX-XXX 大容量カートリッジ・ドライブ・エラー	1. 大容量カートリッジ・ドライブを取り外し、システムを再テストします。
301-XXX-XXX キーボード・エラー	1. キーボード 2. マウスをチェックし、テストします。 3. システム・ボード
301-000-XXX キーボード・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
302-000-XXX マウス・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
302-XXX-XXX マウス・エラー	1. マウス 2. キーボードをチェックし、テストします。 3. システム・ボード
303-000-XXX ジョイスティック・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
303-XXX-XXX ジョイスティック・エラー	1. ジョイスティックを取り外し、システムを再テストします。
305-000-XXX モニター DDC テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
305-250-XXX モニター DDC 自己試験障害	1. セットアップを実行し、 DDC を使用可能にします。 2. ケーブル 3. モニター 4. ビデオ・カード 5. システム・ボード
415-000-XXX モデム・テスト正常終了	1. 処置は必要ありません。
415-XXX-XXX モデム・エラー	1. モデムを取り外し、システムを再テストします。

ビープ音の症状

ビープ音の症状は、休止期間（音のしない間隔）が間に入る短いトーンまたは一連の短いトーンです。次の例を参照してください。

ビープ音	説明
1-2-X	• ビープ音 1 回 • 休止（または中断） • ビープ音 2 回 • 休止（または中断） • 任意の回数のビープ音
4	連続ビープ音 4 回

次の表を参照して、ビープ音の症状を診断してください。

ビープ音の症状	FRU/ 処置
1-1-3 CMOS 読み書きエラー	1. セットアップを実行します。 2. システム・ボード
1-2-2-3 ROM BIOS チェック・エラー	1. システム・ボード
1-2-1 プログラマブル・インターバル・タイマー障害	1. システム・ボード
1-2-2 DMA 初期化失敗	1. システム・ボード
1-2-3 DMA ページ・レジスター読み書き失敗	1. システム・ボード
1-2-4 RAM リフレッシュ検査失敗	1. DIMM 2. システム・ボード
1-3-3-1 1 次 64K RAM のテスト失敗	1. DIMM 2. システム・ボード
1-3-2 1 次 64K RAM のパリティ・テスト失敗	1. DIMM 2. プロセッサ 3. システム・ボード
2-2-3-1 割り込みベクトル・ロード・テスト失敗	1. システム・ボード
2-1-1 2 次 DMA レジスター障害	1. システム・ボード
2-1-2 1 次 DMA レジスター障害	1. システム・ボード
2-1-3 1 次割り込みマスク・レジスター障害	1. システム・ボード
2-1-4 2 次割り込みマスク・レジスター障害	1. システム・ボード
2-2-1 割り込みベクトル・ロード失敗	1. システム・ボード

ビープ音の症状	FRU/ 処置
1-3-1-3 キーボード・コントローラー障害	1. システム・ボード 2. キーボード
2-2-3 CMOS 電源障害およびチェックサム検査失敗	1. バッテリー 2. システム・ボード
2-2-4 CMOS 構成情報妥当性検査失敗	1. バッテリー 2. システム・ボード
2-3-1 画面初期化失敗	1. J28 のジャンパー 2. システム・ボード
2-3-2 画面メモリー障害	1. システム・ボード
2-3-3 画面再トレース失敗	1. システム・ボード
1-2 ビデオ ROM の検索失敗	1. システム・ボード
他のすべてのビープ・コード・シーケンス	1. システム・ボード
連続ビープ音	1. システム・ボード
短いビープ音の繰り返し	1. キーボードのキーが押されたままの状態です。 2. キーボード・ケーブル 3. システム・ボード

ビープ音が鳴らない症状

症状 / エラー	FRU/ 処置
POST 時にビープ音が鳴らないが、コンピューターが正しく作動している。	1. システム・ボード
POST 時にビープ音が鳴らない。	1. 122 ページの『判別されない問題』を参照してください。 2. システム・ボード 3. メモリー・モジュール 4. 任意のアダプターまたはデバイス 5. ライザー・カード 6. 電源コード 7. 電源機構

POST エラー・コード

システムの電源をオンにするたびに、システムおよび一部のオプションの動作をチェックする一連のテストが行われます。この一連のテストは、電源オン自己診断 (Power-On Self-Test)、または *POST* と呼ばれます。POST は、次の操作を行います。

- いくつかの基本的なシステム・ボード動作のチェック
- メモリー動作のチェック
- ビデオ動作の開始
- ディスケット・ドライブの動作の確認
- ハード・ディスクの動作の確認

POST が、問題を検出せずに終わる場合、ビープ音が 1 回鳴り、オペレーティング・システムまたはアプリケーション・プログラムの最初の画面が表示されます。

注:

Type 6847 コンピューターは、POST でエラーが検出されないときは、デフォルトによって静止状態 (ビープ音が鳴らず、メモリー・カウントとチェックポイント・コードが表示されない) で起動します。

POST が正常に行われるとビープ音が鳴ってメモリー・カウントとチェックポイント・コードが表示されるようにするには、次のようにします。

1. 装置構成ユーティリティ (Configuration/Setup Utility) で「**オプションの始動 (Start Options)**」を選択します (15ページの『装置構成ユーティリティ・プログラム』を参照)。
2. 「**電源オン自己診断 (Power-On Self-Test)**」を「**拡張 (Enhanced)**」に設定します。

POST が問題を検出する場合、画面にエラー・メッセージが表示されます。1 つの問題により、複数のエラー・メッセージが表示される場合があります。最初のエラー・メッセージの原因を修復すると、次回にシステムの電源をオンにしたときに、他のエラー・メッセージはおそらく画面に表示されません。

次の表では、*X* は任意の数値を表します。

POST エラー・コード	FRU/ 処置
000 SCSI Adapter not enabled	1. PCI 構成プログラム で アダプター・デバイス と バス・マスターのフィールド が使用可能になっているか確認します。コンピューターに付属の資料を参照してください。
02X	1. SCSI アダプター
08X Check SCSI terminator installation.	1. SCSI ケーブル 2. SCSI ターミネーター 3. SCSI デバイス 4. SCSI アダプター

POST エラー・コード	FRU/ 処置
101 System board interrupt failure	1. システム・ボード
102 System board timer error	1. システム・ボード
106	1. システム・ボード
110 System board memory parity error	1. メモリー・モジュール 2. システム・ボード
111 I/O channel parity error	1. アダプターを再取り付けします。 2. 任意のアダプター 3. ライザー・カード 4. システム・ボード
114 Adapter ROM error	1. アダプター・メモリー 2. システム・ボード 3. ライザー・カード
129 Internal cache test error	1. プロセッサー 2. L2 キャッシュ・メモリー 3. システム・ボード
135 Fan failure	1. ファン 2. システム・ボード
151 System board failure	1. システム・ボード
161 Bad CMOS battery	1. セットアップを実行します。 2. CMOS バックアップ・バッテリー (175ページの『安全上の注意』を参照) 3. システム・ボード
162 Configuration mismatch	1. セットアップを実行し、構成を確認します。 2. デバイスの追加、除去、場所変更が行われましたか? そうでない場合は、そのデバイスを疑ってみます。 3. まず外部デバイスの電源をオンにしてから、コンピューターの電源をオンにします。 4. CMOS バックアップ・バッテリー (175ページの『安全上の注意』を参照) システム・ボード 5. システム・ボード
163 Date and Time Incorrect	1. 時刻と日付のセット 2. CMOS バックアップ・バッテリー (175ページの『安全上の注意』を参照) 3. システム・ボード

POST エラー・コード	FRU/ 処置
164 Memory Size Error	1. セットアップを実行します。「 System Summary 」メニューをチェックして、メモリー・サイズの変更がないか調べます。(15ページの『装置構成ユーティリティー・プログラム』を参照。) 2. Extended Memory Diagnostic テストを実行します。
166 Boot Block Check Sum Error	1. ブート・ブロックを使用して、フラッシュ・リカバリーを実行します。 168 ページの『フラッシュ・リカバリー・ブート・ブロック・ジャンパー』を参照。 2. システム・ボード
167 No Processor BIOS Update Found	1. セットアップを実行します。ステッピング・レベルをチェックして、必要な BIOS レベルがあるか調べてから、フラッシュ更新を実行します。 2. プロセッサー
168 Alert on LAN error	1. セットアップを実行します。イーサネットおよび Alert on LAN が使用可能になっているかチェックします。 2. システム・ボード
17X, 18X	1. C2 セキュリティー
175 Primary Copy of Secure Data is damaged	1. 構成を実行します。15ページの『装置構成ユーティリティー・プログラム』を参照。 2. システム・ボード
176 The System has been tampered with	1. コンピューターからカバーが取り外されています。
177 Corrupted Administrator Password	1. システム・ボード
178	1. システム・ボード
179 Boot Integrity Services Segment Error	1. システム・ボード
183	1. 管理者パスワードを入力します
184 Asset Control Antenna not detected	1. Configuration/Setup で Asset Care および Asset ID が使用可能になっていることを確認します。 2. RFID アンテナ 3. システム・ボード
185 Corrupted boot sequence	1. 構成を設定し、ブート・シーケンスを再インストールします。
186 Security Hardware Control Logic Error	1. システム・ボード

POST エラー・コード	FRU/ 処置
187	1. 管理者パスワードをクリアします。 2. システム・ボード
189	1. コンピューターにアクセスするためにパスワード試行が 4 回以上行われました。
190 System Security: Invalid Remote Change Requested	1. システム・ボード
191 System Security: IBM Embedded Security Hardware Reset	1. システム・ボード
193 System Security: IBM Embedded Security Hardware Removed	1. システム・ボード
194 System Security: Asset ID Antenna has been Removed	1. システム・ボード
195 System Security: Asset ID Antenna has been Installed	1. システム・ボード
196 System Tampered Cleared	1. システム・ボード
1XX Not listed above	1. システム・ボード
201, 20X Memory data error	1. Enhanced Diagnostics Memory テストを実行します。 2. メモリー・モジュール 3. システム・ボード
225	1. サポートされていないメモリー
229 External cache test error	1. L2 キャッシュ・メモリー 2. システム・ボード
262 POST detected a base memory or extended memory type error	1. セットアップを実行します。メモリーについて「System Summary」メニューをチェックします。(15ページの『装置構成ユーティリティ・プログラム』を参照。) 2. Extended Memory Diagnostic テストを実行します。
301 Keyboard Error	1. キーボード 2. キーボード・ケーブル 3. システム・ボード
303 With an 8603 error	1. マウス 2. キーボード 3. キーボード・ケーブル 4. システム・ボード

POST エラー・コード	FRU/ 処置
303 With no 8603 error	1. キーボード 2. キーボード・ケーブル 3. システム・ボード
3XX Not listed above	1. キーボード 2. キーボード・ケーブル 3. システム・ボード
5XX	1. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) 2. システム・ボード
601	1. ディスケット・ドライブ A 2. ディスケット・ドライブ・ケーブル 3. システム・ボード 4. ライザー・カード
602	1. ディスケットが間違っていますか? 2. ディスケットを確認して、再試行します。
604 And able to run diagnostics	1. セットアップを実行し、ディスクットの構成の設定を確認します。 2. ディスケット・ドライブ A/B 3. ディスケット・ドライブ・ケーブル 4. システム・ボード 5. ライザー・カード
605 POST cannot unlock the diskette drive	1. ディスケット・ドライブ 2. ディスケット・ドライブ・ケーブル 3. システム・ボード 4. ライザー・カード
662 Configuration Change has occurred	1. ディスケット・ドライブ構成のエラーまたはディスクット・ドライブのタイプの間違いです。装置構成を実行します。
6XX Not listed above	1. ディスケット・ドライブ 2. システム・ボード 3. ライザー・カード 4. 外部ドライブ・アダプター 5. ディスケット・ドライブ・ケーブル 6. 電源機構
762 Math coprocessor configuration error	1. セットアップを実行します。 2. プロセッサ 3. システム・ボード

POST エラー・コード	FRU/ 処置
7XX Not listed above	1. プロセッサ 2. システム・ボード
962 Parallel port configuration error	1. 構成を実行します。 2. パラレル・アダプター (取り付けられている場合) 3. システム・ボード
9XX	1. プリンター 2. システム・ボード
1047	1. 16 ビット AT™ 高速 SCSI アダプター
107X Check SCSI terminator installation	1. SCSI ターミネーターの取り付けをチェックします。 2. SCSI ケーブル 3. SCSI ターミネーター 4. SCSI デバイス 5. SCSI アダプター
1101 Serial connector error, possible system board failure	1. Enhanced Diagnostics を実行します。
1101, 1102, 1106, 1108, 1109	1. システム・ボード 2. 任意のシリアル・デバイス
1107	1. 通信ケーブル 2. システム・ボード
1102 Card selected feedback error	1. Enhanced Diagnostics を実行します。
1103 Port fails register check	1. Enhanced Diagnostics を実行します。 2. システム・ボード
1106 Serial option cannot be turned off	1. Enhanced Diagnostics を実行します。 2. システム・ボード
1107	1. シリアル・デバイス・ケーブル 2. システム・ボード
1110 Register test failed	1. Enhanced Diagnostics を実行します。 2. システム・ボード
1116 Interrupt error	1. Enhanced Diagnostics を実行します。
1117 Failed baud rate test	1. Enhanced Diagnostics を実行します。
1162 Serial port configuration error	1. 構成を実行します。 2. シリアル・アダプター (取り付けられている場合) 3. システム・ボード

POST エラー・コード	FRU/ 処置
11XX Not listed above	1. システム・ボード
1201	1. システム・ボード 2. 任意のシリアル・デバイス
1202, 1206, 1208, 1209, 12XX	1. 二重非同期アダプター /A 2. システム・ボード 3. 任意のシリアル・デバイス
1207	1. 通信ケーブル 2. 二重非同期アダプター /A
13XX	1. ゲーム・アダプター
1402 Printer not ready	通知のみ
1403 No paper error, or interrupt failure	通知のみ
1404 System board timeout failure	1. Enhanced Diagnostics を実行します。
1405 Parallel adapter error	1. Enhanced Diagnostics を実行します。
1406 Presence test error	1. Enhanced Diagnostics を実行します。
14XX Not listed above. Check printer before replacing system board	1. プリンター 2. システム・ボード
15XX	1. SDLC アダプター
1692 Boot sequence error	1. FDISK を実行して、少なくとも 1 つのアクティブ区画がアクティブに設定されていることを確認します。
16XX	1. 36/38 ワークステーション・アダプター
1762 Hard disk drive configuration error	1. 構成を実行します。(15ページの『装置構成ユーティリティ・プログラム』を参照。)
1780 (Disk Drive 0) 1781 (Disk Drive 1) 1782 (Disk Drive 2) 1783 (Disk Drive 3)	1. ハード・ディスク 2. システム・ボード 3. ライザー・カード 4. ハード・ディスク・ケーブル 5. 電源機構

POST エラー・コード	FRU/ 処置
1800 PCI/PnP Error! No Hardware Interrupt Available	1. セットアップを実行し、PCI/ISA 構成の設定を確認します。 2. 必要に応じて、ISA アダプターを <i>Not available</i> に設定して、PCI アダプターを正しく構成できるようにします。 3. 疑わしい ISA アダプターはすべて取り外します。 4. 診断を再実行します。 5. PCI アダプター
1801 PCI/PnP Error! No Space Available to Shadow ROM	1. セットアップを実行し、PCI/ISA 構成の設定を確認します。 2. 必要に応じて、ISA アダプターを <i>Not available</i> に設定して、PCI アダプターを正しく構成できるようにします。 3. 疑わしい ISA アダプターはすべて取り外します。 4. 診断を再実行します。 5. PCI アダプター
1802 PCI/PnP Error! Not Enough I/O Space Available	1. セットアップを実行し、PCI/ISA 構成の設定を確認します。 2. 必要に応じて、ISA アダプターを <i>Not available</i> に設定して、PCI アダプターを正しく構成できるようにします。 3. 疑わしい ISA アダプターはすべて取り外します。 4. 診断を再実行します。 5. PCI アダプター
1803 PCI/PnP Error! Not Enough Memory Space Available	1. セットアップを実行し、PCI/ISA 構成の設定を確認します。 2. 必要に応じて、ISA アダプターを <i>Not available</i> に設定して、PCI アダプターを正しく構成できるようにします。 3. 疑わしい ISA アダプターはすべて取り外します。 4. 診断を再実行します。 5. PCI アダプター

POST エラー・コード	FRU/ 処置
1804 PCI/PnP Error! Not Enough Real Memory Space Available	1. セットアップを実行し、PCI/ISA 構成の設定を確認します。 2. 必要に応じて、ISA アダプターを <i>Not available</i> に設定して、PCI アダプターを正しく構成できるようにします。 3. 疑わしい ISA アダプターはすべて取り外します。 4. 診断を再実行します。 5. PCI アダプター
1805 PCI/PnP Error! Adapter ROM Checksum Error	1. セットアップを実行し、PCI/ISA 構成の設定を確認します。 2. 必要に応じて、ISA アダプターを <i>Not available</i> に設定して、PCI アダプターを正しく構成できるようにします。 3. 疑わしい ISA アダプターはすべて取り外します。 4. 診断を再実行します。 5. PCI アダプター
180X, 188X PCI configuration or resource error	1. セットアップを実行し、PCI/ISA 構成の設定を確認します。 2. 必要に応じて、ISA アダプターを <i>Not available</i> に設定して、PCI アダプターを正しく構成できるようにします。 3. 疑わしい ISA アダプターはすべて取り外します。 4. 診断を再実行します。 5. PCI アダプター
1962 No operating system found	1. F1 を押して、ブート・シーケンスを繰り返します。
209X	1. ディスケット・ドライブ 2. ディスケット・ケーブル
20XX Not listed above	1. BSC アダプター
21XX	1. SCSI デバイス 2. 16 ビット AT 高速 SCSI アダプター 3. 代替 BSC アダプター
2401, 2402 If screen colors change	1. ディスプレイ
2401, 2402 If screen colors are OK	1. システム・ボード 2. ディスプレイ
2409	1. ディスプレイ

POST エラー・コード	FRU/ 処置
2410	1. システム・ボード 2. ディスプレイ
2462 Video memory configuration error	1. ケーブル接続をチェックします。 2. セットアップを実行し、ビデオ構成の設定を確認します。 3. ビデオ・メモリー・モジュール 4. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) 5. システム・ボード
4611, 4630	1. マルチポート /2 インターフェース・ボード 2. マルチポート /2 アダプター
4612, 4613, 4640, 4641	1. メモリー・モジュール・パッケージ 2. マルチポート /2 アダプター
4650	1. マルチポート /2 インターフェース・ケーブル
46XX Not listed above	1. マルチポート /2 アダプター 2. マルチポート /2 インターフェース・ボード 3. メモリー・モジュール
5600	1. 金融システム・コントローラー・アダプター
5962 An IDE device (other than hard drive) configuration error	1. 構成を実行します。 2. CD-ROM ドライブ 3. CD-ROM アダプター 4. Zip または他の ATAPI デバイス 5. システム・ボード 6. ライザー・カード
62XX	1. 1 次ストア・ループ・アダプター 2. アダプター・ケーブル
63XX	1. 2 次ストア・ループ・アダプター 2. アダプター・ケーブル
64XX	1. ネットワーク・アダプター
71XX	1. 音声アダプター
74XX	1. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合)
76XX	1. ページ・プリンター・アダプター
78XX	1. 高速アダプター
79XX	1. 3117 アダプター

POST エラー・コード	FRU/ 処置
80XX	1. PCMCIA アダプター
84XX	1. スピーチ・アダプター 2. スピーチ制御アセンブリー
8601, 8602	1. ポインティング・デバイス (マウス) 2. システム・ボード
8603, 8604 Pointing Device Error	1. システム・ボード 2. ポインティング・デバイス (マウス)
86XX Not listed above	1. マウス 2. システム・ボード
89XX	1. PC ミュージック・アダプター 2. MIDI アダプター・ユニット
91XX	1. 光ディスク・ドライブ 2. アダプター
96XX	1. SCSI アダプター 2. 任意の SCSI デバイス 3. システム・ボード 4. ライザー・カード
10101, 10102, 10104, 10105, 10106, 10107, 10108, 10109, 10111, 10112, 10113, 10114, 10115, 10116	1. お客様に、正しいオペレーティング・システム・デバイス・ドライバがインストールされており、作動可能であることを確認してもらいます。 2. モデム
10103, 10110, 101171	1. システム・ボード 2. Data/Fax モデム 3. ライザー・カード
10117 Not listed above	1. システム・スピーカーをチェックします。 2. PSTN ケーブルをチェックします。 3. 外部 DAA (取り付けられている場合) 4. モデム
10118	1. 診断プログラムを実行し、モデムが正しく作動することを確認します。 2. モデム
10119	1. 診断プログラムは、 IBM 以外のモデムを検出しました。 2. モデム

POST エラー・コード	FRU/ 処置
10120	1. PSTN ケーブルをチェックします。 2. 外部 DAA (取り付けられている場合) 3. モデム
10132, 10133, 10134, 10135, 10136, 10137, 10138, 10139, 10140, 10141, 10142, 10143, 10144, 10145, 10146, 10147, 10148, 10149, 10150, 10151, 10152	1. モデム
10153	1. Data/Fax モデム 2. システム・ボード 3. ライザー・カード
101XX Not listed above	1. モデム・アダプター /A 2. Data/Fax モデム 3. システム・ボード 4. ライザー・カード
10450, 10451, 10490, 10491, 10492, 10499 Read/write error	1. Enhanced Diagnostics を実行します。 2. ハード・ディスク 3. システム・ボード 4. ライザー・カード
10452 Seek test error	1. Enhanced Diagnostics を実行します。
10453 Wrong drive type?	通知のみ
10454 Sector buffer test error	1. Enhanced Diagnostics を実行します。
10455, 10456 Controller error	1. Enhanced Diagnostics を実行します。
10459 Drive diagnostic command error	通知のみ
10461 Drive format error	1. Enhanced Diagnostics を実行します。
10462 Controller seek error	1. Enhanced Diagnostics を実行します。
10464 Hard Drive read error	1. Enhanced Diagnostics を実行します。
10467 Drive non-fatal seek error	1. Enhanced Diagnostics を実行します。
10468 Drive fatal seek error	1. Enhanced Diagnostics を実行します。

POST エラー・コード	FRU/ 処置
10469 Drive soft error count exceeded	1. Enhanced Diagnostics を実行します。
10470, 10471, 10472 Controller wrap error	1. Enhanced Diagnostics を実行します。
10473 Corrupt data. Low level format might be required	通知のみ
10480	1. ハード・ディスク (ESDI) 2. ドライブ・ケーブル 3. システム・ボード
10481 ESDI drive D seek error	1. Enhanced Diagnostics を実行します。
10482 Drive select acknowledgement bad	1. Enhanced Diagnostics を実行します。
106X1	1. 構成をチェックします。 2. イーサネット・アダプター
10635	1. コンピューターの電源をオフにし、 10 秒 間待ってから、コンピューターの電源をオンにします。 2. イーサネット・アダプター
10651, 10660	1. ケーブルをチェックします。 2. イーサネット・アダプター
106XX Not listed above	1. イーサネット・アダプター
107XX	1. 5.25 インチ 外付け ディスク・ドライブ 2. 5.25 インチ ディスク・ ドライブ・アダプター /A
109XX Check the adapter cables	1. ActionMedia アダプター /A 2. システム・ボード 3. ライザー・カード
112XX This adapter does not have cache	1. SCSI アダプター 2. 任意の SCSI デバイス 3. システム・ボード 4. ライザー・カード
119XX	1. 3119 アダプター

POST エラー・コード	FRU/ 処置
121XX	1. モデム・アダプター 2. 任意のシリアル・デバイス 3. システム・ボード 4. ライザー・カード
136XX	1. ISDN プライマリー・レート・アダプター 2. システム・ボード 3. ライザー・カード
137XX	1. システム・ボード
141XX	1. リアルタイム・インターフェース・コプロセッサ Portmaster アダプター /A
143XX	1. 日本語ディスプレイ・アダプター 2. システム・ボード 3. ライザー・カード
14710, 14711	1. システム・ボード・ビデオ・アダプター 2. アダプター・ビデオ・メモリー
148XX	1. ビデオ・アダプター
14901, 14902, 1491X, 14922	1. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) 2. システム・ボード 3. ライザー・カード 4. ディスプレイ (任意のタイプ)
14932	1. 外付けディスプレイ 2. ビデオ・アダプター
161XX	1. FaxConcentrator アダプター
164XX	1. 120 MB 内蔵磁気テープ・ドライブ 2. ディスケット・ケーブル 3. システム・ボード 4. ライザー・カード
16500	1. 6157 磁気テープ接続機構 2. アダプター
16520, 16540	1. 6157 ストリーミング磁気テープ・ドライブ 2. 6157 磁気テープ接続機構アダプター
166XX, 167XX	1. トークンリング・アダプター 2. システム・ボード 3. ライザー・カード

POST エラー・コード	FRU/ 処置
18001 ~ 18029	1. ウィザード・アダプター 2. ウィザード・アダプター・メモリー
18031 ~ 18039	1. ウィザード・アダプター・ケーブル
185XXX	1. DBCS 日本語ディスプレイ・アダプター /A 2. システム・ボード 3. ライザー・カード
20001 ~ 20003	1. イメージ・アダプター /A イメージ I アダプター /A 2. メモリー・モジュール DRAM、VRAM
20004	1. メモリー・モジュール DRAM、VRAM 2. イメージ・アダプター /A イメージ I アダプター /A
20005 ~ 20010	1. イメージ・アダプター /A イメージ I アダプター /A 2. メモリー・モジュール DRAM、VRAM
200XX Not listed above	1. イメージ・アダプター /A 2. イメージ I アダプター /A 3. メモリー・モジュール DRAM、VRAM 4. システム・ボード 5. ライザー・カード
20101 ~ 20103	1. プリンター / スキャナー・オプション 2. イメージ・アダプター /A 3. メモリー・モジュール DRAM、VRAM
20104	1. メモリー・モジュール DRAM、VRAM 2. プリンター / スキャナー・オプション 3. イメージ・アダプター /A
20105 ~ 20110	1. プリンター / スキャナー・オプション 2. イメージ・アダプター /A 3. メモリー・モジュール DRAM、VRAM
Image Adapter/A Memory Test failure indicated by graphic of adapter	1. メモリー・モジュール (グラフィックで表示) を交換します。
206XX	1. SCSI-2 アダプター 2. 任意の SCSI デバイス 3. システム・ボード 4. ライザー・カード
208XX Verify there are no duplicate SCSI ID settings on the same bus.	1. 任意の SCSI デバイス

POST エラー・コード	FRU/ 処置
210XXX Internal bus, size unknown 210XXX1 External bus, size unknown	1. SCSI ハード・ディスク・ドライブ 2. SCSI アダプターまたはシステム・ボード 3. SCSI ケーブル 4. SCSI ID スイッチ (一部のモデル)
Tape Drive amber LED remains on	1. 磁気テープ・ドライブ 2. SCSI ケーブル (内部) 3. SCSI アダプターまたはシステム・ボード
Tape Drive green "in use" LED fails to come on	1. 磁気テープ・ドライブ 2. SCSI アダプターまたはシステム・ボード 3. SCSI ケーブル (内部) 4. SCSI ケーブル (外部)
Tape automatically ejected from drive	1. 磁気テープ・カセット・ドライブ
SCSI ID on rotary switch does not match SCSI ID set in configuration. Verify drive switches inside cover are set to zero	1. ロータリー・スイッチの回路ボード 2. 回路ボード・ケーブル 3. 磁気テープ・ドライブ
Tape sticks or breaks in drive. Verify that the tapes used meet ANSI standard X3B5	1. 磁気テープ・カセット
212XX	1. SCSI プリンター 2. プリンター・ケーブル
213XX	1. SCSI プロセッサー
214XX	1. WORM ドライブ
215XXXC, 215XXXD, 215XXXE, 215XXXU If an external device, and power-on LED is off, check external voltages	1. CD-ROM ドライブ I 2. CD-ROM ドライブ II 拡張 CD-ROM ドライブ II 任意の CD-ROM ドライブ 3. SCSI ケーブル 4. SCSI アダプターまたはシステム・ボード
216XX	1. スキャナー
217XX If an external device, and power-on LED is off, check external voltages	1. 書き込み可能光ディスク・ドライブ 2. SCSI アダプターまたはシステム・ボード 3. SCSI ケーブル
218XX Check for multi CD tray or jukebox	1. チェンジャー
219XX	1. SCSI 通信デバイス
24201Y0, 24210Y0 Be sure wrap plug is attached	1. ISDN/2 アダプター 2. ISDN/2 折り返しプラグ 3. ISDN/2 通信ケーブル

POST エラー・コード	FRU/ 処置
273XX	1 Mbps マイクロチャンネル - 赤外線 LAN アダプター
27501, 27503, 27506, 27507	1. ServerGuard アダプター 2. システム・ボード 3. ライザー・カード
27502, 27504, 27510, 27511, 27533, 27534, 27536, 27537	1. ServerGuard アダプター
27509	1. 冗長アダプターを取り外し、Auto Configuration プログラムを実行してから、再テストします。
27512	1. WMSELF.DGS 診断ファイルが欠落している。 2. WMSELF.DGS 診断ファイルが正しくない。
27535	1. 3V リチウム・バックアップ・バッテリー 2. ServerGuard アダプター
27554	1. 内部の温度が範囲外である。 2. ServerGuard アダプター
27555, 27556	1. ServerGuard アダプター 2. 電源機構
27557	1. 7.2V NiCad メイン・バッテリー・パック 2. ServerGuard アダプター
27558, 27559, 27560, 27561	1. PCMCIA タイプ II モデム 2. ServerGuard アダプター
27562	1. 外部電源制御が接続されていない。 2. 外部電源制御 3. ServerGuard アダプター
27563, 27564	1. 外部電源制御 2. ServerGuard アダプター
275XX	1. Update Diagnostic ソフトウェア
27801 ~ 27879	1. 個人用ディクテーション・システム 2. アダプター 3. システム・ボード
27880 ~ 27889	1. 外部 FRU (スピーカー、マイクロホン)
999030X Hard disk reset failure	1. ハード・ディスクの問題が考えられます。75ページの『ハード・ディスク・ブート・エラー』を参照。

その他のエラー・メッセージ

メッセージ / 症状	FRU/ 処置
CMOS バックアップ・バッテリーが不正確	1. CMOS バックアップ・バッテリー (175ページの『安全上の注意』を参照) 2. システム・ボード
色が変わる	1. ディスプレイ
コンピューターの電源がオフにならない。 76ページの『電源機構エラー』を参照。	1. 電源スイッチ 2. システム・ボード 3. ライザー・カード
コンピューターがサーバーから RPL しない。	1. ネットワークが最初のデバイスまたはディスクットの後の最初のデバイスとして、始動順序にあることを確認します。 2. ネットワーク・アダプターが RPL に使用可能になっていることを確認します。 3. ネットワーク・アダプター (ネットワーク管理者に新しい MAC アドレスについて助言してください)
コンピューターが Wake on LAN しない (該当する場合)	1. ネットワーク・アダプターへの電源機構と信号ケーブルの接続をチェックします。 2. オペレーティング・システムの設定が Wake on LAN を使用可能にするように設定されていることを確認します。 3. Wake On LAN 機能が、装置構成で使用可能にされていることを確認します。 (15ページの『装置構成ユーティリティ・プログラム』を参照)。 4. ネットワーク管理者が正しい MAC アドレスを使用していることを確認します。 5. 割り込みまたは入出力アドレスが競合していないことを確認します。 6. ネットワーク・アダプター (ネットワーク管理者に新しい MAC アドレスについて助言してください)
コンピューターが非活動。76ページの『電源機構エラー』を参照。	1. 電源機構 2. システム・ボード 3. ライザー・カード
ディスクット・ドライブの使用ライトが、オンのままになるか、ドライブがアクティブなのにオンにならない。	1. ディスクット・ドライブ 2. システム・ボード 3. ディスクット・ドライブ・ケーブル 4. ライザー・カード

メッセージ / 症状	FRU/ 処置
何も表示されないはずの画面でカーソルが明滅している。	1. システム・ボード 2. 1 次 ハード・ディスク・ドライブ 3. ハード・ディスク・ドライブ・ケーブル 4. ライザー・カード
POST 時に表示されるメモリー・サイズが正しくない。	1. メモリー・テストを実行します。 2. メモリー・モジュール 3. システム・ボード
良好であることが分かっている診断ディスクセットを最初の 3.5 インチ・ディスクセット・ドライブに入れたのに「ディスクセットの挿入」アイコンが表示される。	1. システム・ボード 2. ディスケット・ドライブ・ケーブル 3. ライザー・カード 4. ネットワーク・アダプター
輝度またはカラーが、文字やカラー・バーの左から右にかけて変化する。	1. ディスプレイ 2. システム・ボード
電源がきていないか、ファンが回らない。	1. 76ページの『電源機構エラー』を参照。
良好であることが分かっている診断ディスクセットを入れても、Non-system disk または disk error タイプのメッセージが表示される。	1. ディスケット・ドライブ 2. システム・ボード 3. ディスケット・ドライブ・ケーブル 4. ライザー・カード
上記にリストされていない他のディスプレイ症状 (何も表示されないか、判読不能なディスプレイを含む)	1. ディスプレイ 2. システム・ボード
電源インディケータまたはハード・ディスク・ドライブ使用中ライトがオンになっていないが、コンピューターは正しく作動する。	1. 電源機構 2. システム・ボード 3. LED ケーブル
プリンターの問題	1. プリンター
良好であることが分かっている診断ディスクセットを最初の 3.5 インチ・ディスクセット・ドライブに入れると、ハード・ディスクからプログラムが読み込まれる。	1. セットアップを実行します。 2. ディスケット・ドライブ 3. ディスケット・ドライブ・ケーブル 4. システム・ボード 5. ライザー・カード 6. 電源機構
RPL コンピューターが、それ自体のハード・ディスクからプログラムにアクセスできない。	1. ネットワーク管理者が LCCM ハイブリッド RPL を使用している場合は、始動順序をチェックします。 a. 最初のデバイス - ネットワーク b. 2 番目のデバイス - ハード・ディスク 2. ハード・ディスク・ドライブ

メッセージ / 症状	FRU/ 処置
RPL コンピューターがサーバーから RPL し ない。	1. 始動順序をチェックします。 2. ネットワーク・アダプターの LED 状 況 をチェックします。
シリアルまたはパラレル・ポート・デバイス の故障 (システム・ボード・ポート)。	1. 外部デバイスの自己試験は OK か? 2. 外部デバイス 3. ケーブル 4. システム・ボード
シリアルまたはパラレル・ポート・デバイス の故障 (アダプター・ポート)。	1. 外部デバイスの自己試験は OK か? 2. 外部デバイス 3. ケーブル 4. 代替アダプター 5. システム・ボード
キーボード上の一部またはすべてのキーが作 動しない。	1. キーボード 2. キーボード・ケーブル 3. システム・ボード

判別されない問題

電源機構の電圧をチェックします (76ページの『電源機構エラー』を参照してくだ
さい)。電圧が正常な場合、このページに戻って、次のステップを実行します。

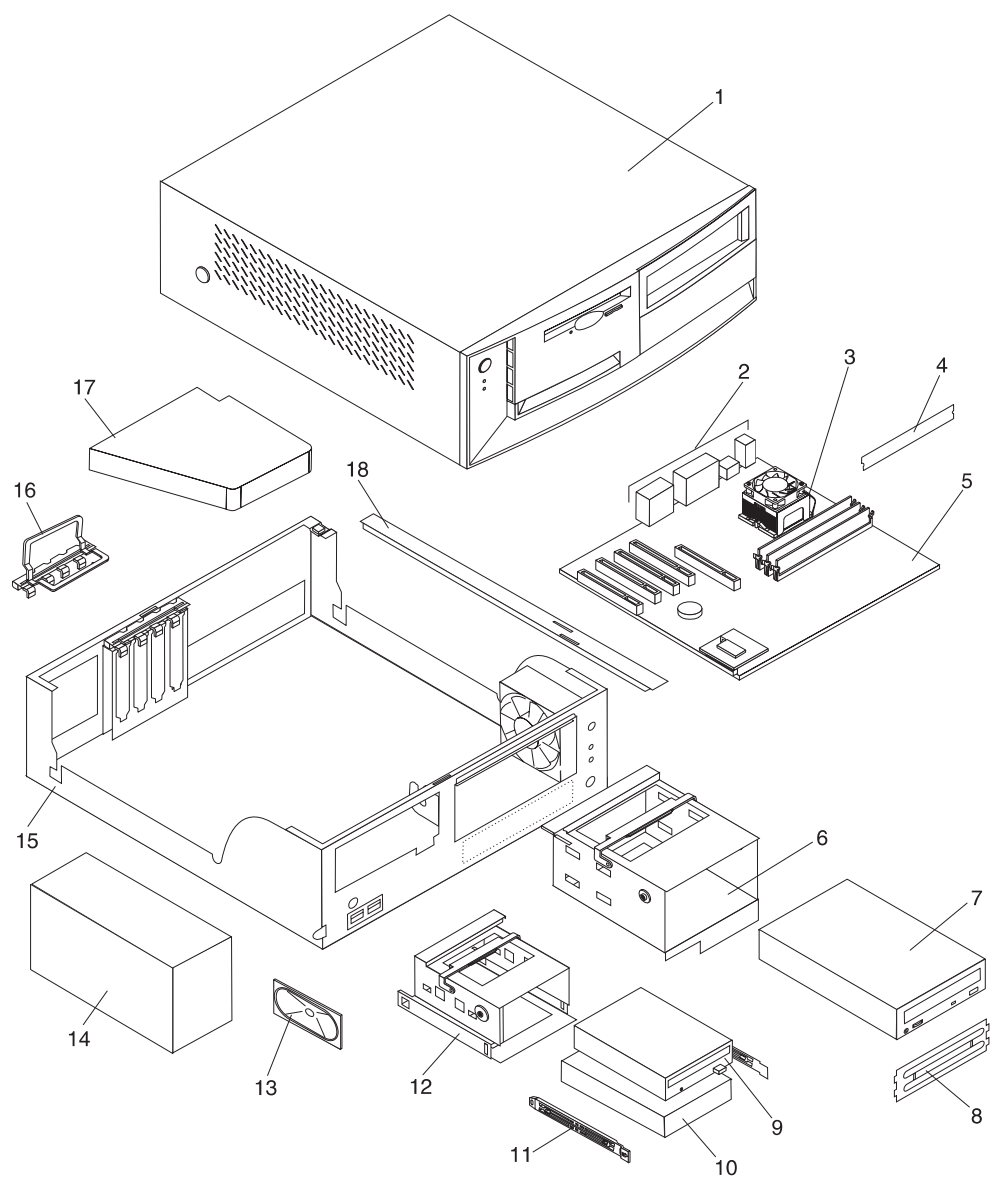
1. コンピューターの電源をオフにします。
2. 次のコンポーネント (取り付けられている場合) を一度に 1 つずつ取り外すか、
切り離します。
 - a. IBM 以外のデバイス
 - b. 外部デバイス (モデム、プリンター、またはマウス)
 - c. 任意のアダプター
 - d. ライザー・カード
 - e. メモリー・モジュール
 - f. 拡張ビデオ・メモリー
 - g. 外部キャッシュ
 - h. 外部キャッシュ RAM
 - i. ハード・ディスク・ドライブ
 - j. ディスケット・ドライブ
3. コンピューターの電源をオンにして、システムを再テストします。
4. エラーのあるデバイスまたはアダプターを検出するまで、ステップ 1 ～ 3 を繰
り返します。

デバイスおよびアダプターをすべて取り外しても問題が続く場合、システム・ボー
ドを交換します (小型デスクトップの場合は、67ページの『システム・ボード』
を、デスクトップの場合は、69ページの『システム・ボード』を、マイクロタワー
の場合は、73ページの『システム・ボード』を参照してください)。

第8章 部品リスト

小型デスクトップ・モデル

Type 6790, 6791



	マシン・タイプ 6790	
1	上部カバー・アセンブリー (パール・ホワイト) (モデル 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 31A, 31T, 31C, 31M, 31D, 31J, 14A, 14T, 15C, 15M, 15V, 15D, 16C, 16M, 16V, 16D, 2AA, 2AT, 2BC, 2BM, 2BV, 2BD, 2CC, 2CM, 2CV, 2CD, 33A, 33T, 33C, 33M, 33V, 33D)	24P9863
1	上部カバー・アセンブリー (Stealth ブラック) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 13U, 13F, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 24U, 24F, 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, CAU, CBU, CCU, 23U, 23G, 32U, CTO)	24P9865
2	入出力カム・ブラケット (全モデル)	24P9869
3	プロセッサ - Intel P4 1.6GHz (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 13U, 13F, CAU, CTO, 14A, 14T, 14C, 15M, 15V, 15D, 16C, 16M, 16V, 16D)	25P5114
3	プロセッサ - Intel P4 1.8GHz (モデル 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 23U, 23G, 24U, 24F, CBU, CTO, 2AA, 2AT, 2BC, 2BM, 2BV, 2BD, 2CC, 2CM, 2CV, 2CD)	25P5115
3	プロセッサ - Intel P4 2.0GHz (モデル 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J, 32U, CCU, CTO, 33A, 33T, 33C, 33M, 33V, 33D)	25P6177
3	ファン・シンク (1.3 ~ 1.8 GHz) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 13U, 13F, CAU, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 23U, 23G, 24U, 24F, CBU, CTO, 14A, 14T, 14C, 15M, 15V, 15D, 16C, 16M, 16V, 16D, 2AA, 2AT, 2BC, 2BM, 2BV, 2BD, 2CC, 2CM, 2CV, 2CD)	32P4002
3	ファン・シンク (1.9 ~ 2.2GHz) (モデル 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J, 32U, CCU, CTO, 33A, 33T, 33C, 33M, 33V, 33D)	32P4004
4	64MB メモリー (モデル CTO)	10K0056
4	128MB メモリー (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 13U, 13F, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 24U, 24F, CAU, CBU, CCU, CTO, 14A, 14T, 15C, 15M, 15V, 15D, 16C, 16M, 16V, 16D, 2AA, 2AT, 2BC, 2BM, 2BV, 2BD, 2CC, 2CM, 2CV, 2CD, 33A, 33T, 33C, 33M, 33V, 33D)	10K0058
4	256MB メモリー (モデル 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 23U, 23G, 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J, 32U, CTO)	10K0060
5	システム・ボード (POV2 カードを含まない) (23U, 23G, 32U を除く全モデル)	25P5090
5	システム・ボード (POV2 カードを含む) (23U, 23G, 32U, CTO)	25P5091

	マシン・タイプ 6790	
6	5.25 インチ DASD ブラケット (全モデル)	24P9875
7	CD-ROM ドライブ 48X (ブラック) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 13U, 13F, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 24U, 24F, 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, CAU, CBU, CCU, 23U, 23G, 32U, CTO)	24P3605
7	CD-ROM 48X (ホワイト) (モデル 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 31A, 31T, 31C, 31M, 31D, 31J, 14A, 14T, 15C, 15M, 15V, 15D, 16C, 16M, 16V, 16D, 2AA, 2AT, 2BC, 2BM, 2BV, 2BD, 2CC, 2CM, 2CV, 2CD, 33A, 33T, 33C, 33M, 33V, 33D)	24P3603
7	DVD-ROM 16X/48X (ブラック) (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	24P3623
7	CD/RW 12X/8X/32X (ブラック) (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	06P5161
7	DVD-ROM/CD/RW コンボ (ブラック) (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	06P5289
7	DVD RAM 9.4GB 2X/6X/24X (ブラック) (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	19K1539
8	5.25 インチ EMC シールド (全モデル)	19K5548
9	3.5 インチ 1.44 M 2 モード・フロッピー・ディスク・ドライブ (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 11M, 11V, 11D, 13U, 13F, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 21M, 21V, 21D, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 22M, 22V, 22D, 24U, 24F, 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, 31M, 31V, 31D, CAU, CBU, CCU, 23U, 23G, 32U, CTO, 15M, 15V, 15D, 16M, 16V, 16D, 2BM, 2BV, 2BD, 2CM, 2CV, 2CD, 33M, 33V, 33D)	75H9550
9	3.5 インチ 1.44 M 3 モード・フロッピー・ディスク・ドライブ (モデル 11A, 11T, 11C, 21A, 21T, 21C, 31A, 31T, 31C, CTO, 11J, 21J, 22J, 31J, 14A, 14T, 15C, 16C, 2AA, 2AT, 2BC, 2CC, 33A, 33T, 33C)	19K1543
10	40GB ハード・ディスク、Value EIDE ATA-100 (全モデル)	19K1562
10	60GB ハード・ディスク、Value EIDE ATA-100 (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	24P6006
10	80GB ハード・ディスク、Value EIDE ATA-100 (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	06P5237
10	20GB ハード・ディスク 7200rpm EIDE ATA-100 (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	19K1565
10	40GB ハード・ディスク 7200rpm EIDE ATA-100 (モデル CAU, CBU, CCU, CTO, 14A, 14T, 15C, 15M, 15V, 15D, 16C, 16M, 16V, 16D, 2AA, 2AT, 2BC, 2BM, 2BV, 2BD, 2CC, 2CM, 2CV, 2CD, 33A, 33T, 33C, 33M, 33V, 33D)	19K1568
10	60GB ハード・ディスク 7200rpm EIDE ATA-100 (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	19K1570
10	80GB ハード・ディスク 7200rpm EIDE ATA-100 (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	24P3665

	マシン・タイプ 6790	
11	DASD レール・ソフト・マウント・アセンブリー (ブルー) (全モデル)	19K5331
11	DASD レール・ソフト・マウント・アセンブリー (イエロー) (全モデル)	23P1327
12	3.5 インチ・フロッピー・ディスク・ドライブ・ブラケット (全モデル)	24P9874
13	スピーカー・アセンブリー (全モデル)	00N5151
14	電源機構 160W PFC (11P, 11C, 21P, 21C, 22P, 22C, 31P, 31C, 15C, 16C, 2BC, 2CC, 33C を除く全モデル)	24P6829
14	電源機構 160W Wide Ranging (モデル 11P, 11C, 21P, 21C, 22P, 22C, 31P, 31C, CTO, 15C, 16C, 2BC, 2CC, 33C)	24P6831
15	基本シャシー・アセンブリー (全モデル)	24P9866
16	リンク・ブラケット (全モデル)	25P5032
17	エア・ダクト (全モデル)	25P5030
	保存モジュール・キット (全モデル)	24P4811
	デュアル USB ケーブル (全モデル)	22P1188
	プレーナー位置決めラベル (全モデル)	24P9864
	RFID アンテナ (モデル 23U, 23G, 32U)	03K9654
	C2 ケーブル (モデル 23U, 23G, 32U)	09K9827
	ベゼル・キット (パール・ホワイト) (モデル 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 31A, 31T, 31C, 31M, 31D, 31J, 14A, 14T, 15C, 15M, 15V, 15D, 16C, 16M, 16V, 16D, 2AA, 2AT, 2BC, 2BM, 2BV, 2BD, 2CC, 2CM, 2CV, 2CD, 33A, 33T, 33C, 33M, 33V, 33D)	24P9867
	ベゼル・キット (Stealth ブラック) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 13U, 13F, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 24U, 24F, 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, CAU, CBU, CCU, 23U, 23G, 32U, CTO)	24P9868
	1 次 IDE ケーブル (全モデル)	24P9870
	フロッピー・ディスク・ドライブ・ケーブル (全モデル)	24P9871
	2 次 IDE ケーブル (全モデル)	24P9872
	ピボット・ロック、3.5 インチ・フロッピー・ディスク・ドライブ (全モデル)	24P9876
	ピボット・ロック、5.25 インチ DASD (全モデル)	24P9877
	その他のハードウェア・キット (全モデル)	24P9878
	CD-ROM オーディオ・ケーブル (全モデル)	75H9219
	電源 /LED ケーブル・アセンブリー (全モデル)	37L5092
	キーロック (モデル 23U, 23G, 32U)	25P5031
	台座 (Stealth ブラック) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 13U, 13F, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 24U, 24F, 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, CAU, CBU, CCU, 23U, 23G, 32U, CTO)	25P5033

	マシン・タイプ 6790	
	台座 (パール・ホワイト) (モデル 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 31A, 31T, 31C, 31M, 31D, 31J, 14A, 14T, 15C, 15M, 15V, 15D, 16C, 16M, 16V, 16D, 2AA, 2AT, 2BC, 2BM, 2BV, 2BD, 2CC, 2CM, 2CV, 2CD, 33A, 33T, 33C, 33M, 33V, 33D)	25P5034
	ボトム・フット (全モデル)	03K9655
	ボトム・フット (パール・ホワイト) (全モデル)	25P4664
	マウス、2 ボタン PS/2 (ブラック) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 13U, 13F, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 24U, 24F, 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, CAU, CBU, CCU, 23U, 23G, 32U, CTO)	10L6149
	マウス、2 ボタン PS/2 (ホワイト) (モデル 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 31A, 31T, 31C, 31M, 31D, 31J, 14A, 14T, 15C, 15M, 15V, 15D, 16C, 16M, 16V, 16D, 2AA, 2AT, 2BC, 2BM, 2BV, 2BD, 2CC, 2CM, 2CV, 2CD, 33A, 33T, 33C, 33M, 33V, 33D)	10L6145
	16MB nVidia Vanta 4XAGP (15C, 15M, 15V, 15D, 16C, 16M, 16V, 16D, 2BC, 2BM, 2BV, 2BD, 2CC, 2CM, 2CV, 2CD を除く全モデル)	25P4058
	nVidia GeForce2 MX-VGA のみ (モデル CTO, 15C, 15M, 15V, 15D, 16C, 16M, 16V, 16D, 2BC, 2BM, 2BV, 2BD, 2CC, 2CM, 2CV, 2CD)	25P5848
	nVidia GeForce2 MX-VGA/TVout (モデル CTO)	22P1069
	64MB nVidia GeForce2 GTS Pro (モデル CTO)	22P1390
	56k V.90 data/fax PCI モデム (US) (モデル CTO)	19K2965
	56k V.90 data/fax PCI モデム (WT) (モデル CTO)	19K2963
	1394 Firewire PCI-LP (モデル CTO)	22P6849
	PCMCIA/IEEE - 1394 コンボ PCI-LP (モデル CTO)	32P4742
	Jazz Infinity、2 ピース Tier-1 (ブラック) (モデル CTO)	25P4726
	電源ブリック - 日本 (モデル xxJ)	10K2593
	電源ブリック - US、CE、CF、LA、台湾 (モデル CTO)	10K2587
	電源ブリック - 欧州 (英国以外) (モデル CTO)	10K2591
	電源ブリック - 香港 (2 ピン版) (モデル CTO)	10K2597
	電源ブリック - 香港 (3 ピン版) (モデル CTO)	25P5703
	電源ブリック - 英国 (北アイルランド、ウェールズ、GB、スコットランド、イングランド) (モデル CTO)	25P5703
	電源ブリック - オーストラリア、ニュージーランド (モデル CTO)	25P5705
	電源ブリック - ブラジル (モデル CTO)	10K2789

	リカバリー CD Win 98 - マシン・タイプ 6790	
	AP Win 98 リカバリー CD (モデル 14A, 16D, 2AA, 2CD, 33A, 33D)	32P4496
	TH Win 98 リカバリー CD (モデル 14T, 2AT, 33T)	32P4520
	Simplified Chinese Win 98 Recovery CD (モデル 16C, 2CC, 33C)	46P3999
	Traditional Chinese Win 98 Recovery CD (モデル 1SM, 16V, 2CM, 2CV, 33M, 33V)	46P4000

	リカバリー CD Win 2000 - マシン・タイプ 6790	
	日本語 Win2000 リカバリー CD (モデル 11J, 21J, 22J, 31J)	46P3985
	US Win2000 リカバリー CD (モデル 11U, 21U, 22U, 31U, 23U, 32U)	32P4522
	AP Win2000 リカバリー CD (モデル 11A, 11D, 21A, 21D, 22A, 22D, 31A, 31D, 15D, 2BD)	32P4523
	UK Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4524
	FR Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4525
	GR Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4526
	LA Win2000 リカバリー CD (モデル 11S, 21S, 22S, 31S)	32P4527
	IT Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4528
	CF Win2000 リカバリー CD (モデル 11F, 21F, 22F, 31F)	32P4529
	BR Win2000 リカバリー CD (モデル 11P, 21P, 22P, 31P)	32P4530
	SP Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4531
	DK Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4532
	NL Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4533
	AE Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4534
	SW Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4535
	HB Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4536
	FI Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4537
	NO Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4538
	PL Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4539

	リカバリー CD Win 2000 - マシン・タイプ 6790	
	PO Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4540
	RU Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4541
	HU Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4542
	CZ Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4543
	TR Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4544
	TH Win2000 リカバリー CD (モデル 11T, 21T, 22T, 31T)	32P4545
	GK Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 23G)	32P4546
	Simplified Chinese Win2000 Recovery CD (モデル 11C, 15C, 21C, 22C, 2BC, 31C)	46P3993
	Taiwan-TC Win2000 リカバリー CD (モデル 11V, 15V, 21V, 22V, 2BV, 31V)	46P3995
	Hong Kong-TC Win2000 リカバリー CD (モデル 11M, 15M, 21M, 22M, 2BM, 31M)	46P3997

	リカバリー CD XP Home - マシン・タイプ 6790	
	US XP Home リカバリー CD (モデル 13U, 24U)	33P 1881
	FR XP Home リカバリー CD (モデル 13F, 24F)	33P1890

	キーボード (標準 PS/2 ブラック) - マシン・タイプ 6790	
	日本語	37L2584
	米国英語	32P5000
	アラビア語	32P5001
	ベルギー・フランス語	32P5002
	ベルギー語 /UK	32P5003
	ブルガリア語	32P5004
	中国語 /US	32P5005
	チェコ語	32P5006
	デンマーク語	32P5007
	オランダ語	32P5008
	フランス語	32P5009
	カナダ・フランス語 058	32P5010
	カナダ・フランス語 445	32P5011
	ドイツ語	32P5012
	ギリシャ語	32P5013
	ヘブライ語	32P5014
	ハンガリー語	32P5015

	キーボード (標準 PS/2 ブラック) - マシン・タイプ 6790	
	アイスランド	32P5016
	イタリア語	32P5017
	韓国語	32P5019
	LA スペイン語	32P5020
	ノルウェー語	32P5021
	ポーランド語	32P5022
	ポルトガル語	32P5023
	ルーマニア語	32P5024
	ロシア語	32P5025
	ロシア語キリル文字	32P5026
	セルビア語キリル文字	32P5027
	スロバキア語	32P5028
	スペイン語	32P5029
	スウェーデン語 / フィンランド語	32P5030
	スイス・フランス語 / ドイツ語	32P5031
	タイ	32P5032
	トルコ語 EURO フェーズ I	32P5033
	トルコ語 EURO フェーズ II	32P5034
	英国英語	32P5035
	米国 共通語 (US International)	32P5036
	ユーゴスラビア語 / ラテン語	32P5037
	ブラジル・ポルトガル語	32P5038

	キーボード (標準 PS/2 ホワイト) - マシン・タイプ 6790	
	日本語	37L2547
	米国英語	32P5040
	アラビア語	32P5041
	ベルギー・フランス語	32P5042
	ベルギー語 /UK	32P5043
	ブルガリア語	32P5044
	中国語 /US	32P5045
	チェコ語	32P5046
	デンマーク語	32P5047
	オランダ語	32P5048
	フランス語	32P5049
	カナダ・フランス語 058	32P5050
	カナダ・フランス語 445	32P5051
	ドイツ語	32P5052
	ギリシャ語	32P5053
	ヘブライ語	32P5054

	キーボード (標準 PS/2 ホワイト) - マシン・タイプ 6790	
	ハンガリー語	32P5055
	アイスランド	32P5056
	イタリア語	32P5057
	韓国語	32P5059
	LA スペイン語	32P5060
	ノルウェー語	32P5061
	ポーランド語	32P5062
	ポルトガル語	32P5063
	ルーマニア語	32P5064
	ロシア語	32P5065
	ロシア語キリル文字	32P5066
	セルビア語キリル文字	32P5067
	スロバキア語	32P5068
	スペイン語	32P5069
	スウェーデン語 / フィンランド語	32P5070
	スイス・フランス語 / ドイツ語	32P5071
	タイ	32P5072
	トルコ語 EURO フェーズ I	32P5073
	トルコ語 EURO フェーズ II	32P5074
	英国英語	32P5075
	米国 共通語 (US International)	32P5076
	ユーゴスラビア語 / ラテン語	32P5077
	ブラジル・ポルトガル語	32P5078

	電源コード - マシン・タイプ 6790	
	日本 - 電源コード	39H0212
	日本 - 3P-2P 変換アダプター	13H8211
	Line Cord	6952301
	Line Cord	13F9939
	Line Cord	34G0222
	Line Cord	13F9978
	Line Cord	14F0032
	Line Cord	13F9996
	Line Cord	14F0068
	Line Cord	36L8878
	Line Cord	02K0545
	Line Cord	14F0086
	Line Cord	14F0014
	Line Cord	14F0050

	マシン・タイプ 6791	
1	上部カバー・アセンブリー (パール・ホワイト) (モデル 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 31A, 31T, 31C, 31M, 31D, 31J)	24P9863
1	上部カバー・アセンブリー (Stealth ブラック) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 31U, 31F, 31S, 31P, 31G)	24P9865
2	入出力カム・ブラケット (全モデル)	24P9869
3	プロセッサ - Intel P4 1.6GHz (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J)	25P5114
3	プロセッサ - Intel P4 1.8GHz (モデル 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J)	25P5115
3	プロセッサ - Intel P4 2.0GHz (モデル 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J)	25P6177
3	ファン・シンク (1.3 ~ 1.8 GHz) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J)	32P4002
3	ファン・シンク (1.9 ~ 2.2GHz) (モデル 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J)	32P4004
4	128MB メモリー (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J)	10K0058
4	256MB メモリー (モデル 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J)	10K0060
5	システム・ボード (POV2 カードを含まない) (全モデル)	25P5090
6	5.25 インチ DASD ブラケット (全モデル)	24P9875
7	CD-ROM ドライブ 48X (ブラック) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 31U, 31F, 31S, 31P, 31G)	24P3605
7	CD-ROM ドライブ 48X (ホワイト) (モデル 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 31A, 31T, 31C, 31M, 31D, 31J)	24P3603
8	5.25 インチ EMC シールド (全モデル)	19K5548
9	3.5 インチ 1.44 M 2 モード・フロッピー・ディスク・ドライブ (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 11M, 11V, 11D, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 21M, 21V, 21D, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 22M, 22V, 22D, 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, 31M, 31V, 31D)	75H9550
9	3.5 インチ 1.44 M 3 モード・フロッピー・ディスク・ドライブ (モデル 11A, 11T, 11C, 21A, 21T, 21C, 31A, 31T, 31C, 11J, 21J, 22J, 31J)	19K1543
10	40GB ハード・ディスク、Value EIDE ATA-100 (全モデル)	19K1562

	マシン・タイプ 6791	
11	DASD レール・ソフト・マウント・アセンブリー (ブルー) (全モデル)	19K5331
11	DASD レール・ソフト・マウント・アセンブリー (イエロー) (全モデル)	23P1327
12	3.5 インチ・フロッピー・ディスク・ドライブ・ブラケット (全モデル)	24P9874
13	スピーカー・アセンブリー (全モデル)	00N5151
14	電源機構 160W PFC (11P, 11C, 21P, 21C, 22P, 22C, 31P, 31C を除く全モデル)	24P6829
14	電源機構 160W Wide Ranging (モデル 11P, 11C, 21P, 21C, 22P, 22C, 31P, 31C)	24P6831
15	基本シャシー・アセンブリー (全モデル)	24P9866
16	リンク・ブラケット (全モデル)	25P5032
17	エア・ダクト (全モデル)	25P5030
	保存モジュール・キット (全モデル)	24P4811
	デュアル USB ケーブル (全モデル)	22P1188
	プレーナー位置決めラベル (全モデル)	24P9864
	ベゼル・キット (パール・ホワイト) (モデル 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 31A, 31T, 31C, 31M, 31D, 31J)	24P9867
	ベゼル・キット (Stealth ブラック) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 31U, 31F, 31S, 31P, 31G)	24P9868
	1 次 IDE ケーブル (全モデル)	24P9870
	フロッピー・ディスク・ドライブ・ケーブル (全モデル)	24P9871
	2 次 IDE ケーブル (全モデル)	24P9872
	ピボット・ロック、3.5 インチ・フロッピー・ディスク・ドライブ (全モデル)	24P9876
	ピボット・ロック、5.25 インチ DASD (全モデル)	24P9877
	その他のハードウェア・キット (全モデル)	24P9878
	CD-ROM オーディオ・ケーブル (全モデル)	75H9219
	電源 /LED ケーブル・アセンブリー (全モデル)	37L5092
	ボトム・フット (全モデル)	03K9655
	ボトム・フット (パール・ホワイト) (全モデル)	25P4664
	マウス、2 ボタン PS/2 (ブラック) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 31U, 31F, 31S, 31P, 31G)	10L6149
	マウス、2 ボタン PS/2 (ホワイト) (モデル 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 31A, 31T, 31C, 31M, 31D, 31J)	10L6145
	16MB nVidia Vanta 4XAGP (全モデル)	25P4058

	リカバリー CD Win 2000 - マシン・タイプ 6791	
	日本語 Win2000 リカバリー CD (モデル 11J, 21J, 22J, 31J)	46P3985
	US Win2000 リカバリー CD (モデル 11U, 21U, 22U, 31U)	32P4522
	AP Win2000 リカバリー CD (モデル 11A, 11D, 21A, 21D, 22A, 22D, 31A, 31D)	32P4523
	UK Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4524
	FR Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4525
	GR Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4526
	LA Win2000 リカバリー CD (モデル 11S, 21S, 22S, 31S)	32P4527
	IT Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4528
	CF Win2000 リカバリー CD (モデル 11F, 21F, 22F, 31F)	32P4529
	BR Win2000 リカバリー CD (モデル 11P, 21P, 22P, 31P)	32P4530
	SP Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4531
	DK Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4532
	NL Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4533
	AE Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4534
	SW Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4535
	HB Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4536
	FI Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4537
	NO Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4538
	PL Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4539
	PO Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4540
	RU Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4541
	HU Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4542
	CZ Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4543
	TR Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4544
	TH Win2000 リカバリー CD (モデル 11T, 21T, 22T, 31T)	32P4545
	GK Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4546
	Simplified Chinese Win2000 リカバリー CD (モデル 11C, 21C, 22C, 31C)	46P3993
	Taiwan-TC Win2000 リカバリー CD (モデル 11V, 21V, 22V, 31V)	46P3995
	Hong Kong-TC Win2000 リカバリー CD (モデル 11M, 21M, 22M, 31M)	46P3997

	キーボード (標準 PS/2 ブラック) - マシン・タイプ 6791	
	日本語	37L2584
	米国英語	32P5000
	アラビア語	32P5001
	ベルギー・フランス語	32P5002
	ベルギー語 /UK	32P5003
	ブルガリア語	32P5004

	キーボード (標準 PS/2 ブラック) - マシン・タイプ 6791	
	中国語 /US	32P5005
	チェコ語	32P5006
	デンマーク語	32P5007
	オランダ語	32P5008
	フランス語	32P5009
	カナダ・フランス語 058	32P5010
	カナダ・フランス語 445	32P5011
	ドイツ語	32P5012
	ギリシャ語	32P5013
	ヘブライ語	32P5014
	ハンガリー語	32P5015
	アイスランド	32P5016
	イタリア語	32P5017
	韓国語	32P5019
	LA スペイン語	32P5020
	ノルウェー語	32P5021
	ポーランド語	32P5022
	ポルトガル語	32P5023
	ルーマニア語	32P5024
	ロシア語	32P5025
	ロシア語キリル文字	32P5026
	セルビア語キリル文字	32P5027
	スロバキア語	32P5028
	スペイン語	32P5029
	スウェーデン語 / フィンランド語	32P5030
	スイス・フランス語 / ドイツ語	32P5031
	タイ	32P5032
	トルコ語 EURO フェーズ I	32P5033
	トルコ語 EURO フェーズ II	32P5034
	英国英語	32P5035
	米国 共通語 (US International)	32P5036
	ユーゴスラビア語 / ラテン語	32P5037
	ブラジル・ポルトガル語	32P5038

	キーボード (標準 PS/2 ホワイト) - マシン・タイプ 6791	
	日本語	37L2547
	米国英語	32P5040
	アラビア語	32P5041
	ベルギー・フランス語	32P5042
	ベルギー語 /UK	32P5043

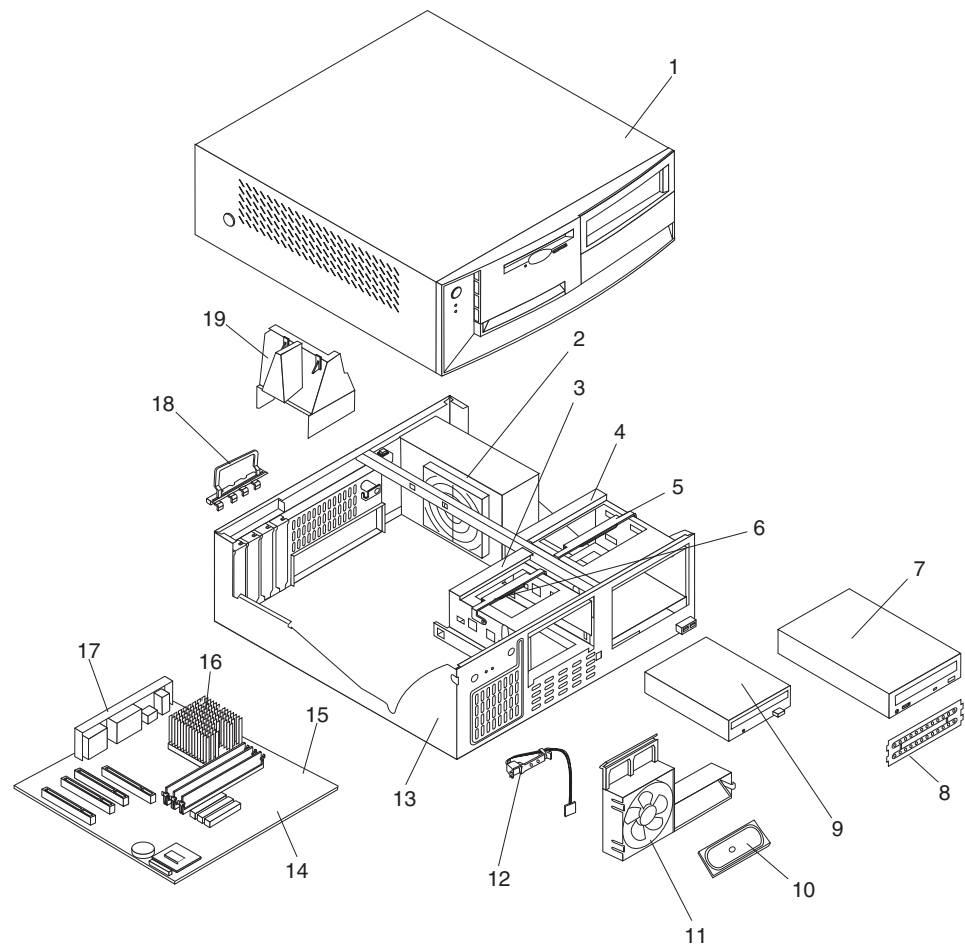
	キーボード (標準 PS/2 ホワイト) - マシン・タイプ 6791	
	ブルガリア語	32P5044
	中国語 /US	32P5045
	チェコ語	32P5046
	デンマーク語	32P5047
	オランダ語	32P5048
	フランス語	32P5049
	カナダ・フランス語 058	32P5050
	カナダ・フランス語 445	32P5051
	ドイツ語	32P5052
	ギリシャ語	32P5053
	ヘブライ語	32P5054
	ハンガリー語	32P5055
	アイスランド	32P5056
	イタリア語	32P5057
	韓国語	32P5059
	LA スペイン語	32P5060
	ノルウェー語	32P5061
	ポーランド語	32P5062
	ポルトガル語	32P5063
	ルーマニア語	32P5064
	ロシア語	32P5065
	ロシア語キリル文字	32P5066
	セルビア語キリル文字	32P5067
	スロバキア語	32P5068
	スペイン語	32P5069
	スウェーデン語 / フィンランド語	32P5070
	スイス・フランス語 / ドイツ語	32P5071
	タイ	32P5072
	トルコ語 EURO フェーズ I	32P5073
	トルコ語 EURO フェーズ II	32P5074
	英国英語	32P5075
	米国 共通語 (US International)	32P5076
	ユーゴスラビア語 / ラテン語	32P5077
	ブラジル・ポルトガル語	32P5078

	電源コード - Type 6791	
	日本 - 電源コード	39H0212
	日本 - 3P-2P 変換アダプター	13H8211
	Line Cord	6952301
	Line Cord	13F9939

	電源コード - Type 6791	
	Line Cord	34G0222
	Line Cord	13F9978
	Line Cord	14F0032
	Line Cord	13F9996
	Line Cord	14F0068
	Line Cord	36L8878
	Line Cord	02K0545
	Line Cord	14F0086
	Line Cord	14F0014
	Line Cord	14F0050

デスクトップ・モデル

Type 6792, 6793



	マシン・タイプ 6792	
1	上部カバー・アセンブリー (パール・ホワイト) (モデル 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 15G, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 26G, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J, 33G, 33J, 34J, 35J, 36J, 37J, 38J, 1EJ, 3HJ)	06P2732
1	上部カバー・アセンブリー (Stealth ブラック) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 15U, 15F, 21U, 21F, 21S, 21P, 22U, 22F, 22S, 22P, 23U, 23F, 25U, 25F, 31U, 31F, 31S, 31P, 32U, 32F, CAU, CBU, CCU, 24U, 33U, CTO)	19K7644
2	電源機構 185W PFC (11P, 11C, 21P, 21C, 22P, 22C, 31P, 31C を除く全モデル)	24P6883
2	電源機構 185W Wide Ranging (中国) (モデル 11P, 11C, 21P, 21C, 22P, 22C, 31P, 31C, CTO)	24P6885
3	3.5 インチ DASD ブラケット (全モデル)	25P4987
3	3.5 インチ DASD ブラケット (全モデル)	06P2734
4	5.25 インチ DASD ブラケット (全モデル)	09N5746
5	ハンドル - 5.25 インチ DASD ブラケット・ロック	09N5747
6	ハンドル - 3.5 インチ DASD ブラケット・ロック	09N5748
7	CD-ROM ドライブ 48X (ブラック) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 15U, 15F, 15G, 21U, 21F, 21S, 21P, 22U, 22F, 22S, 22P, 25U, 25F, 31U, 31F, 31S, 31P, CAU, CBU, CCU, CTO, 24U, 33U)	24P3605
7	CD-ROM 48X (ホワイト) (モデル 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 15G, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 26G, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31D, 31J, 33G, 33J, 34J, 35J, 36J, 1EJ, 3HJ)	24P3603
7	DVD-ROM 16X/48X (ブラック) (モデル 23U, 23F, 32U, 32F, CAU, CBU, CCU, CTO)	24P3623
7	CD/RW 12X/8X/32X (ブラック) (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	06P5161
7	CD/RW 12X/8X/32X (ホワイト) (モデル 37J, 38J)	06P5159
7	DVD-ROM/CD/RW コンボ (ブラック) (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	06P5289
7	DVD RAM 9.4GB 2X/6X/24X (ブラック) (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	19K1539
8	5.25 インチ EMC シールド	19K5296
9	3.5 インチ 1.44 M 2 モード・フロッピー・ディスク・ドライブ (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 11M, 11V, 11D, 15U, 15F, 15G, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 21M, 21V, 21D, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 22M, 22V, 22D, 23U, 23F, 25U, 25F, 26G, 24U, CBU, 33U, 33G, CTO)	75H9550
9	3.5 インチ 1.44 M 3 モード・フロッピー・ディスク・ドライブ (モデル 11A, 11T, 11C, 21A, 21T, 21C, CTO, 11J, 21J, 22J, 33J, 34J, 35J, 36J, 37J, 38J, 1EJ, 3HJ)	19K1543

	マシン・タイプ 6792	
10	スピーカー・アセンブリー - はんだ付けされた端子 (全モデル)	00N5151
10	スピーカー・アセンブリー - スペード形の端子 (全モデル)	01K4909
11	92mm ファン (グロメット付き) (全モデル)	33L2594
12	制御パネル (電源スイッチ) (全モデル)	37L5092
13	シャシー・アセンブリー (全モデル)	25P4682
14	システム・ボード (POV2 カードを含まない) (24U, 33U, 33G を除く全モデル)	25P5090
14	システム・ボード (POV2 カードを含む) (24U, 33U, 33G, CTO)	25P5091
15	プロセッサ - Intel P4 1.5GHz (モデル CTO)	25P5040
15	プロセッサ - Intel P4 1.6GHz (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 15U, 15F, CAU, 35J, 36J, 37J, 1EJ, CTO)	25P5114
15	プロセッサ - Intel P4 1.8GHz (モデル 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 23U, 23F, 25U, 25F, 26G, 24U, CBU, CTO)	25P5115
15	プロセッサ - Intel P4 2.0GHz (モデル 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J, 32U, 32F, 33U, 33G, CCU, 33J, 34J, 38J, 3HJ, CTO)	25P6177
15	ファン・シンク (1.3 ~ 1.8 GHz) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 15U, 15F, 15G, CAU, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 23U, 23F, 25U, 25F, 26G, 24U, CBU, 35J, 36J, 37J, 1EJ, CTO)	32P4002
15	ファン・シンク (1.9 ~ 2.2GHz) (モデル 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J, 32U, 32F, 33U, 33G, CCU, 33J, 34J, 38J, 3HJ, CTO)	32P4004
16	64MB メモリー (モデル CTO)	10K0056
16	128MB メモリー (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 15U, 15F, 15G, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 25U, 25F, 26G, CAU, CBU, CCU, 35J, 36J, 37J, 1EJ, CTO)	10K0058
16	256MB メモリー (モデル 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 23U, 23F, 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J, 32U, 32F, 24U, 33U, 33G, 33J, 34J, 38J, 3HJ, CTO)	10K0060
17	入出力カム・ブラケット (全モデル)	09N5757
19	エア・バッフル (全モデル)	06P2733
19	ファン・ダクト (全モデル)	32P4707
	保存モジュール・キット (全モデル)	24P4811

	マシン・タイプ 6792	
	ベゼル・キット (パール・ホワイト) (モデル 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 15G, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 26G, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J, 33G, 33J, 34J, 35J, 36J, 37J, 38J, 1EJ, 3HJ)	09N5732
	ベゼル・キット (Stealth ブラック) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 15U, 15F, 21U, 21F, 21S, 21P, 22U, 22F, 22S, 22P, 23U, 23F, 25U, 25F, 31U, 31F, 31S, 31P, 32U, 32F, CAU, CBU, CCU, 24U, 33U, CTO)	19K7645
	プレーナー位置決めラベル (全モデル)	25P4683
	CDT ブルー・ネームプレート (全モデル)	09N5733
	DASD レール・キット、ソフト・マウント・アセンブリー (クリップ付き) (全モデル)	19K5331
	DASD レール・キット、ソフト・マウント・アセンブリー (全モデル)	23P1328
	RFID アンテナ (モデル 24U, 33U, 33G, 33J, 34J, 35J, 36J, 37J, 38J, 1EJ, 3HJ)	03K9654
	キーロック・アセンブリー (モデル 24U, 33U, 33G 33J, 34J, 35J, 36J, 37J, 38J, 1EJ, 3HJ)	09K9829
	フット (4 つ) (全モデル)	03K9655
	C2 ケーブル (モデル 24U, 33U, 33G 33J, 34J, 35J, 36J, 37J, 38J, 1EJ, 3HJ)	09K9827
	1 次 IDE ケーブル (全モデル)	37L4525
	2 次 IDE ケーブル (全モデル)	37L5098
	2 次 IDE ケーブル (全モデル)	09N5929
	フロッピー・ディスク・ドライブ・ケーブル (全モデル)	33L2596
	CD-ROM オーディオ・ケーブル (全モデル)	75H9219
	ファン / スピーカー・ブラケット (全モデル)	09N5763
	その他のハードウェア・キット (全モデル)	09N5764
	プレーナー・シールド (全モデル)	25P4688
	シリアル・ケーブル	24P9065
	ファン・ブラケット・アセンブリー - 60mm ファン	22P3635
	20GB ハード・ディスク、Value EIDE ATA-100 (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	19K1560
	40GB ハード・ディスク、Value EIDE ATA-100 (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	19K1562
	60GB ハード・ディスク、Value EIDE ATA-100 (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	24P6006
	80GB ハード・ディスク、Value EIDE ATA-100 (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	06P5237
	20GB ハード・ディスク 7200rpm EIDE ATA-100 (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	19K1565
	40GB ハード・ディスク 7200rpm EIDE ATA-100 (全モデル)	19K1568

	マシン・タイプ 6792	
	60GB ハード・ディスク 7200rpm EIDE ATA-100 (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	19K1570
	80GB ハード・ディスク 7200rpm EIDE ATA-100 (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	24P3665
	マウス、2 ボタン PS/2 (ブラック) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 15U, 15F, 21U, 21F, 21S, 21P, 22U, 22F, 22S, 22P, 23U, 23F, 25U, 25F, 31U, 31F, 31S, 31P, 32U, 32F, CAU, CBU, CCU, 24U, 33U, CTO)	10L6149
	マウス、2 ボタン PS/2 (ホワイト) (モデル 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 15G, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 26G, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J, 33G, 33J, 34J, 35J, 36J, 37J, 38J, 1EJ, 3HJ)	10L6145
	16MB nVidia Vanta 4XAGP (全モデル)	25P4058
	nVidia GeForce2 MX-VGA のみ (モデル 23U, 23F, 32U, 32F, CTO)	25P5848
	nVidia GeForce2 MX-VGA/TVout (モデル CTO)	22P1069
	64MB nVidia GeForce2 GTS Pro (モデル CTO)	22P1390
	56k V.90 data/fax PCI モデム (US) (モデル CTO)	19K2965
	56k V.90 data/fax PCI モデム (WT) (モデル CTO)	19K2963
	1394 Firewire PCI-LP (モデル CTO)	22P6849
	PCMCIA/IEEE - 1394 コンポ PCI-LP (モデル CTO)	TBD
	Jazz Infinity、2 ピース Tier-1 (ブラック) (モデル CTO)	25P4726
	電源ブリック - 日本 (モデル xxJ)	10K2593
	電源ブリック - US、CE、CF、LA、台湾 (モデル CTO)	10K2587
	電源ブリック - 欧州 (英国以外) (モデル CTO)	10K2591
	電源ブリック - 香港 (2 ピン版) (モデル CTO)	10K2597
	電源ブリック - 香港 (3 ピン版) (モデル CTO)	25P5703
	電源ブリック - 英国 (北アイルランド、ウェールズ、GB、スコットランド、イングランド) (モデル CTO)	25P5703
	電源ブリック - オーストラリア、ニュージーランド (モデル CTO)	25P5705
	電源ブリック - ブラジル (モデル CTO)	10K2789

	リカバリー CD Win 98 - マシン・タイプ 6792	
	日本 Win 98 リカバリー CD (モデル 34J, 36J)	46P3986
	AP Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4496
	UK Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4497
	FR Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4498
	GR Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4427
	IT Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4501
	SP Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4502
	SW Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4508

	リカバリー CD Win 98 - マシン・タイプ 6792	
	DK Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4505
	NL Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4506
	AE Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4507
	SV Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4519
	HB Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4509
	FI Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4510
	NO Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4511
	PL Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4512
	PO Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4513
	RU Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4514
	HU Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4515
	SL Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4516
	CZ Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4517
	TR Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4518
	SK Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4519
	GK Win 98 リカバリー CD (モデル 28G)	32P4521

	リカバリー CD Win 2000 - マシン・タイプ 6792	
	日本 Win2000 リカバリー CD (モデル 33J, 35J, 37J, 38J)	46P3985
	US Win2000 リカバリー CD (モデル 11U, 21U, 22U, 23U, 25U, 31U, 32U, 24U, 33U, CAU, CBU, CCU, CTO)	32P4522
	AP Win2000 リカバリー CD (モデル 11A, 11D, 21A, 21D, 22A, 22D, 31A, 31D)	32P4523
	UK Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4524
	FR Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4525
	GR Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4526
	LA Win2000 リカバリー CD (モデル 11S, 21S, 22S, 31S)	32P4527
	IT Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4528
	CF Win2000 リカバリー CD (モデル 11F, 21F, 22F, 23F, 25F, 31F, 33F)	32P4529
	BR Win2000 リカバリー CD (モデル 11P, 21P, 22P, 31P)	32P4530
	SP Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4531
	DK Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4532
	NL Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4533
	AE Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4534

	リカバリー CD Win 2000 - マシン・タイプ 6792	
	SW Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4535
	HB Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4536
	FI Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4537
	NO Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4538
	PL Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4539
	PO Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4540
	RU Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4541
	HU Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4542
	CZ Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4543
	TR Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4544
	TH Win2000 リカバリー CD (モデル 11T, 21T, 22T, 31T)	32P4545
	GK Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G, 33G)	32P4546

	リカバリー CD XP Pro - マシン・タイプ 6792	
	日本 XP Pro リカバリー CD (モデル 1EJ, 3HJ)	46P4027

	キーボード (標準 PS/2 ブラック) - マシン・タイプ 6792	
	日本語	37L2584
	米国英語	32P5000
	アラビア語	32P5001
	ベルギー・フランス語	32P5002
	ベルギー語 /UK	32P5003
	ブルガリア語	32P5004
	中国語 /US	32P5005
	チェコ語	32P5006
	デンマーク語	32P5007
	オランダ語	32P5008
	フランス語	32P5009
	カナダ・フランス語 058	32P5010
	カナダ・フランス語 445	32P5011
	ドイツ語	32P5012

	キーボード (標準 PS/2 ブラック) - マシン・タイプ 6792	
	ギリシャ語	32P5013
	ヘブライ語	32P5014
	ハンガリー語	32P5015
	アイスランド	32P5016
	イタリア語	32P5017
	韓国語	32P5019
	LA スペイン語	32P5020
	ノルウェー語	32P5021
	ポーランド語	32P5022
	ポルトガル語	32P5023
	ルーマニア語	32P5024
	ロシア語	32P5025
	ロシア語キリル文字	32P5026
	セルビア語キリル文字	32P5027
	スロバキア語	32P5028
	スペイン語	32P5029
	スウェーデン語 / フィンランド語	32P5030
	スイス・フランス語 / ドイツ語	32P5031
	タイ	32P5032
	トルコ語 EURO フェーズ I	32P5033
	トルコ語 EURO フェーズ II	32P5034
	英国英語	32P5035
	米国 共通語 (US International)	32P5036
	ユーゴスラビア語 / ラテン語	32P5037
	ブラジル・ポルトガル語	32P5038

	キーボード (標準 PS/2 ホワイト) - マシン・タイプ 6792	
	日本語	37L2547
	米国英語	32P5040
	アラビア語	32P5041
	ベルギー・フランス語	32P5042
	ベルギー語 /UK	32P5043
	ブルガリア語	32P5044
	中国語 /US	32P5045
	チェコ語	32P5046
	デンマーク語	32P5047
	オランダ語	32P5048
	フランス語	32P5049
	カナダ・フランス語 058	32P5050
	カナダ・フランス語 445	32P5051

	キーボード (標準 PS/2 ホワイト) - マシン・タイプ 6792	
	ドイツ語	32P5052
	ギリシャ語	32P5053
	ヘブライ語	32P5054
	ハンガリー語	32P5055
	アイスランド	32P5056
	イタリア語	32P5057
	韓国語	32P5059
	LA スペイン語	32P5060
	ノルウェー語	32P5061
	ポーランド語	32P5062
	ポルトガル語	32P5063
	ルーマニア語	32P5064
	ロシア語	32P5065
	ロシア語キリル文字	32P5066
	セルビア語キリル文字	32P5067
	スロバキア語	32P5068
	スペイン語	32P5069
	スウェーデン語 / フィンランド語	32P5070
	スイス・フランス語 / ドイツ語	32P5071
	タイ	32P5072
	トルコ語 EURO フェーズ I	32P5073
	トルコ語 EURO フェーズ II	32P5074
	英国英語	32P5075
	米国 共通語 (US International)	32P5076
	ユーゴスラビア語 / ラテン語	32P5077
	ブラジル・ポルトガル語	32P5078

	電源コード - Type 6792	
	日本 - 電源コード	39H0212
	日本 - 3P-2P 変換アダプター	13H8211
	Line Cord	6952301
	Line Cord	13F9939
	Line Cord	34G0222
	Line Cord	13F9978
	Line Cord	14F0032
	Line Cord	13F9996
	Line Cord	14F0068
	Line Cord	36L8878
	Line Cord	02K0545
	Line Cord	14F0086

	電源コード - Type 6792	
	Line Cord	14F0014
	Line Cord	14F0050

	マシン・タイプ 6793	
1	上部カバー・アセンブリー (パール・ホワイト) (モデル 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J)	06P2732
1	上部カバー・アセンブリー (Stealth ブラック) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 21U, 21F, 21S, 21P, 22U, 22F, 22S, 22P, 31U, 31F, 31S, 31P)	19K7644
2	電源機構 185W PFC (11P, 11C, 21P, 21C, 22P, 22C, 31P, 31C を除く全モデル)	24P6883
2	電源機構 185W Wide Ranging (中国) (モデル 11P, 11C, 21P, 21C, 22P, 22C, 31P, 31C, CTO)	24P6885
3	3.5 インチ DASD ブラケット (全モデル)	25P4987
3	3.5 インチ DASD ブラケット (全モデル)	06P2734
4	5.25 インチ DASD ブラケット (全モデル)	09N5746
5	ハンドル - 5.25 インチ DASD ブラケット・ロック	09N5747
6	ハンドル - 3.5 インチ DASD ブラケット・ロック	09N5748
7	CD-ROM ドライブ 48X (ブラック) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 21U, 21F, 21S, 21P, 22U, 22F, 22S, 22P, 31U, 31F, 31S, 31P)	24P3605
7	CD-ROM 48X (ホワイト) (モデル 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31D, 31J)	24P3603
8	5.25 インチ EMC シールド	19K5296
9	3.5 インチ 1.44 M 2 モード・フロッピー・ディスク・ドライブ (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 11M, 11V, 11D, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 21M, 21V, 21D, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 22M, 22V, 22D)	75H9550
9	3.5 インチ 1.44 M 3 モード・フロッピー・ディスク・ドライブ (モデル 11A, 11T, 11C, 21A, 21T, 21C, CTO, 11J, 21J, 22J)	19K1543
10	スピーカー・アセンブリー - はんだ付けされた端子 (全モデル)	00N5151
10	スピーカー・アセンブリー - スペード形の端子 (全モデル)	01K4909
11	92mm ファン (グロメット付き) (全モデル)	33L2594
12	制御パネル (電源スイッチ) (全モデル)	37L5092
13	シャシー・アセンブリー (全モデル)	25P4682
14	システム・ボード (POV2 カードを含まない) (全モデル)	25P5090
15	プロセッサ - Intel P4 1.6GHz (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J)	25P5114

	マシン・タイプ 6793	
15	プロセッサ - Intel P4 1.8GHz (モデル 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J)	25P5115
15	プロセッサ - Intel P4 2.0GHz (モデル 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J)	25P6177
15	ファン・シンク (1.3 ~ 1.8 GHz) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J)	32P4002
15	ファン・シンク (1.9 ~ 2.2GHz) (モデル 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J)	32P4004
16	128MB メモリー (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 21U, 21F, 21S, 21P, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J)	10K0058
16	256MB メモリー (モデル 22U, 22F, 22S, 22P, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J)	10K0060
17	入出力カム・ブラケット (全モデル)	09N5757
19	エア・バッフル (全モデル)	06P2733
19	ファン・ダクト (全モデル)	32P4707
	保存モジュール・キット (全モデル)	24P4811
	ベゼル・キット (パール・ホワイト) (モデル 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J)	09N5732
	ベゼル・キット (Stealth ブラック) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 21U, 21F, 21S, 21P, 22U, 22F, 22S, 22P, 31U, 31F, 31S, 31P)	19K7645
	プレーナー位置決めラベル (全モデル)	25P4683
	CDT ブルー・ネームプレート (全モデル)	09N5733
	DASD レール・キット、ソフト・マウント・アセンブリー (クリップ付き) (全モデル)	19K5331
	DASD レール・キット、ソフト・マウント・アセンブリー (全モデル)	23P1328
	フット (4 つ) (全モデル)	03K9655
	1 次 IDE ケーブル (全モデル)	37L4525
	2 次 IDE ケーブル (全モデル)	37L5098
	2 次 IDE ケーブル (全モデル)	09N5929
	フロッピー・ディスク・ドライブ・ケーブル (全モデル)	33L2596
	CD-ROM オーディオ・ケーブル (全モデル)	75H9219
	ファン / スピーカー・ブラケット (全モデル)	09N5763
	その他のハードウェア・キット (全モデル)	09N5764
	プレーナー・シールド (全モデル)	25P4688
	シリアル・ケーブル	24P9065

	マシン・タイプ 6793	
	ファン・ブラケット・アセンブリー - 60mm ファン	22P3635
	40GB ハード・ディスク 7200rpm EIDE ATA-100 (全モデル)	19K1568
	マウス、2 ボタン PS/2 (ブラック) (モデル 11U, 11F, 11S, 11P, 21U, 21F, 21S, 21P, 22U, 22F, 22S, 22P, 31U, 31F, 31S, 31P)	10L6149
	マウス、2 ボタン PS/2 (ホワイト) (モデル 11G, 11A, 11T, 11C, 11M, 11V, 11D, 11J, 21G, 21A, 21T, 21C, 21M, 21V, 21D, 21J, 22G, 22A, 22T, 22C, 22M, 22V, 22D, 22J, 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J)	10L6145
	16MB nVidia Vanta 4XAGP (全モデル)	25P4058

	リカバリー CD Win 2000 - マシン・タイプ 6793	
	日本 Win2000 リカバリー CD (モデル xxJ)	46P3985
	US Win2000 リカバリー CD (モデル 11U, 21U, 22U, 31U)	32P4522
	AP Win2000 リカバリー CD (モデル 11A, 11D, 21A, 21D, 22A, 22D, 31A, 31D)	32P4523
	UK Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4524
	FR Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4525
	GR Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4526
	LA Win2000 リカバリー CD (モデル 11S, 21S, 22S, 31S)	32P4527
	IT Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4528
	CF Win2000 リカバリー CD (モデル 11F, 21F, 22F, 31F)	32P4529
	BR Win2000 リカバリー CD (モデル 11P, 21P, 22P, 31P)	32P4530
	SP Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4531
	DK Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4532
	NL Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4533
	AE Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4534
	SW Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4535
	HB Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4536
	FI Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4537
	NO Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4538
	PL Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4539
	PO Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4540
	RU Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4541
	HU Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4542
	CZ Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4543
	TR Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4544
	TH Win2000 リカバリー CD (モデル 11T, 21T, 22T, 31T)	32P4545
	GK Win2000 リカバリー CD (モデル 11G, 21G, 22G, 31G)	32P4546

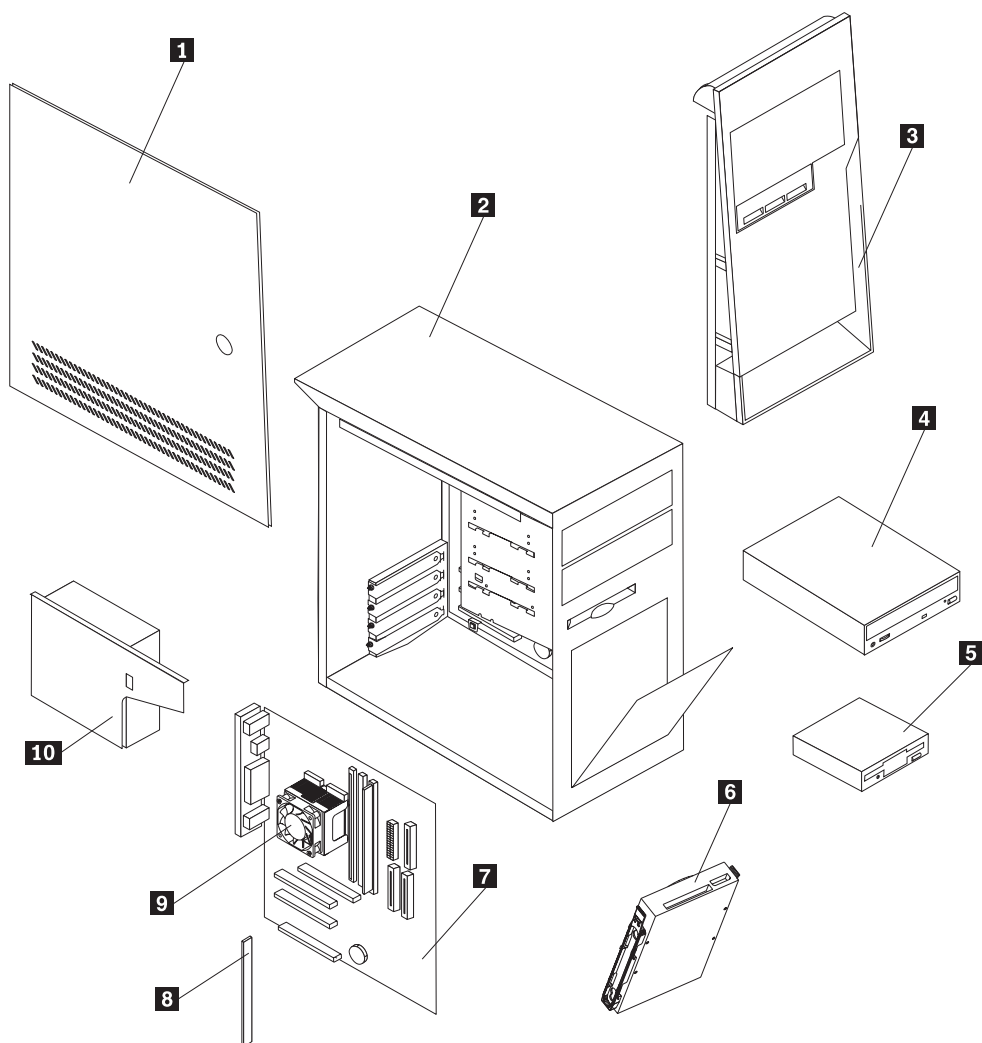
	キーボード (標準 PS/2 ブラック) - マシン・タイプ 6793	
	日本語	37L2584
	米国英語	32P5000
	アラビア語	32P5001
	ベルギー・フランス語	32P5002
	ベルギー語 /UK	32P5003
	ブルガリア語	32P5004
	中国語 /US	32P5005
	チェコ語	32P5006
	デンマーク語	32P5007
	オランダ語	32P5008
	フランス語	32P5009
	カナダ・フランス語 058	32P5010
	カナダ・フランス語 445	32P5011
	ドイツ語	32P5012
	ギリシャ語	32P5013
	ヘブライ語	32P5014
	ハンガリー語	32P5015
	アイスランド	32P5016
	イタリア語	32P5017
	韓国語	32P5019
	LA スペイン語	32P5020
	ノルウェー語	32P5021
	ポーランド語	32P5022
	ポルトガル語	32P5023
	ルーマニア語	32P5024
	ロシア語	32P5025
	ロシア語キリル文字	32P5026
	セルビア語キリル文字	32P5027
	スロバキア語	32P5028
	スペイン語	32P5029
	スウェーデン語 / フィンランド語	32P5030
	スイス・フランス語 / ドイツ語	32P5031
	タイ	32P5032
	トルコ語 EURO フェーズ I	32P5033
	トルコ語 EURO フェーズ II	32P5034
	英国英語	32P5035
	米国 共通語 (US International)	32P5036
	ユーゴスラビア語 / ラテン語	32P5037
	ブラジル・ポルトガル語	32P5038

	キーボード (標準 PS/2 ホワイト) - マシン・タイプ 6793	
	日本語	37L2547
	米国英語	32P5040
	アラビア語	32P5041
	ベルギー・フランス語	32P5042
	ベルギー語 /UK	32P5043
	ブルガリア語	32P5044
	中国語 /US	32P5045
	チェコ語	32P5046
	デンマーク語	32P5047
	オランダ語	32P5048
	フランス語	32P5049
	カナダ・フランス語 058	32P5050
	カナダ・フランス語 445	32P5051
	ドイツ語	32P5052
	ギリシャ語	32P5053
	ヘブライ語	32P5054
	ハンガリー語	32P5055
	アイスランド	32P5056
	イタリア語	32P5057
	韓国語	32P5059
	LA スペイン語	32P5060
	ノルウェー語	32P5061
	ポーランド語	32P5062
	ポルトガル語	32P5063
	ルーマニア語	32P5064
	ロシア語	32P5065
	ロシア語キリル文字	32P5066
	セルビア語キリル文字	32P5067
	スロバキア語	32P5068
	スペイン語	32P5069
	スウェーデン語 / フィンランド語	32P5070
	スイス・フランス語 / ドイツ語	32P5071
	タイ	32P5072
	トルコ語 EURO フェーズ I	32P5073
	トルコ語 EURO フェーズ II	32P5074
	英国英語	32P5075
	米国 共通語 (US International)	32P5076
	ユーゴスラビア語 / ラテン語	32P5077
	ブラジル・ポルトガル語	32P5078

	電源コード - Type 6793	
	日本 - 電源コード	39H0212
	日本 - 3P-2P 変換アダプター	13H8211
	Line Cord	6952301
	Line Cord	13F9939
	Line Cord	34G0222
	Line Cord	13F9978
	Line Cord	14F0032
	Line Cord	13F9996
	Line Cord	14F0068
	Line Cord	36L8878
	Line Cord	02K0545
	Line Cord	14F0086
	Line Cord	14F0014
	Line Cord	14F0050

マイクロタワー・モデル

Type 6795, 6823



マシン・タイプ 6795		
1	側面カバー・アセンブリー (Raven ブラック) (モデル 31U, 31F, 31S, 31P)	25P0066
1	側面カバー・アセンブリー (パール・ホワイト) (モデル 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J)	25P0001
2	シャーシ、支柱付き (全モデル)	25P0064
3	前面ベゼル・アセンブリー (Raven ブラック) (モデル 31U, 31F, 31S, 31P)	25P0067
3	前面ベゼル・アセンブリー (パール・ホワイト) (モデル 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J)	25P0007
4	CD-ROM ドライブ 48X (ブラック) (モデル 31U, 31F, 31S, 31P)	24P3605
4	CD-ROM 48X (ホワイト) (モデル 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J)	24P3603

	マシン・タイプ 6795	
5	3.5 インチ 1.44 M 2 モード・フロッピー・ディスク・ドライブ (モデル 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, 31C, 31M, 31V, 31D)	75H9550
5	3.5 インチ 1.44 M 3 モード・フロッピー・ディスク・ドライブ (モデル 31A, 31T, 31J)	19K1543
6	40GB ハード・ディスク 7200rpm EIDE ATA-100 (全モデル)	19K1568
7	システム・ボード (POV2 カードを含まない) (全モデル)	25P5090
8	256MB メモリー 133MHz (全モデル)	10K0060
9	ファン・シンク (1.9 ~ 2.2GHz) (全モデル)	32P4004
10	電源機構 185W PFC (モデル 31U, 31F, 31S, 31P, 31G, 31A, 31T, 31M, 31V, 31D, 31J)	24P6883
10	電源機構 185W PFC (中国) (モデル 31P, 31C)	24P6885
	プロセッサ - Intel P4 2.0GHz (全モデル)	25P6177
	保存モジュール・キット (全モデル)	24P4811
	L 字型カバー (Raven ブラック) (モデル 31U, 31F, 31S, 31P)	25P0065
	L 字型カバー (パール・ホワイト) (モデル 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J)	25P0075
	ベゼル・ブランク・キット (全モデル)	25P0068
	前面ベゼル解放アーム (全モデル)	25P0069
	入出力カード・リテーナー (全モデル)	25P0070
	DASD レール・キット、ソフト・マウント (クリップ付き) (全モデル)	19K5331
	フロッピー・ディスク・ドライブ・ケーブル (全モデル)	01K1513
	オーディオ・ケーブル (全モデル)	75H9219
	デュアル USB ケーブル (全モデル)	22P1188
	1 次 IDE ケーブル (全モデル)	37L4525
	2 次 IDE ケーブル (全モデル)	37L5098
	スピーカー・アセンブリー (全モデル)	00N5151
	5.25 インチ EMC シールド (全モデル)	19K5548
	3.5 インチ EMC シールド (全モデル)	25P0071
	ハード・ディスク・ドライブ・ブラケット・アセンブリー (全モデル)	25P0072
	電源機構ブラケット (全モデル)	25P0073
	ゴム製フット	03K9655
	制御パネル・アセンブリー	25P0074
	その他のハードウェア・キット	09N5764
	プレーナー EMC シールド・キット	25P0078
	電源パネル・キット	25P0079
	トリム・ベゼル・キット	25P0090

	マシン・タイプ 6795	
	マウス、2 ボタン PS/2 (ブラック) (モデル 31U, 31F, 31S, 31P)	10L6149
	マウス、2 ボタン PS/2 (ホワイト) (モデル 31G, 31A, 31T, 31C, 31M, 31V, 31D, 31J)	10L6145
	16MB nVidia Vanta 4XAGP (全モデル)	25P4058

	リカバリー CD Win 2000 - マシン・タイプ 6795	
	日本 Win2000 リカバリー CD (モデル xxJ)	46P3985
	US Win2000 リカバリー CD (モデル 31U)	32P4522
	AP Win2000 リカバリー CD (モデル 31A, 31D)	32P4523
	UK Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4524
	FR Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4525
	GR Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4526
	LA Win2000 リカバリー CD (モデル 31S)	32P4527
	IT Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4528
	CF Win2000 リカバリー CD (モデル 31F)	32P4529
	BR Win2000 リカバリー CD (モデル 31P)	32P4530
	SP Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4531
	DK Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4532
	NL Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4533
	AE Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4534
	SW Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4535
	HB Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4536
	FI Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4537
	NO Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4538
	PL Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4539
	PO Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4540
	RU Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4541
	HU Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4542
	CZ Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4543
	TR Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4544
	TH Win2000 リカバリー CD (モデル 31T)	32P4545
	GK Win2000 リカバリー CD (モデル 31G)	32P4546
	Simplified Chinese Win2000 リカバリー CD (モデル 31C)	46P3993
	Taiwan-TC Win2000 リカバリー CD (モデル 31V)	46P3995
	Hong Kong-TC Win2000 リカバリー CD (モデル 31M)	46P3997

	キーボード (標準 PS/2 ブラック) - マシン・タイプ 6795	
	米国英語 (モデル 31U)	32P5000
	カナダ・フランス語 058 (モデル 31F)	32P5010
	カナダ・フランス語 445 (モデル 31F)	32P5011

	キーボード (標準 PS/2 ブラック) - マシン・タイプ 6795	
	LA スペイン語 (モデル 31S)	32P5020
	ブラジル・ポルトガル語 (モデル 31P)	32P5038

	キーボード (標準 PS/2 ホワイト) - マシン・タイプ 6795	
	日本語 (モデル xxJ)	37L2547
	米国英語 (モデル 31A, 31D)	32P5040
	アラビア語 (モデル 31G)	32P5041
	ベルギー・フランス語 (モデル 31G)	32P5042
	ベルギー語 /UK (モデル 31G)	32P5043
	ブルガリア語 (モデル 31G)	32P5044
	チェコ語 (モデル 31G)	32P5046
	デンマーク語 (モデル 31G)	32P5047
	オランダ語 (モデル 31G)	32P5048
	フランス語 (モデル 31G)	32P5049
	ドイツ語 (モデル 31G)	32P5052
	ギリシャ語 (モデル 31G)	32P5053
	ヘブライ語 (モデル 31G)	32P5054
	ハンガリー語 (モデル 31G)	32P5055
	アイスランド (モデル 31G)	32P5056
	イタリア語 (モデル 31G)	32P5057
	ノルウェー語 (モデル 31G)	32P5061
	ポーランド語 (モデル 31G)	32P5062
	ポルトガル語 (モデル 31G)	32P5063
	ルーマニア語 (モデル 31G)	32P5064
	ロシア語 (モデル 31G)	32P5065
	ロシア語キリル文字 (モデル 31G)	32P5066
	セルビア語キリル文字 (モデル 31G)	32P5067
	スロバキア語 (モデル 31G)	32P5068
	スペイン語 (モデル 31G)	32P5069
	スウェーデン語 / フィンランド語 (モデル 31G)	32P5070
	スイス・フランス語 / ドイツ語 (モデル 31G)	32P5071
	タイ (モデル 31T)	32P5072
	トルコ語 EURO フェーズ I (モデル 31G)	32P5073
	トルコ語 EURO フェーズ II (モデル 31G)	32P5074
	英国英語 (モデル 31G)	32P5075
	ユーゴスラビア語 / ラテン語 (モデル 31G)	32P5077

	電源コード - Type 6795	
	日本 - 電源コード	39H0212
	日本 - 3P-2P 変換アダプター	13H8211

	電源コード - Type 6795	
	Line Cord	6952301
	Line Cord	13F9939
	Line Cord	34G0222
	Line Cord	13F9978
	Line Cord	14F0032
	Line Cord	13F9996
	Line Cord	14F0068
	Line Cord	36L8878
	Line Cord	02K0545
	Line Cord	14F0086
	Line Cord	14F0014
	Line Cord	14F0050

	マシン・タイプ 6823	
1	側面カバー・アセンブリー (Raven ブラック) (全モデル)	25P0066
2	シャーシ、支柱付き (全モデル)	25P0064
3	前面ベゼル・アセンブリー (Raven ブラック) (全モデル)	25P0067
4	CD-ROM ドライブ 48X (ブラック) (モデル 91U, 91G, 18G, CAU, CBU, CCU, CTO, 91A, 19A, 19T, 2FA, 2FT)	24P3605
4	DVD-ROM 16X/48X (ブラック) (モデル 94M, 94V, 13G, 16M, 16V, 29C, 2AM, 2AV, CAU, CBU, CCU, CTO)	24P3623
4	CD/RW 12X/8X/32X (ブラック) (モデル 23U, 23F, 21U, 14A, 12U, 93A, 16M, 16V, 29C, 2AM, 2AV, CAU, CBU, CCU, CTO, 2EA, 2ET, 21A)	06P5161
4	DVD-ROM/CD/RW コンボ (ブラック) (モデル 92U, 92F, 11U, 15C, 17J, 22U, 24U, 24F, 25S, 25P, 27A, 28C, 2BJ, 2CJ, 2DG, CAU, CBU, CCU, CTO, 37M, 37V, 37D, 38A, 38T, 35J)	06P5289
4	DVD RAM 9.4GB 2X/6X/24X (ブラック) (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	19K1539
5	3.5 インチ 1.44 M 2 モード・フロッピー・ディスク・ドライブ (モデル 91U, 91G, 92U, 92F, 94M, 94V, 11U, 12U, 13G, 15C, 16M, 16V, 18G, 21U, 22U, 23U, 23F, 24U, 24F, 25S, 25P, 2AM, 2AV, 2DG, 31U, 32U, 32F, 36G, CAU, CBU, CCU, CTO, 37M, 37V, 37D, 35J)	75H9550
5	3.5 インチ 1.44 M 3 モード・フロッピー・ディスク・ドライブ (モデル 93A, 14A, 27A, 28C, 29C, 33A, 34C, CTO, 91A, 19A, 19T, 2EA, 2ET, 2FA, 2FT, 38A, 38T, 21A)	19K1543
6	20GB ハード・ディスク、Value EIDE ATA-100 (モデル 91U, 91G, 93A, 18G, CAU, CBU, CCU, CTO, 91A, 19A, 19T, 2FA, 2FT)	19K1560
6	40GB ハード・ディスク、Value EIDE ATA-100 (モデル 92U, 92F, 11U, 12U, 13G, 24U, 24F, CAU, CBU, CCU, CTO)	19K1562

	マシン・タイプ 6823	
6	60GB ハード・ディスク、Value EIDE ATA-100 (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	24P6006
6	80GB ハード・ディスク、Value EIDE ATA-100 (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	06P5237
6	20GB ハード・ディスク 7200rpm EIDE ATA-100 (モデル CAU, CBU, CCU, CTO)	19K1565
6	40GB ハード・ディスク 7200rpm EIDE ATA-100 (モデル 14A, 15C, 16M, 16V, 21U, 28C, 2AM, 2AV, 2DG, 36G, CAU, CBU, CCU, CTO, 94M, 94V, 2EA, 2ET, 21A)	19K1568
6	60GB ハード・ディスク 7200rpm EIDE ATA-100 (モデル 17J, 23U, 23F, 27A, 29C, 2BJ, 34C, CAU, CBU, CCU, CTO)	19K1570
6	80GB ハード・ディスク 7200rpm EIDE ATA-100 (モデル 22U, 25S, 25P, 2CJ, 31U, 32U, 32F, 35J, CAU, CBU, CCU, CTO, 37M, 37V, 37D, 38A, 38T, 33A)	24P3665
7	システム・ボード (POV2 カードを含まない) (全モデル)	25P5090
9	ファン・シンク (1.3 ~ 1.8 GHz) (31U, 32U, 32F, 33A, 34C, 35J, 36G, CCU, 37M, 37V, 37D, 38A, 38T を除く全モデル)	32P4002
9	ファン・シンク (1.9 ~ 2.2GHz) (モデル 31U, 32U, 32F, 33A, 34C, 35J, 36G, CCU, CTO, 37M, 37V, 37D, 38A, 38T)	32P4004
8	64MB メモリー 133MHz (モデル CTO)	10K0056
8	128MB メモリー 133MHz (モデル 91U, 91G, 92U, 92F, 93A, 94M, 94V, 11U, 12U, 13G, 14A, 16M, 16V, 17J, 18G, 21U, 22U, 23U, 23F, 28C, 2AM, 2AV, 2BJ, CAU, CBU, CCU, CTO, 91A, 19A, 19T, 2EA, 2ET, 21A)	10K0058
8	256MB メモリー 133MHz (モデル 22U, 24U, 24F, 25S, 25P, 27A, 29C, 2CJ, 2DG, 31U, 32U, 32F, 33A, 34C, 35J, 36G, CTO, 2FA, 2FT, 37M, 37V, 37D, 38A, 38T)	10K0060
10	電源機構 185W PFC (15C, 25P, 28C, 29C を除く全モデル)	24P6883
10	電源機構 185W Wide Ranging (中国) (モデル 15C, 25P, 28C, 29C, CTO)	24P6885
	プロセッサ - Intel P4 1.5GHz (モデル 91U, 91G, 92U, 92F, 93A, 94M, 94V, CTO, 91A)	25P5040
	プロセッサ - Intel P4 1.6GHz (モデル 11U, 12U, 13G, 14A, 15C, 16M, 16V, 17J, 18G, CAU, CTO, 19A, 19T)	25P5114
	プロセッサ - Intel P4 1.8GHz (モデル 21U, 22U, 23U, 23F, 24U, 24F, 25S, 25P, 27A, 28C, 29C, 2AM, 2AV, 2BJ, 2CJ, 2DG, CBU, CTO, 2EA, 2ET, 2FA, 2FT, 21A)	25P5115
	プロセッサ - Intel P4 2.0GHz (モデル 31U, 32U, 32F, 33A, 34C, 35J, 36G, CCU, CTO, 37M, 37V, 37D, 38A, 38T)	25P6177
	保存モジュール・キット (全モデル)	24P4811
	L 字型カバー (Raven ブラック) (全モデル)	25P0065
	ベゼル・ブランク・キット (全モデル)	25P0068
	前面ベゼル解放アーム (全モデル)	25P0069

	マシン・タイプ 6823	
	入出力カード・リテーナー (全モデル)	25P0070
	DASD レール・キット、ソフト・マウント (クリップ付き) (全モデル)	19K5331
	フロッピー・ディスク・ドライブ・ケーブル (全モデル)	01K1513
	デュアル USB ケーブル (全モデル)	22P1188
	1 次 IDE ケーブル (全モデル)	37L4525
	2 次 IDE ケーブル (全モデル)	37L5098
	スピーカー・アセンブリー (全モデル)	00N5151
	5.25 インチ EMC シールド (全モデル)	19K5548
	3.5 インチ EMC シールド (全モデル)	25P0071
	ハード・ディスク・ドライブ・ブラケット・アセンブリー (全モデル)	25P0072
	電源機構ブラケット (全モデル)	25P0073
	ゴム製フット (全モデル)	03K9655
	制御パネル・アセンブリー (全モデル)	25P0074
	その他のハードウェア・キット (全モデル)	09N5764
	プレーナー EMC シールド・キット (全モデル)	25P0078
	電源パネル・キット (全モデル)	25P0079
	トリム・ベゼル・キット (全モデル)	25P0090
	PCMCIA アセンブリー (モデル 17J, 2BJ, 2CJ, 35J, CAU, CBU, CCU, CTO)	25P0091
	オーディオ・ケーブル (全モデル)	25P4974
	1394 ケーブル (6 ピン) (モデル 12U, 17J, 21U, 22U, 27A, 2BJ, 2CJ, 31U, 33A, 35J, CAU, CBU, CCU, CTO, 38A, 38T, 2FA, 2FT, 2EA, 2ET, 14A, 14T, 7T)	25P0084
	PCMCIA ATA-66 ケーブル (モデル 17J, 2BJ, 2CJ, 35J, CAU, CBU, CCU, CTO)	25P4976
	オーディオ・カード・アセンブリー (2 つのオーディオのみ) (モデル 91U, 91G, 92U, 92F, 93A, 94M, 94V, 11U, 13G, 15C, 18G, 23U, 23F, 24U, 24F, 25S, 25P, 28C, 2DG, 32U, 32F, 36G, CAU, CBU, CCU, CTO, 16M, 16V, 19A, 19T, 29C, 2AM, 2AV, 34C, 37M, 37V, 37D)	25P0954
	オーディオ・カード・アセンブリー (2 つのオーディオ /Firewire) (モデル 12U, 21U, 22U, 27A, 29C, 31U, 33A, CAU, CBU, CCU, CTO, 14A, 14T, 2EA, 2ET, 27T, 2FA, 2FT, 38A, 38T)	32P4704
	SPDIF カード・アセンブリー (2 つのオーディオ /Firewire/SPDIF) (モデル 17J, 2BJ, 2CJ, 35J, CAU, CBU, CCU, CTO)	32P4707
	オーディオ /SPDIF ケーブル (前面パネル) (モデル 17J, 2BJ, 2CJ, 35J, CAU, CBU, CCU, CTO)	25P0002
	マウス、2 ボタン PS/2 (ブラック) (モデル CTO)	10L6149
	マウス、2 ボタン PS/2 (ホワイト) (モデル CTO)	10L6145

	マシン・タイプ 6823	
	マウス、USB ScrollPoint-III (ブラック) (モデル 91U, 91G, 92U, 92F, 94M, 94V, 11U, 12U, 13G, 15C, 16M, 16V, 17J, 18G, 21U, 22U, 23U, 23F, 24U, 24F, 25S, 25P, 28C, 29C, 2AM, 2AV, 2BJ, 2CJ, 2DG, 31U, 32U, 32F, 34C, 35J, 26G, CAU, CBU, CCU, CTO, 91A, 37M, 37V, 37D, 21A)	
	16MB nVidia Vanta 4XAGP (モデル 91U, 91G, 92U, 92F, 93A, 18G, CAU, CBU, CCU, CTO, 91A, 19A, 19T)	25P4058
	nVidia GeForce2 MX-VGA のみ (モデル 94M, 94V, 11U, 12U, 13G, 14A, 15C, 16M, 16V, 21U, 23U, 23F, 25S, 25P, 27A, 28C, 2AM, 2AV, 33A, CTO, 2EA, 2ET, 37M, 37V, 37D, 38A, 38T, 21A)	25P5848
	nVidia GeForce2 MX-VGA/TVout (モデル 17J, 22U, 24U, 24F, 28C, 2BJ, 2CJ, 2DG, CTO, 2FA, 2FT, 35J)	22P1069
	64MB nVidia GeForce2 GTS Pro (モデル 36G, CTO)	22P1390
	56k V.90 data/fax PCI モデム (US) (モデル 91U, 91G, 92U, 92F, 94M, 94V, 11U, 12U, 15C, 16M, 16V, 17J, 21U, 22U, 23U, 23F, 24U, 24F, 25S, 25P, 28C, 29C, 2AM, 2AV, 2BJ, 2CJ, 31U, 32U, 32F, 34C, 35J, CAU, CBU, CCU, CTO, 19T, 2ET, 2FT, 37M, 37V, 37D, 38T)	19K2965
	56k V.90 data/fax PCI モデム (WT) (モデル 33A, 14A, 93A, 27A, 91G, 18G, 13G, 2DG, 36G, CAU, CBU, CCU, CTO, 91A, 19A, 2EA, 2FA, 38A, 21A, 35J)	19K2963
	1394 Firewire PCI-LP (モデル 12U, 21U, 22U, 27A, 31U, 33A, CAU, CBU, CCU, CTO, 14A, 14T, 2EA, 2ET, 27T, 2FA, 2FT, 38A, 38T)	22P6849
	PCMCIA/IEEE - 1394 コンポ PCI-LP (モデル 17J, 2BJ, 2CJ, 35J, CAU, CBU, CCU, CTO)	32P4742
	Jazz Infinity、2 ピース Tier-1 (ブラック) (全モデル)	25P4726
	電源ブリック - 日本 (モデル 17J, 2BJ, 2CJ, 35J, CTO)	10K2593
	電源ブリック - US、CE、CF、LA、台湾 (モデル 91U, 91G, 92U, 11U, 12U, 21U, 22U, 23U, 24U, 31U, 32U, CAU, CBU, CCU, CTO, 92F, 23F, 24F, 25S, 25P, 37V)	10K2587
	電源ブリック - 欧州 (英国以外) (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 36G, CTO)	10K2591
	電源ブリック - 香港 (2 ピン版) (モデル 94M, 16M, 2AM, CTO, 37M, 37D)	10K2597
	電源ブリック - ホンコン (3 ピン版) (モデル 94M, 16M, 2AM, CTO, 37M, 37D)	25P5703
	電源ブリック - 英国 (北アイルランド、ウェールズ、GB、スコットランド、イングランド) (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 36G, CTO)	25P5703
	電源ブリック - オーストラリア、ニュージーランド (モデル 33A, 14A, 93A, 27A, CTO, 91A, 19A, 19T, 2FA, 2FT, 38A, 38T, 21A)	25P5705
	電源ブリック - ブラジル (モデル 25P, CTO)	10K2789

	リカバリー CD XP Home - マシン・タイプ 6823	
	日本語 XP Home リカバリー CD (モデル 17J, 2BJ, 2CJ, 35J)	46P4028
	US XP Home リカバリー CD (モデル 91U, 11U, 21U, 22U, 92U, 23U, 24U, 31U, 32U, 14T, 19T, 2ET, 27T, 2FT, 38T, 14A, 19A, 2EA, 27A, 2FA, 38A, 37D, 91G, 13G, 18G, 2DG, 36G)	33P1881
	FR XP Home リカバリー CD (モデル 92F, 23F, 24F, 32F, 91G, 13G, 18G, 2DG, 36G)	33P1890
	GR XP Home リカバリー CD (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1893
	IT XP Home リカバリー CD (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1899
	BR XP Home リカバリー CD (モデル 25P)	33P1905
	SP XP Home リカバリー CD (モデル 25S, 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1908
	DK XP Home リカバリー CD (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1911
	NL XP Home リカバリー CD (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1914
	AE XP Home リカバリー CD (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1917
	SV XP Home リカバリー CD (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1920
	HE XP Home リカバリー CD (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1923
	FI XP Home リカバリー CD (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1926
	NO XP Home リカバリー CD (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1929
	PL XP Home リカバリー CD (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1932
	PO XP Home リカバリー CD (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1935
	RU XP Home リカバリー CD (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1938
	HU XP Home リカバリー CD (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1941
	SL XP Home リカバリー CD (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1944
	CZ XP Home リカバリー CD (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1947
	TR XP Home リカバリー CD (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1950
	SK XP Home リカバリー CD (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1953

	リカバリー CD XP Home - マシン・タイプ 6823	
	GK XP Home リカバリー CD (モデル 91G, 13G, 18G, 2DG, 38G)	33P1959
	Simplified Chinese XP Home リカバリー CD (モデル 14C, 28C, 29C, 34C)	46P4024
	Hong Kong-TC XP Home リカバリー CD (モデル 94M, 16M, 2AM, 37M)	46P4026
	Taiwan-TC XP Home リカバリー CD (モデル 94V, 16V, 2AV, 37V)	46P4025

	キーボード (USB ブラック) - マシン・タイプ 6823	
	日本語 *	19K1928
	米国英語	19K1910
	アラビア語	19K1911
	ベルギー・フランス語	19K1912
	ベルギー語 /UK	19K1913
	ブルガリア語	19K1914
	中国語 /US	19K1915
	チェコ語	19K1916
	デンマーク語	19K1917
	オランダ語	19K1918
	フランス語	19K1919
	カナダ・フランス語 058	19K1920
	カナダ・フランス語 445	19K1921
	ドイツ語	19K1922
	ギリシャ語	19K1923
	ヘブライ語	19K1924
	ハンガリー語	19K1925
	アイスランド	19K1926
	イタリア語	19K1927
	日本語	19K1928
	韓国語	19K1929
	LA スペイン語	19K1930
	ノルウェー語	19K1931
	ポーランド語	19K1932
	ポルトガル語	19K1933
	ルーマニア語	19K1934
	ロシア語	19K1935
	ロシア語キリル文字	19K1936
	セルビア語キリル文字	19K1937
	スロバキア語	19K1938
	スペイン語	19K1939

	キーボード (USB ブラック) - マシン・タイプ 6823	
	スウェーデン語 / フィンランド語	19K1940
	スイス・フランス語 / ドイツ語	19K1941
	タイ	19K1942
	トルコ語 EURO フェーズ I	19K1943
	トルコ語 EURO フェーズ II	19K1944
	英国英語	19K1945
	米国 共通語 (US International)	19K1946
	ユーゴスラビア語 / ラテン語	19K1947
	ブラジル・ポルトガル語	19K1948

	キーボード / マウス・コンボ (ワイヤレス・デスクトップ・キット、ブラック) - マシン・タイプ 6823	
	米国英語 (モデル 14A, 27A, 33A, CTO, 19A, 2EA, 2FA, 38A)	22P5183
	アラビア語 (モデル CTO)	22P7250
	ベルギー・フランス語 (モデル CTO)	22P7251
	ベルギー語 /UK (モデル CTO)	22P7252
	ブラジル・ポルトガル語 (モデル CTO)	22P7253
	ブルガリア語 (モデル CTO)	22P7254
	中国語 /US (モデル CTO)	22P7255
	チェコ語 (モデル CTO)	22P7256
	デンマーク語 (モデル CTO)	22P7257
	オランダ語 (モデル CTO)	22P7258
	フランス語 (モデル CTO)	22P7259
	カナダ・フランス語 058 (モデル CTO)	22P7260
	カナダ・フランス語 445 (モデル CTO)	22P7261
	ドイツ語 (モデル CTO)	22P7262
	ギリシャ語 (モデル CTO)	22P7263
	ヘブライ語 (モデル CTO)	22P7264
	ハンガリー語 (モデル CTO)	22P7265
	アイスランド (モデル CTO)	22P7266
	イタリア語 (モデル CTO)	22P7267
	日本語 (モデル CTO)	22P7268
	LA スペイン語 (モデル CTO)	22P7269
	ノルウェー語 (モデル CTO)	22P7270
	ポーランド語 (モデル CTO)	22P7271
	ポルトガル語 (モデル CTO)	22P7272
	ルーマニア語 (モデル CTO)	22P7273
	ロシア語 (モデル CTO)	22P7274
	ロシア語キリル文字 (モデル CTO)	22P7275
	セルビア語キリル文字 (モデル CTO)	22P7276

	キーボード / マウス・コンボ (ワイヤレス・デスクトップ・キット、ブラック) - マシン・タイプ 6823	
	スロバキア語 (モデル CTO)	22P7277
	スペイン語 (モデル CTO)	22P7278
	スウェーデン語 / フィンランド語 (モデル CTO)	22P7279
	スイス・フランス語 / ドイツ語 (モデル CTO)	22P7280
	タイ (モデル CTO, 19T, 2ET, 2FT, 38T)	22P7281
	トルコ語 EURO フェーズ I (モデル CTO)	22P7282
	トルコ語 EURO フェーズ II (モデル CTO)	22P7283
	英国英語 (モデル CTO)	22P7284
	米国 共通語 (US International) (モデル CTO)	22P7285
	ユーゴスラビア語 / ラテン語 (モデル CTO)	22P7286
	ワイヤレス・レシーバー (モデル CTO)	22P7287

	電源コード - Type 6823	
	日本 - 電源コード	39H0212
	日本 - 3P-2P 変換アダプター	13H8211
	Line Cord	6952301
	Line Cord	13F9939
	Line Cord	34G0222
	Line Cord	13F9978
	Line Cord	14F0032
	Line Cord	13F9996
	Line Cord	14F0068
	Line Cord	36L8878
	Line Cord	02K0545
	Line Cord	14F0086
	Line Cord	14F0014
	Line Cord	14F0050

第9章 追加の保守情報

セキュリティー機能

ここでのセキュリティー機能には次のものがあります。

- パスワード
- 重要プロダクト・データ (Vital Product Data)
- 管理情報形式 (MIF)
- Alert on LAN

パスワード

ここでは、コンピューターのハードウェアとソフトウェアに関連するパスワードについて説明します。

- 始動パスワード
- 管理者パスワード
- オペレーティング・システム・パスワード

始動パスワードおよび管理者パスワードは、装置構成ユーティリティー・プログラムで設定されます。装置構成ユーティリティーの実行について、15ページの『装置構成ユーティリティー・プログラム』を参照してください。

始動パスワード

始動パスワードは、コンピューターの電源をオンにするときに、許可されていないユーザーがコンピューターにアクセスするのを拒否します。始動パスワードがアクティブであるときは、コンピューターの電源をオンにするたびにパスワード・プロンプトが画面に表示されます。正しいパスワードを入力すると、コンピューターは始動します。

始動パスワードの除去

コンピューターを保守するときに、有効な始動パスワードが不明な場合、コンピューターの電源をオフにしてから次の手順に従います。

注: 一部のモデルでは、この手順で、管理者パスワードも除去されます。

1. 電源コードを抜き、上部カバーを取り外します。
2. 32ページの『システム・ボードの部品の識別』を参照して、リカバリー・ジャンパーの位置を確認します。
3. リカバリー・ジャンパーを **normal** から **clear** に移動します。
4. コンピューターの電源をオンにします。システムは位置の変更を検知し、パスワードを消去します。ジャンパーを元の位置に戻す必要があります。
5. 保守の完了時に新規パスワードを入力するようにユーザーに知らせてください。

管理者パスワード (Administrator Password)

管理者パスワードは、装置構成ユーティリティへのアクセスを制限するために使用します。いったん管理者パスワードが有効になると、管理者パスワードを入力しなければ、構成の表示はできますが、変更はできません。

注:

Type 2254、2256、2257、6336、6337、6339、6341、6342、6346、6347、6438 には、拡張セキュリティ・モードがあります。拡張セキュリティ・モードが使用可能 (Enabled) になっていても、パスワードを設定しなければ、コンピューターは拡張セキュリティが使用不可 (Disabled) になっている場合と同じ働きをします。

拡張セキュリティが使用可能で、管理者パスワードを設定した場合、管理者パスワードを入力しないと、コンピューターを使用できません。管理者パスワードを紛失したり忘れた場合は、コンピューターのシステム・ボードを交換しない限り、装置構成ユーティリティにアクセスできません。

管理者パスワードの制御

管理者パスワードは、セットアップ構成で設定されます。15ページの『装置構成ユーティリティ・プログラム』を参照してください。

オペレーティング・システムのパスワード

オペレーティング・システム・パスワードは、始動パスワードによく似ており、このパスワードが有効になると、許可されていないユーザーからのコンピューターへのアクセスを拒否します。コンピューターは、このパスワードが入力され、コンピューターがそれを認識するまでは使用できません。

重要プロダクト・データ

コンピューターにはそれぞれ、システム・ボードの不揮発性メモリーに保管されている固有の重要プロダクト・データ (VPD) コードがあります。システム・ボードを交換した後は、VPD を更新する必要があります。VPD の更新方法については、168ページの『フラッシュ (BIOS/VPD) 更新手順』を参照してください。

管理情報形式 (MIF)

管理情報形式 (MIF) は、システム装置のシリアル番号のリストを、すべてのシリアル番号が付いたコンポーネント (たとえば、システム・ボード、ライザー・カード、メモリー、およびプロセッサ) とともに維持するために使用されるファイルです。

コンピューターの製造時に、EPROM には、システムおよび主なコンポーネントのシリアル番号が書き込まれます。お客様は、DMI MIF ブラウザーを介して MIF ファイルにアクセスできます。このブラウザーは、プリロードとともにインストールされており、システムに付属の SSCD にも入っています。

Retain-a-Group と呼ばれる会社が、シリアル番号のデータ管理を提供する中央データウェアハウスです。Retain-a-Group は、法律を施行するフォーカル・ポイントとして働きます。お客様は、オプションで Retain-a-Group からシリアル番号の情報とサービスを購入することができます。MIF ファイルを維持し、ファイルに変更が生じたら Retain-a-Group に知らせるのは、お客様の責任です。

お客様によっては、シリアル番号が付いたコンポーネントがハードウェアの保守時に交換される際に、技術担当者に MIF ファイルの維持を援助することを要求する場合があります。この援助は、お客様と技術担当者の間で行われます。技術担当者は、DMI MIF ブラウザーを使用して、EPROM にある MIF 情報を更新することができます。技術担当者によっては、このサービスに対して料金を請求することがあります。

DMI MIF ブラウザーを使用して EPROM を更新するには、次の手順に従います。

1. デスクトップから「スタート」をクリックしてから、「プログラム」をクリックします。
2. 「IBM SystemView Agent」を選択します。
3. 「Serial Number Information」アイコンを選択します。
4. プラス符号をクリックして、展開します。
5. 表示または編集したいコンポーネントを選択します。
6. 変更したいコンポーネントをダブルクリックします。
7. 「Value」フィールドに新しいデータを入力し、「適用」をクリックします。

Alert on LAN

Alert on LAN は、コンピューターの電源がオフになっている場合でも、コンピューター内の変更を通知します。DMI と Wake on LAN[®] テクノロジーを一緒に使用した場合、Alert on LAN は、コンピューターのハードウェアとソフトウェアの機能を管理およびモニターします。Alert on LAN は、次のことが発生したときに、サーバーにそれを通知します。

- コンピューターがネットワークから切断された。
- コンピューターのプラグが電源コンセントから抜けた。
- すべての POST エラー。
- オペレーティング・システムまたは POST ハング状態。

Alert on LAN のイベントの構成を使用可能 (Enable) または使用不可 (Disable) にするのは、コンピューターからでなく、LAN サーバーからしか行われません。構成状況情報については、LAN 管理者にお尋ねください。

BIOS レベル

誤ったレベルの BIOS を使用すると、間違ってエラーになったり、FRU を不必要に交換することになります。次の説明により、コンピューターにインストールされている現行レベルの BIOS を判別し、最新レベルの BIOS を入手してください。

- 現行レベルの BIOS 情報
 - 構成ユーティリティを実行して、インストールされている BIOS のレベルを判別します。
- 使用可能な最新レベルの BIOS を判別するためのソース
 1. IBM のホーム・ページ
<http://www.ibm.com/pc/us/>
 2. PC PartnerInfo-Technical データベース (CTSTIPS.NSF)

3. ヘルプセンター
 4. レベル 1 および 2 サポート
 5. RETAIN[®]
- 使用可能な最新レベルの BIOS を入手するためのソース
 1. IBM のホーム・ページ
<http://www.ibm.com/pc/us/>
 2. PC PartnerInfo-Technical データベース (CTSTIPS.NSF)
 3. ヘルプセンター
 4. レベル 1 および 2 サポート

BIOS を更新 (フラッシュ) する場合は、『フラッシュ (BIOS/VPD) 更新手順』を参照してください。

フラッシュ (BIOS/VPD) 更新手順

重要:

モデルに固有な情報については、システム装置カバーの内側にある情報レベルを参照してください。

1. コンピューターの電源をオフにします。
2. フラッシュ更新ディスクをドライブ A に挿入します。
3. コンピューターの電源をオンにします。
4. 更新ユーティリティーが表示されたら、国 / キーボードを選択してから、**Enter** を押します。
5. コンピューターのシリアル番号が以前に記録されていた場合、このシリアル番号が、更新するオプションと一緒に表示されます。**Y** を押してシリアル番号を更新します。
6. 保守を行っているコンピューターの 7 桁のシリアル番号を入力してから、**Enter** を押します。
7. 画面の指示に従って、フラッシュ (BIOS/VPD) 更新手順を完了します。

フラッシュ・リカバリー・ブート・ブロック・ジャンパー

重要:

フラッシュ /BIOS アップグレード時に割り込みが起きると、BIOS は使用不能な状態のまま残される場合があります。ブート・ブロック・ジャンパーにより、システムを再始動して、BIOS をリカバリーすることができます。

リカバリー・ジャンパーを使用して、フラッシュ /BIOS リカバリーを行うには、次の手順に従います。

1. コンピューターの電源をオフにして、カバーを取り外します。
2. システム・ボードのリカバリー・ジャンパーを **clear** 位置に移動します。詳しくは、32ページの『システム・ボードの部品の識別』またはコンピューターの内部のラベルを参照してください。

3. アップグレード・ディスクettetをディスクettet・ドライブに挿入します。
4. コンピューターの電源をオンにします。IBM ロゴが表示されます。
5. フラッシュ更新ユーティリティーが表示されたら、国 / キーボードを選択してから、**Enter** を押します。
6. コンピューターのシリアル番号が以前に記録されていた場合、このシリアル番号が、更新するオプションと一緒に表示されます。**Y** を押してシリアル番号を更新します。
7. 保守を行っているコンピューターの 7 桁のシリアル番号を入力してから、**Enter** を押します。
8. 画面の指示に従って、フラッシュ (BIOS/VPD) 更新手順を完了します。
9. コンピューターをリブートするよう指示されたら、コンピューターの電源をオフにし、リカバリー・ジャンパーを **normal** 位置に移動します。次にカバーを交換し、コンピューターの電源をオンにします。

省電力

省電力機能 (Power management) は、システム電源機構、プロセッサ、ハード・ディスク、および一部のモニターなどのコンピューターの特定のコンポーネントの電力消費を節減します。一部のパーソナル・コンピューターには、Advanced Power Management および Rapid Resume™ Manager の機能があります。

自動構成および電力インターフェース機構 (ACPI) BIOS

ACPI BIOS システムの場合、オペレーティング・システムはコンピューターの省電力機能を制御し、Advanced Power Management (APM) BIOS モードの設定は無視されます。ACPI BIOS モードをサポートしないオペレーティング・システムもあります。

Advanced Power Management

省エネルギー設定は、装置構成ユーティリティの「Advanced Power Management」メニューを使用して表示および変更することができます。

重要:

モニターなどのデバイスに省電力機能がない場合、電力状態が下がると、デバイスが損傷を受ける可能性があります。モニターについて省エネルギーの選択を行う前に、モニターに付属の資料をチェックして、ディスプレイ省電力信号 (DPMS) をサポートしているか確認します。

自動ハードウェア省電力機能

自動ハードウェア省電力機能は、コンピューター、プロセッサ、およびモニター (そのモニターが DPMS をサポートする場合) があらかじめ決まった時間、非アクティブな状態でいた場合に、そのコンピューターの電力状態を下げることができます。

選択された省電力オプションが有効になるまでに、コンピューターが非アクティブでいる時間の指定には 3 つのレベルがあります。各レベルで指定されている時間の範囲内から選択します。

レベル 1	5 分 ~ 4 時間までの時間を設定します。
レベル 2	10 分 ~ 5 時間までの時間を設定します。
レベル 3	15 分 ~ 6 時間までの時間を設定します。

各レベルでは、次のオプションに値を指定することによって、省エネルギーの量を定義することができます。

- **システム電源**

- コンピューターをオンのままにするには、「**On**」を選択します。
- コンピューターをシャットダウンするには、「**Off**」を選択します。

- **プロセッサ速度**

マイクロプロセッサを「使用不可」になるように設定するか、内部クロック速度の **1**、**10**、**25**、または **50** パーセントで稼動するように設定します。

- **ディスプレイ**

ディスプレイを使用不可に設定するか、次の電力状態にまで下げないように設定します。

- **スタンバイ:** 画面はブランクですが、何らかのアクティビティが検出されるとただちに復元されます。
- **サスペンド:** モニターはスタンバイ・モードより少ない電力を消費します。画面イメージは、アクティビティが検出されてから数秒後に復元されます。
- **オフ:** モニターの電源がオフになります。電力を復元するには、モニターの電源ボタンを押します。モニターによっては、電源ボタンを 2 回押さなければならないものもあります。

自動ハードウェア省電力機能の設定

1. 装置構成ユーティリティを始動します (15ページの『装置構成ユーティリティ・プログラム』を参照してください)。
2. 装置構成ユーティリティのメニューから「**Advanced Power Management**」を選択します。
3. 「**APM BIOS Mode**」を選択して、これが「**Enabled**」に設定されていることを確認します。このように設定されていない場合、左矢印 (←) か右矢印 (→) を押して、設定を変更します。
4. 「**自動ハードウェア省電力機能 (Automatic Hardware Power Management)**」を選択します。
5. 「**Automatic Hardware Power Management**」を「**Enabled**」に設定します。
6. 必要に応じて、省電力の 3 つのカテゴリー (システム電源、プロセッサ速度、およびディスプレイ) について値を選択します。
7. 「**Hard Disk**」を「**Enabled**」または「**Disabled**」に設定します。

注: これは、SCSI ドライブには適用されません。

8. **Esc** を 2 回押して、装置構成ユーティリティのメニューに戻ります。
9. プログラムを終了する前に、装置構成ユーティリティのメニューから「**設定を保存する**」を選択します。
10. 装置構成ユーティリティを終了するには、**Esc** を押すか、画面の指示に従います。

Automatic Power-On 機能

「省電力機能 (Power Management)」メニュー内の Automatic Power-On 機能では、コンピューターを自動的にオンにする機能を使用可能にしたり、使用不可にできます。

- **Serial Port A Ring Detect:** この機能が「**Enabled**」に設定されており、外付けモデムがシリアル・ポート (COM1) に接続されていると、モデムでリングが検出されたときに、コンピューターが自動的にオンになります。
- **PCI Modem Ring Detect:** この機能が「**Enabled**」に設定されていると、内蔵モデムでリングが検出されたときにコンピューターが自動的にオンになります。

- **PCI Wake Up:** この機能を使うと、この機能をサポートする PCI カードがシステムをウェイクアップすることができます。
- **Wake Up on Alarm:** コンピューターが自動的にオンになる日付と時刻を指定できます。これは、単一のイベントでも毎日のイベントでもかまいません。
- **Wake on LAN:** コンピューターに、Wake on LAN が使用可能になった正しく構成されたトークンリングまたはイーサネット LAN アダプター・カードがあり、リモート・ネットワーク管理ソフトウェアがある場合、IBM が開発した Wake on LAN 機能を使用できます。Wake on LAN を「**Enabled**」に設定すると、コンピューターは、ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) 上の別のコンピューターから特定の信号を受信するとオンになります。詳しくは、174ページの『Wake on LAN』を参照してください。

ネットワークの設定

ここでは、ネットワークにリンクされたコンピューターにだけ適用されます。

装置構成ユーティリティには、コンピューター内のネットワーク・インターフェースを構成するために使用可能または使用不可にできる設定があります。その設定は、次のとおりです。

- Flash over LAN (ネットワークを介しての POST/BIOS 更新)
- Wake on LAN

Flash over LAN (ネットワークを介しての POST/BIOS 更新)

注: ローカルの Flash (BIOS/VPD) 更新については、168ページの『フラッシュ (BIOS/VPD) 更新手順』を参照してください。

この設定は、Flash over LAN 機能を使用可能または使用不可にするために使用します。この機能を使用可能にすると、コンピューター内のシステム・プログラムをネットワーク・サーバーからリモートで更新できます。管理者パスワードがコンピューター内で設定されている場合は、管理者パスワードをそのサーバーから入力する必要はありません。

Flash over LAN の設定にアクセスするには、次の手順に従います。

1. 装置構成ユーティリティを始動します。15ページの『装置構成ユーティリティ・プログラム』を参照してください。
2. 「**System Security**」を選択します。
3. 装置構成ユーティリティのメニューから「**POST/BIOS Update**」を選択します。
4. Flash over LAN を使用可能にするには、「**Enabled**」を選択します。Flash over LAN を使用不可にするには、「**Disabled**」を選択します。
5. **Esc** を 2 回押して、装置構成ユーティリティのメニューに戻ります。
6. プログラムを終了する前に、装置構成ユーティリティのメニューから「**設定を保存する**」を選択します。
7. 装置構成ユーティリティを終了するには、**Esc** を押すか、画面の指示に従います。

Wake on LAN

この設定は、IBM で開発した Wake on LAN 機能を使用可能または使用不可にするために使用します。この機能は、コンピューターを、ネットワーク・サーバーによってリモートでオンにできるようにします。この機能は、リモート・ネットワーク管理ソフトウェアと一緒に使用する必要があります。

Wake on LAN の設定にアクセスするには、次の手順に従います。

1. 装置構成ユーティリティを始動します。15ページの『装置構成ユーティリティ・プログラム』を参照してください。
2. 「**Advanced Power Management**」を選択します。
3. プログラム・メニューから「**Automatic Power On**」を選択します。
4. *Automatic Power On* メニューから「**Wake on LAN**」を選択します。
5. Wake on LAN を使用可能にするには、「**Enabled**」を選択します。 Wake on LAN を使用不可にするには、「**Disabled**」を選択します。
6. 装置構成ユーティリティのメニューに戻るまで、**Esc** を押します。
7. プログラムを終了する前に、装置構成ユーティリティのメニューから「**設定を保存する**」を選択します。
8. 装置構成ユーティリティを終了するには、**Esc** を押すか、画面の指示に従います。

第10章 関連した保守情報

注: この保守手順は、問題の特定に役立てるものです。これらは、読者がすべてのコンピューターについてモデルに固有な訓練を受けており、本書に記載されているコンピューター、機能、用語、および保守情報をよく理解していることを前提としています。

安全上の注意

次に、IBM コンピューターの保守を行う前に理解しておく必要のある安全上の注意を紹介しています。

一般的な安全について

一般的な安全を確保するため、次のようなルールに従います。

- 保守時および保守後、機械の設置区域では十分な整理整頓を行う。
 - 重いものを持ち上げるときは、次のようにする。
 1. 滑らずに安全な位置に立ちます。
 2. 持ち上げる物の重みを両足に均等に分散します。
 3. ゆっくりと持ち上げます。持ち上げようとするときに、突然動いたり体をねじったりしないでください。
 4. 立って持ち上げるか、脚部の筋肉を使って押し上げて持ち上げます。この動きで、背中の中の筋肉のストレスが取り除かれます。重さが 16 kg を超える物や、自分には重過ぎると思う物を持ち上げないでください。
 - お客様に危険が生じる処置や、デバイスが危険な状態になる処置を行わない。
 - 機械を始動する前に、他のサービス技術員やお客様の要員が危険な位置にいないことを確認する。
 - 機械の保守中、取り外したカバーやその他の部品は、人から離れた安全な場所に置く。
 - ツール・ケースを通路から離れた場所に置いて、他の人がこのケースにつまずかないようにする。
 - 機械の可動部に巻き込まれる危険性があるゆったりした衣服を着用しない。そでをボタンで留めたり、ひじの上まで巻き上げておきます。髪が長い場合は、結んでおきます。
 - ネクタイやスカーフの端を衣服の中に入れたり、電気を通さないピンを選び、端から 8 cm の位置で留める。
 - 宝石、チェーンなどのアクセサリ、金属フレームの眼鏡、金属性ファスナーのある衣服を身に付けない。
- 確認:** 金属製の物質は、よく電気を通します。
- 次の作業を行うときは、安全眼鏡をかける。ハンマー打ち、穴あけ、はんだ付け、ワイヤーの切断、スプリングの取り付け、溶剤の使用、または目に危険な状態での作業。

- ・ 保守後、安全シールド、ガード、ラベル、およびアース線をすべて再取り付けする。磨耗または欠陥のある安全機構はすべて交換します。
- ・ 機械をお客様に戻す前に、カバーをすべて正しく再取り付けする。

電気に関する安全について

注意

電源コード、電話ケーブル、通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。人身事故や機器の損傷を防止するため、設置および構成の手順で指示がない限り、サーバー / ワークステーションのカバーを開く前には必ず、接続された電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。

電気機器の作業を行う際は次の規則に従います。

重要: 承認されたツールおよびテスト機器だけを使用してください。一部の手工具の取っ手には、通電作業時の感電を防ぐ柔らかい素材のカバーが付いています。

多くのお客様は、静電気を減少させるために、小さい導電ファイバーが入っているゴム製のフロア・マットを装置の近くに敷いています。感電から身を守るために、このタイプのマットを使用しないでください。

- ・ 室内の非常電源切断 (EPO) スイッチ、切断スイッチ、あるいは電源コンセントを見付けておく。これを行っておくと、電気事故が起きた場合は、すぐにこのスイッチを操作したり、電源コードを抜くことができます。
- ・ 危険な状況下または危険な電圧のある装置の近くでは 1 人で作業をしない。
- ・ 次の作業を行う前には、すべての電源を切っておく。
 - 機械的部分の検査
 - 電源機構の近くでの作業
 - メイン装置の取り外しまたは取り付け
- ・ 機械での作業を開始する前に、電源コードを抜いておく。電源コードを抜くことができない場合、この機械に電力を供給している配電盤の電源をオフにして、この配電盤をオフにロックするようにお客様に依頼してください。
- ・ 電気回路がむき出しの状態である機械で作業する必要がある場合、次の予防手段に従う。
 - 電源オフ制御機構を理解している別の人物に立ち会ってもらう。
確認: 必要に応じて、電源スイッチを切るために、別の人物に立ち会ってもらう必要があります。
 - 電源がオンになっている電気機器の作業を行う際は、片手だけを使用する。もう一方の手は、ポケットの中に入れておくか、背中に回しておきます。
確認: 感電を防止するには、回路ができないようにすることです。上記のルールを守っていれば、電流が体を通過するのを防ぐことができます。
 - テスターを使用する際には、制御機構を正しくセットして、このテスター用に承認されたプローブ・リード線および付属品を使用する。

- 適切なゴム製マット (必要に応じて手配のこと) 上に立ち、床の金属部分や機械フレームなどのアースと自分の身体とを絶縁する。

非常に高い電圧での作業を行う際には、特別な安全上の予防措置に従います。この説明は、保守情報の安全の個所にあります。高電圧を測定する際は、特に注意してください。

- 安全な操作を行うために、電動手工具は定期的に点検し、保守を行う。
 - 磨耗したり破損したツールやテスターは使用しない。
 - 電源と回路が切断されているだろうと決して思い込まない。まず、電源がオフになっていることを確認します。
 - 必ず作業域内で起こりうる危険性を慎重に検討する。たとえば、こうした危険とは、水気のあるフロアや、接地されていない延長ケーブル、電気サージ、安全保護用のアースがないことなどです。
 - プラスチック製のデンタル・ミラーの反射面で、通電中の電気回路に触れない。この表面は伝導性があります。これで触れると、人体の傷害や機械の損傷を起こす可能性があります。
 - 次の部品を機械の通常の作動位置から取り外すときには、電源をオンにしたままですこうした部品の保守を行わない。
 - 電源機構
 - ポンプ
 - 送風機およびファン
 - 電動発電機
- および同種装置。(これを行うと、こうした装置が正しく接地されます。)
- 電氣的事故が発生した場合、次の処置を行う。
 - 自分の身を守るよう、注意する。
 - 電源スイッチをオフにする。
 - 別の人物に医療援助を求めに行かせる。

安全点検ガイド

この点検のガイドは、この製品における潜在的に危険な状況を識別するのに役立てることを目的としています。機械が設計され組み立てられた時点で、それぞれの機械には、お客様や IBM サービス技術員を傷害から保護するための安全項目を設定し組み込む必要があります。このガイドは、こうした項目だけを取り扱います。ただし、この点検のガイドの対象とならない IBM 以外の機構またはオプションの接続により起こりうる危険を識別するためには、適切な判断を行う必要があります。

危険な状況が存在する場合、この危険がどの程度深刻なものであるか、この問題を最初に解決せずに作業を続行できるかどうかについて判断する必要があります。

次のような状況とそれが提示する危険について検討します。

- 電氣的な危険。特に 1 次側電源 (フレームの 1 次側電源が、重大または致命的な感電事故の原因になる場合があります)。
- 爆発の危険。たとえば、損傷を受けた CRT 表面またはコンデンサーの膨らみ。
- 機械的な危険。たとえば、ハードウェアのゆるみまたは脱落。

このガイドは、チェックリストに提示される一連のステップで構成されています。まず、電源オフのチェックおよび電源コードの切り離しから始めます。

チェックリスト:

1. 外部カバーの損傷 (ゆるみ、破れ、またはとがった箇所) をチェックします。
2. コンピューターの電源をオフにします。電源コードを切り離します。
3. 次のことについて電源コードをチェックします。
 - a. 接地線を含む 3 線式の電源コードの先にある接地極付きの 3 ピン・コネクタが良好な状態であるかどうか。計器を使用して、接地ピンとフレーム・グランドとの間の導通が、0.1 オーム以下であることを測定により確認します。
 - b. 電源コードは、部品リストで指定された正しいタイプのものでなければならない。
 - c. 絶縁体は、擦り切れたり磨耗していないものを使用する。
4. カバーを取り外します。
5. 明らかに IBM によるものでない改造箇所をチェックします。IBM 以外の改造箇所の安全については適切な判断を行ってください。
6. 金属のやすりくず、汚れ、水やその他の液体、あるいは火災や煙による損傷の兆候について、装置の内部をチェックします。
7. 磨耗したケーブル、擦り切れたケーブル、または何かではさまれているケーブルをチェックします。
8. 電源機構カバーの留め金具 (ねじまたはリベット) が取り外されたり、いじられていないことを確認します。

静電気の放電に敏感なデバイスの取り扱い

トランジスターまたは集積回路 (IC) が入っているコンピューターの部分は、静電気の放電 (ESD) に敏感です。物体間の電荷に差がある場合、ESD による損傷が生じる可能性があります。機械、部品、作業マット、および部品を取り扱う人がすべて同じ電荷であるように電位を同一にして、ESD による損傷を受けないように保護します。

注:

1. ここに記載する要件を超える場合、製品独自の ESD の取扱手順を使用してください。
2. 使用する ESD 保護デバイスが十分に効果があることが証明されている (ISO 9000) か確認してください。

ESD の影響を受けやすい部品を取り扱うときは、次の手順に従います。

- 部品は製品に挿入するまで、保護パッケージに入れたままにしておく。
- 他の人と接触しないようにする。
- 体の静電気を除去するために、皮膚に対するグランドとなるリスト・ストラップを付ける。
- 部品が衣服に接触しないようにする。大部分の衣服は電気を通しませんが、リスト・ストラップを身に付けているときでも電気を帯びています。

- アース作業マットの黒い面を使用して、静電気のない作業面を作る。このマットは、ESD に敏感なデバイスを扱うときに特に便利です。
- 下記に示すグラウンド・システムを選択して、特定の保守要件を満たす保護を行う。

注: グラウンド・システムの使用は望ましいことですが、ESD による損傷からの保護には必須条件ではありません。

- ESD グラウンド・クリップを、フレーム・グラウンド、グラウンド・ブレード、あるいは緑色ワイヤー・グラウンドに接続します。
- 二重絶縁システムまたはバッテリー作動システムの作業を行う際には、ESD 共通アース点または基準点を使用します。こうしたシステムでは、同軸シェルまたはコネクタ外部シェルを使用できます。
- AC で作動するコンピューターでは、AC プラグの丸いアース端子を使用します。

アースの要件

オペレーターの安全と正常なシステム機能を保つために、コンピューターの電源に接地が必要です。電源コンセントが正しく接地されているかは、有資格の電気担当者が検査することができます。

安全上の注記

ここでの注意と危険の注記は次の言語で示されています。

- 日本語

説明の内容を実行に移す前に、必ず注意と危険の注記をすべてお読みください。

- 注意と危険の注記 1



電源コード、電話ケーブル、通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。

感電を防ぐには、次のことにご注意ください。

- 雷雨の発生中に、ケーブルを接続または切り離したり、本製品の設置、保守、または再構成を行わない。
- すべての電源を適切に配線され接地された電気コンセントに接続する。
- 本製品に接続された装置はすべて適切に配線されたコンセントに接続する。
- 可能であれば、片手で信号ケーブルを接続または切り離す。
- 火災、水害、または建築物の損壊を受けたおそがある場合には、装置の電源を絶対に入れない。
- 設置および構成手順で特に指示されていない限り、デバイスのカバーを開く前に、接続されている電源コードや、通信システム、ネットワーク、モデムを切り離す。
- 本製品または接続デバイスのカバーを取り付け、移動、または開くときには、次の表に記述された手順でケーブルを接続および切り離しを行う。

接続するには	切り離すには
1. すべての電源を切ります。 2. 最初に、すべてのケーブルをデバイスに接続します。 3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。 4. 電源コードをコンセントに接続します。 5. デバイスの電源を入れます。	1. すべての電源を切ります。 2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。 3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。 4. すべてのケーブルをデバイスから取り外します。

- 注意の注記 2

注意

リチウム電池の交換には、**IBM** 部品番号 **33F8354** の電池またはメーカー推奨の同等の電池を使用してください。お使いのシステムにリチウム電池を含むモジュールがある場合は、必ず同じメーカーが製造した同じタイプのモジュールと交換してください。電池にはリチウムが含まれており、使用、取り扱い、または廃棄を正しく行わないと破裂する危険があります。

次の行為は絶対にしないでください。

- 水に投げ込む、または水に浸す
- 100°C 以上に加熱する
- 修理や分解をする

電池は、当該地域の関連法規に従って廃棄してください。

- 注意と危険の注記 3

注意

レーザー製品 (**CD-ROM** や、**DVD-ROM** ドライブ、光ファイバー・デバイス、または送信機など) が取り付けられている場合は、次の点に注意してください。

- カバーは開かない。レーザー製品のカバーを開くと、危険なレーザーを浴びる可能性があります。デバイスの内部に修理のために交換可能な部品はありません。
- ここに記載されている制御方法、調整方法、または性能を超えて使用すると、危険な放射線を浴びる可能性がある。

危険

一部のレーザー製品は、クラス **3A** またはクラス **3B** のレーザー・ダイオードを使用しています。次の点に注意してください。

CD または **DVD** ドライブのカバーを開くとレーザーが放射されます。光線を見つめたり、光学器械を使って直接見たりしないでください。また直接光線を浴びないようにしてください。

- 注意の注記 4

注意



≥18 kg



≥32 kg



≥55 kg

装置を持ち上げる場合は、安全に持ち上げる方法に従ってください。

- 注意と危険の注記 5

注意

デバイスにある電源制御ボタンおよび電源機構にある電源スイッチは、デバイスに送られる電流をオフにするものではありません。デバイスには、2 本以上の電源コードがあることがあります。デバイスからすべての電流を除去するには、給電部から電源コードをすべて切り離すようにしてください。



- 注意の注記 10

注意

ラック・マウント装置の上に重量が 82 kg 以上の物を載せないでください。



問題判別のヒント

ハードウェアとソフトウェアにはさまざまな組み合わせがあるため、次の情報を使用して、問題の判別に役立ててください。できれば、保守サポートおよび技術機能に援助を依頼する前に、次の情報を用意してください。

- マシン・タイプおよびモデル
- プロセッサまたはハード・ディスクのアップグレード
- 障害の症状
 - 診断に障害がありますか?
 - どのような障害が、いつ、どこで起きましたか? また障害が発生したのは、単一のシステムですか、複数のシステムですか?
 - その障害は繰り返しますか?
 - この構成は今までに作動したことがありますか?
 - 作動したことがある場合、障害が起きる前にどのような変更を加えましたか?
 - これは、最初に報告された障害ですか?
- 参照 / 診断のバージョン
 - タイプおよびバージョン・レベル
- ハードウェア構成
 - 現在使用中の構成を印刷 (画面を印刷) してください。
 - BIOS レベル
- オペレーティング・システム・ソフトウェア
 - タイプおよびバージョン・レベル

注: 混乱を避けるために、同一システムを同一と見なすのは、次の場合だけにしてください。

1. マシン・タイプとモデルが正確である。
2. BIOS レベルが同じである。
3. 同じ位置に同じアダプター / 接続機構がある
4. アドレス・ジャンパー / ターミネーター / ケーブル配線が同じである
5. ソフトウェアのバージョンとレベルが同じである。
6. 参照 / 診断プログラム・ディスク (バージョン) が同じである。
7. システムに設定された構成オプションが同じである
8. オペレーティング・システム制御ファイルのセットアップが同じである。

「作動中のシステムと作動中でないシステム」との間で構成とソフトウェアのセットアップを比較すると、問題が解決する場合があります。

特記事項

本書に記載の製品、プログラム、またはサービスが日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、プログラム、またはサービスについては、日本アイ・ビー・エムの営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。IBM の有効

な知的所有権、またはその他の法的に保護された権利に従い、IBM 製品、プログラム、またはサービスに代えて、機能的に同等な製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM によって明示的に指定されたものを除き、他社の製品と組み合わせた場合の操作の評価と検証はお客様の責任で行っていただきます。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

Alert on LAN	OS/2 Warp
EtherJet	ServeRAID
e-business logo	ServerGuide
HelpWare	ServerProven
IBM	TechConnect
OS/2	Tivoli
NetView	Update Connector
	Wake on LAN

Lotus および Domino は、Lotus Development Corporation の商標です。

Intel、MMX、LANDesk、Pentium、および Pentium III は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です

Microsoft、Windows、および Windows NT は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標です。

UNIX は、The Open Group がライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

他の会社名、製品名、サービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

